

第3次 浜松市中山間地域振興計画

2025(令和7)年度~2029(令和11)年度

別冊資料集



目 次

I 集落座談会報告書	1
1 集落座談会の概要	1
2 集落座談会での主な意見	2
II 「中山間地域」にお住まいの方を対象とした 浜松市中山間地域住民アンケート調査結果	56
1 回答者について	56
2 世帯の状況について	58
3 日常生活の状況について	60
4 お住まいの地域・生活について	61
5 都市との交流について	63
6 生活上の課題や対策について	66
7 その他、中山間地域振興に対するご意見	73
III 「都市部」にお住まいの方を対象とした 浜松市中山間地域アンケート調査結果	80
1 回答者について	80
2 中山間地域に対するイメージについて	81
3 その他、中山間地域振興に関するご意見	88

I 集落座談会報告書

1 集落座談会の概要

(1) 集落座談会の目的

現行の第2次中山間地域振興計画が2024(令和6)年度に終期を迎えるため、2025(令和7)年度を始期とする第3次中山間地域振興計画を策定するにあたり、地域の現状や課題等を把握し、計画に反映させることを目的とした集落座談会を2023(令和5)年6月17日～12月6日の間、合計22か所で実施しました。

(2) 開催日程・参加人数等

地区	団体名等	組織分類	日程	会場	参加人数
天竜	県立天竜高等学校二俣校舎	高等学校	6月17日(土)	天竜区役所	13
水窪	神原自治会	自治会	6月19日(月)	水窪山村開発センター	10
天竜	西鹿島自治会	自治会	6月20日(火)	天竜児童館	23
天竜	熊地域自治会	自治会	6月21日(水)	大地野老人憩いの家	9
天竜	剣道クラブ保護者	若年層	6月23日(金)	天竜区役所	19
都田	滝沢・鷺沢自治会	自治会	6月28日(水)	都田協働センター	26
佐久間	県立浜松湖北高等学校佐久間分校	高等学校	6月29日(木)	佐久間協働センター*	10
水窪	大野自治会	自治会	7月3日(月)	大野集会場	13
佐久間	中部自治会	自治会	7月3日(月)	佐久間協働センター	9
春野	春野地域自治会①	自治会	7月4日(火)	春野協働センター*	20
三ヶ日	三ヶ日まちづくり協議会ほか	地域団体	7月5日(水)	三ヶ日協働センター*	12
春野	春野地域自治会②	自治会	7月6日(木)	春野協働センター	19
引佐	寺野自治会	自治会	7月8日(土)	寺野公民館	16
春野	県立天竜高等学校春野校舎	高等学校	7月11日(火)	春野校舎	12
佐久間	野田自治会	自治会	7月15日(土)	野田自治会館	17
佐久間	PTA・消防団	若年層	7月18日(火)	佐久間協働センター	11
春野	PTA・消防団ほか	若年層	7月25日(火)	春野協働センター	18
水窪	PTA・地域団体	若年層	7月27日(木)	水窪山村開発センター	12
引佐	伊平自治会	自治会	8月4日(金)	伊平基幹集落センター	15
引佐	PTA・NPO法人ほか	若年層	8月20日(日)	田沢多目的集会所	8
龍山	大嶺自治会	自治会	12月6日(水)	龍山協働センター*	7
龍山	瀬尻自治会	自治会	12月6日(水)	龍山森林文化会館	16
開催数：計22回			参加住民数：315人		

※2024(令和6)年1月1日の行政区再編に伴う組織改正により、上記の協働センター(都田を除く)の名称は支所に変更されている。

2. 集落座談会での主な意見

天竜：県立天竜高等学校 二俣校舎

13人（生徒 11人・教員 2人）

2023(令和5)年6月17日(土) 13:30~14:30

【ワークショップ】

場所：天竜区役所21・22会議室

- (方法) ①参加した高校生を2グループに分ける。
 ②「日々の生活から感じること」、「暮らしやすい、暮らしにくいところ」を付箋に記入し、分類して項目を付ける。各グループで発表する。
 ③②を参考に今後地域をどうするべきかを協議。「自分たちでできること」、「行政に望むこと」に分けて整理し、各グループで発表する。

● 「日々の生活から感じること」

項目	良い点	悪い点
買い物	<ul style="list-style-type: none"> ドラッグストアが多い クローバー通りに商店が増えてきた 	<ul style="list-style-type: none"> 古い商店が多い ショッピングモールのような大型商店がない 物価が高い 個人店が多く、チェーン店が少ない
交通	—————	<ul style="list-style-type: none"> 通学・通勤時等バスが混んでいる 交通手段が少ない バスの運行本数が少ない 車の走るスピードが速い 夜間のバイクの音がうるさい 信号の待ち時間が長い 道が狭いところがある 道がガタガタしているところがある 車通りが少ない 街灯が少ない 夜暗い場所が多い 押しボタン式の信号機が多い
人	<ul style="list-style-type: none"> 人情が厚い 地域の人が挨拶してくれる 地域の人が温かい 人と人との関わりが多い 	—————
自然	<ul style="list-style-type: none"> 川がきれい カエルの鳴き声がにぎやか 空気がきれい 自然が豊か 自然を大切にしている 草むらや森で過ごしやすい 	<ul style="list-style-type: none"> 夏は暑く、冬は寒い 盆地なので風が通りにくい
情報社会 基盤	—————	<ul style="list-style-type: none"> インターネット環境が悪い 携帯電話など電波状況が弱い

項目	良い点	悪い点
伝 統	<ul style="list-style-type: none"> •昔ながらの物が多い •文化や歴史を大事にしている 	———
その他	<ul style="list-style-type: none"> •運動している人が多い 	<ul style="list-style-type: none"> •病院が少ない •流行の物を売っていない •坂道が急勾配のところが多い •見た目が田舎と感じてしまう •学生が行くような店が全くない •遊ぶ場所がない •若者が楽しめる場所がない •虫が多い（害虫、ハエなど）

● 「暮らしやすいと感じるところ・暮らしにくいと感じるところ」

項目	暮らしやすい	暮らしにくい
食	<ul style="list-style-type: none"> •川がある •バーベキューができる •水が美味しい •野菜や肉などの食べ物が美味しい 	———
自 然	<ul style="list-style-type: none"> •インターネットにとらわれない、ゆっくりした生活ができる •空気が良く、静かなため1人でゆったりできる •自然に触れリフレッシュできる •自然との触れ合いができる •日当たりが良い 	<ul style="list-style-type: none"> •土砂・風水害等災害が多く暮らしにくい •夏は暑く、冬は寒い •虫が多い
金 銭	<ul style="list-style-type: none"> •都市部に行きたくなくなる •物を買う機会が少ないのでお金がたまる •土地代が安い 	———
人	<ul style="list-style-type: none"> •人が静か •人情がいい、話しかけてくれる •みんな親切 •人のやさしさが心地よい •人同士の関わりが多いから楽しく生活できる •地域をいかしたイベントが多く地域をより知ることができる •地域のイベントに協力的 •高齢者は過ごしやすい 	<ul style="list-style-type: none"> •こどもの数が少なく同年代の友達が少ない
治 安	<ul style="list-style-type: none"> •散歩がしやすい •犯罪が少ないように感じる 	———

項目	暮らしやすい	暮らしにくい
買い物	<ul style="list-style-type: none"> • 天竜地域にしかないお店がある • いろいろなお店がある (お菓子屋、理容室) 	<ul style="list-style-type: none"> • 商店が少ない • 買い物をするとところが少ない • ネットじゃないと買えないものが多い • デリバリーサービスが来ない • ショッピングモールのように一度に多くの買い物ができるところが少ない • ガソリン代など交通費がかかる (店が少ないため)
その他	<ul style="list-style-type: none"> • イベントごとが多い • 一軒家が多いから子どもが育てやすい • 自給自足しやすい 	<ul style="list-style-type: none"> • 回覧版をまわさなければならない • 大きな怪我や病気をした時など受診できる病院が近くにない • 携帯電話などの電波状況が悪い

● 「自分たちでできること」 「行政に望むこと」

項目	自分たちでできること	行政に望むこと
活性化	<ul style="list-style-type: none"> • 地域の店で商品を買う • 地域と高校がつながれるようにイベントを開催する • 積極的に地域の祭りに参加する 	_____
ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> • 人と人の関わりを広げるためにボランティア活動へ参加していく • 草取り・美化活動 • 災害復旧作業の手伝い • 地域行事の手伝い • ごみ拾い • 草刈り部をつくる 	_____
PR	<ul style="list-style-type: none"> • マスコットキャラクターを考える • パンフレットをつくる 	<ul style="list-style-type: none"> • 天竜区に入って来た時の看板を目立たせる • マスコットキャラクターをつくる
若者へのPR	<ul style="list-style-type: none"> • 廃止になった施設で映えスポットをつくる • 森をいかしたサバイバルゲーム場をつくる • 地域の祭りをSNSなどで宣伝する • 天竜区の未来を考える若者会議を発展させる 	<ul style="list-style-type: none"> • インスタグラム開設
施設リニューアル	_____	<ul style="list-style-type: none"> • 廃校でイベントを開催 (宿泊系イベントや鬼ごっこなど) • 廃止になった施設を活用し日用品を売る • 廃校をリニューアルし利活用する
移住	_____	<ul style="list-style-type: none"> • 天竜に林業系の大学をつくる • インターネット環境をよくする • 新しいお店を開きたい人が開きやすいように空き家などを整備しておく • 都会の小学生を学校行事として天竜に呼ぶ(茶摘み体験など)

●「自分たちでできること」「行政に望むこと」

項目	自分たちでできること	行政に望むこと
ハード インフラ	——	<ul style="list-style-type: none"> • バスの運行本数を増やす • 道端にゴミ箱を置く • 道路の整備
その他	——	<ul style="list-style-type: none"> • 新しい防災グッズをつくる • 公園・こどもが遊べるところを増やしてほしい • お店を増やしてほしい • 空き家を活用する取り組み • 通学などの交通費免除や補助をしてほしい • 携帯電話など電波状況を良くしてほしい • もっとイベントを増やす • 資格を取得できる場所をつくってほしい

水窪：神原自治会

自治会 10人

【座談会】

2023(令和5)年6月19日(月) 19:00~20:35

場所：水窪山村開発センター集会所

主な意見

(1) 集落全般について

- ・ 神原自治会は水窪地域の中では2番目に大きい。
- ・ 高齢化、医療、福祉、職場が少ない等それぞれの悩みがある。
- ・ 天竜区はクラスター型の哲学に賛成していた。風土や伝統は同じようなところもあるが、それぞれの個性がある。その個性を尊重してほしい。
- ・ 天竜区について知らない市民が多い。都市部と交流する仕組みをつくってほしい。天竜区のことを理解してほしい。
- ・ 以前に都市部との交流の話があったが、人数が多いと旅館がないので受け入れられない。できる範囲での交流会を考えてほしい。
- ・ 鳥獣被害が増えている。家の裏に、シカやサルが出たという話を毎日のように聞く。畑の作物を食べられる。国道沿いにもシカやサルがいる。
- ・ 移住者が来ても、働く場所がない。
- ・ 佐久間はアワビの陸上養殖、春野はチョウザメの陸上養殖をやっている。水窪にはワカサギがいる。活用して客を呼ぶ手伝いをしてほしい。他所から人を呼び水窪町内でお金を使ってもら。そこから一步一步やる。
- ・ 漁協が鮎を放流したが、大雨で流された。水窪川はきれいなので活用して人を呼ぶ。
- ・ 商工会では祭りで町を活性化したいという考えがある。高齢者は楽しみが少ないが、水窪まつりで子や孫が帰ってくる。露店が来るのを楽しみにしている。高齢者も祭りの時は元気になる。ふるさとは心のよりどころ。協力してくれる企業が少なくなり資金がないが、できることを一所懸命やっていく。花火も今よりも1発でも多くあげて賑やかにやっていく。
- ・ コロナ禍でも水窪まつりの時に屋台（攤子）をやってくれた。嬉しかった。
- ・ ドローンを活用できないか。
- ・ 医療や買い物の安心がほしい。

- ・今年が小学1年生がいない。初めてのことだと思う。こどもが少ない。
- ・限界集落に入っていると思う。
- ・老々介護で近所や親戚と助け合って頑張っている。
- ・高齢化で仕方がないが、できる範囲でやればいい。
- ・地域の組合の付き合いは大事だと思う。付き合いができなくなり組合を辞めたいという人もいる。
- ・若者がいない。
- ・こどもの所に転居しても都会に馴染めず水窪に帰ってくる人もいる。なんだかんだ言っても生まれ育った水窪が一番良い。
- ・民生委員より隣近所の方が詳しい。田舎も都市化してきている部分もあるが、昔のつながりを取り戻したい。
- ・北遠の果てだが良い文化も残っている。守っていきたいが後継者がいなくなっている。
- ・地域でできることはやる。できないことをお願いする。
- ・長男の嫁が空き店舗を借りて、通り沿いに灯りをともしたりしている。
- ・わかふじ国体の時、山岳競技があり民泊を経験した。
- ・高齢化と少子化により行事など困難になってきたが自分なりに頑張ってやっている。
- ・自然がある。風景がきれい。山歩きなど体験させたい。
- ・空気がおいしい。

(2) 道路・交通について

- ・国道152号はここ数年、土砂災害があり、その度に迂回になる。
- ・国道152号(生活道路)の崩落を100%防ぐのは無理だと思う。そういう危険なところに住んでいるという認識をもってほしい。行政サイドは命にかかわる道でもあるので、崩落を食い止めるよう、センサーを設置する、広葉樹を植える、監視カメラを設置する、雨量計を増やすなど、情報収集を今以上に徹底してほしい。浜松市は情報を分析したうえで、速やかに市民へ伝えるシステムをつくってほしい。
- ・大雨でも店の仕入れに市場まで行く。トラックが通過した直後に崩土が起きたこともあった。そのような所に住んでいる。
- ・道路は1回崩れると復旧に時間がかかる。生活道路がないとすごく大変だ。仮復旧でも通れるようにしてほしい。合併してからは工事が終わるまで通れない。住み続けてもらうためにも考えてほしい。
- ・6月上旬の大雨で国道が通れなかった。生活に困る。仕入れに行けないと食べ物も入ってこない。新聞も数日届かなかった。
- ・仕事で天竜に通勤している。3年前の災害の時は三遠南信自動車道で帰宅した。今回は三遠南信自動車道も通行止めになり帰宅できなくなった。迂回路の確保が大切だと感じた。
- ・大雨の後に県道大輪天竜線を通行したが状態が悪かった。国道と県道が通れなくなると生活できない。普段から県道大輪天竜線も整備してほしい。
- ・他県から来ている工事業者が龍山の災害現場に入った時、浮石が怖いと言っていた。
- ・山の手入れが大事。
- ・林道でも生活道路になっている。林道だからと言って後回しにならないよう修繕してほしい。
- ・他地域から林道を通して、子が親を迎えに行き病院に連れて行っている。聞いただけでは苦労は分からない。現地を見てほしい。

(3) 空き家について

- ・高齢化がひどい。隣も空き家になった。
- ・空き家が増えている。持ち主と連絡取れない。放置すると倒壊の危険がある。行政から情報がほしい。

(4) その他

- ・ 森林組合は天竜区内に5組合ある。地域の人材確保につながるよう、行政も側面から支援してほしい。
- ・ 浜松山里いきいき応援隊は良いと思う。助けてもらっている。人員を増やしてほしい。
- ・ 振興計画を作成したら毎年チェックしてどのように進めているか教えていただけたら、自分ごととして考えていけるかと思う。

天竜：西鹿島自治会

自治会員 23人

2023(令和5)年6月20日(火) 19:00~20:30

【ワークショップ】

場所：天竜児童館

(方法) ①参加者をくじ引きで5グループに分ける。

②「日々の生活から感じる暮らしやすい、暮らしにくいところ」を付箋に記入し、分類して項目を付ける。各グループで発表する。

●Aグループ

項目	暮らしやすいところ	暮らしにくいところ
医療福祉	_____	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内科・小児科がほしい ・ 鹿島地区に病院がほしい ・ 閉鎖された鹿島保育園を何か活用してほしい
買い物	_____	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商店が減ってさびしくなった ・ 電子決算書が増え、手間がかかる ・ 野菜や果物、魚など買える店が近くにない ・ 大型スーパーが来てほしい
産業	_____	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西鹿島駅周辺がさびしい、もっと遠州鉄道を巻き込んだ施策（地元商店の活性化を含めて）を希望
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・ 12月の防災訓練は出席者も多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鹿島は水害に強いが、北遠全体では大変な地域が多い
交通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遠州鉄道があるので街中へ行くのに交通手段があり便利 ・ 人の通過は多くなった ・ 西鹿島駅が明るくきれい ・ 新東名高速道路のICにより人と物の流れができた 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の移動手段が整備されていない
子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・ こどもたちが大きな声で挨拶してくれる ・ 鹿島の祭典はこどものための祭典でとても良い ・ 児童館は市内でも3か所しかなく貴重である 	_____

●Aグループ

項目	暮らしやすいところ	暮らしにくいところ
生活	<ul style="list-style-type: none"> •畑作地が多く農業がしやすい •落ち着きがあり暮らしやすい •日赤奉仕団では西鹿島駅で募金をしている •班の人たちのまとまりがある 	<ul style="list-style-type: none"> •夜になると道が暗い •八幡様（神社）の歴史を知る手段の整備が必要 •地域での協働はできているが、多くの意見への対応が自治会では困難 •同報無線が聞こえにくい
イベント	————	<ul style="list-style-type: none"> •地域の行事などが少なくなった
教育	————	<ul style="list-style-type: none"> •鹿島に住んでいるが清竜中学校ではなく浜北北部中学校に通っている生徒もいる
通信	————	<ul style="list-style-type: none"> •インターネット、携帯電話がつかない地域がある
水道	————	<ul style="list-style-type: none"> •鹿島の水源が閉鎖されてしまった
その他	<ul style="list-style-type: none"> •地域ボランティアが盛んに地域活動してくれている（挨拶運動など） 	<ul style="list-style-type: none"> •母子家庭、独居老人等低所得世帯は自治会費、こども会費は免除してほしい •地域ボランティアの後継者がいない

●Bグループ

項目	暮らしやすいところ	暮らしにくいところ
医療福祉	————	<ul style="list-style-type: none"> •医療体制に不安を抱えている •夜間救急があったら良い
買い物	————	<ul style="list-style-type: none"> •店の数が減少し商店街が寂しい •一人暮らし(高齢者)の家が増えて防犯が心配
産業	————	<ul style="list-style-type: none"> •工場誘致のため、他地域と補助金に差をつける、税の優遇などが必要
防災	————	<ul style="list-style-type: none"> •同報無線の聞き取りが悪い •浜名用水（暗渠）の安全性が不安
交通	————	<ul style="list-style-type: none"> •バスの便数が少なくなった •北部への交通手段が乏しい •高齢者、車に乗らない人の移動手段、二俣町へ出向く場合など不便
こども	————	<ul style="list-style-type: none"> •こどもたちの遊んでいる姿を見かけることが少ない •こどもたちの遊び場や預かる施設が充実してほしい •こどもの数だけでの育成会の予算では中山間は活動できない

項目	暮らしやすいところ	暮らしにくいところ
生活	_____	<ul style="list-style-type: none"> • コンビニエンスストアで買ったものを食べたままゴミを置いていく人がいる • 鹿島保育園を使わせてほしい • 住所表記が長すぎる（二俣町は不要） • 3区割りで今後が不安 • 地面割りの議員数を要望
イベント	_____	<ul style="list-style-type: none"> • 高齢化に伴い各種地域行事参加者が減少している
通信	_____	<ul style="list-style-type: none"> • 家族間でも会話がスマホ中心となっている
水道	_____	<ul style="list-style-type: none"> • 以前の冷たい水はどこへ行ってしまったのか？
その他	_____	<ul style="list-style-type: none"> • 畑が住宅地並課税となり税金が高くなった

●Cグループ

項目	暮らしやすいところ	暮らしにくいところ
医療福祉	_____	<ul style="list-style-type: none"> • 地域ボランティア活動団体の高齢化、若い人の不参加により運営が厳しい
買い物	<ul style="list-style-type: none"> • 西鹿島駅前のコンビニエンスストアは防犯の意味でもよい • 西鹿島駅前にコンビニエンスストアができた 	<ul style="list-style-type: none"> • 近くにお店が少なくなって高齢者は買い物に苦労している
産業	_____	<ul style="list-style-type: none"> • 林業が無くなってしまった後の産業が不安
防災	_____	<ul style="list-style-type: none"> • 清竜中学校は避難所となっているが、浸水地域であるため大丈夫なのか心配 • 避難所がなぜ二俣協働センターとなっているのか？ • 降雨時の水はけが悪い箇所がある
交通	_____	<ul style="list-style-type: none"> • 浜北インター、飛竜大橋に連なる阿蔵山の開発に伴い、道路状況は良くなったが、西鹿島駅周辺の賑わいが薄れつつあるように思う • 高齢化に伴い道路掃除が負担になっている • 西鹿島駅周辺の整備や活性化が必要 • 鹿島にテーマを付けて、活性化したらどうか？
子ども	_____	<ul style="list-style-type: none"> • こどもたちの居場所がほしい • こども、若者、大人はどこで遊んでいるのか不明 • こどもたちが習い事をする場が少ない

項目	暮らしやすいところ	暮らしにくいところ
生活	<ul style="list-style-type: none"> • 地域間の連携、人と人との関わりが温かいということ • 道路愛護活動、防災訓練などほぼ90%の参加率である • 地域のつながりの意識の高さを感じる 	<ul style="list-style-type: none"> • 児童館の設備が古く使用できない、料理教室などに使いたい • 山＝空気、水、市民の生活に欠かせないもの。供給の地である天竜区を大事にしなければいけない
イベント	————	<ul style="list-style-type: none"> • 地域の祭りの意義がわからない
通信	————	<ul style="list-style-type: none"> • SNSなど高齢者には困難
水道	————	<ul style="list-style-type: none"> • 水源を天竜川地下水から変更した
その他	————	<ul style="list-style-type: none"> • 都市ガスを整備してほしい

●Dグループ

項目	暮らしやすいところ	暮らしにくいところ
医療福祉	————	<ul style="list-style-type: none"> • 一人暮らしの方のケア（サポート）はどうなっているのか • 近くに総合病院など大きな病院がない
買い物	<ul style="list-style-type: none"> • 買い物はスーパー等があり困らない 	<ul style="list-style-type: none"> • 個人商店の減少、スーパーで大方済ませられるが昔の商店の良さがいい
産業	————	<ul style="list-style-type: none"> • 地域に産業がない
防災	————	<ul style="list-style-type: none"> • 適切な避難所にしてほしい • 同報無線の聞こえが悪い所がある • 線状降水帯が怖い・不安 • 避難所などに防災グッズが足りているのか心配
交通	<ul style="list-style-type: none"> • 北遠の玄関口としての役割を担っている 	<ul style="list-style-type: none"> • 電車の運賃が高い • 側溝の蓋がぼこぼこしていてベビーカー、手押し車が押しにくい • 歩道が狭いところがある • 公共交通機関が少ない • バス代等の補助があるといい
子ども	————	<ul style="list-style-type: none"> • こどもが近くにいない • 住宅が増え、こどもの数が多くなったがこどもと知り合いになる機会が少ない • 二俣小学校のバス通学者のために無料バスなど整備してほしい

項目	暮らしやすいところ	暮らしにくいところ
生活	<ul style="list-style-type: none"> 銀行、郵便局が近くにあると便利 	<ul style="list-style-type: none"> 近所付き合いが少ないため何かあったときに心配 山間部をPRするサイネージを浜松駅で流す 人工林を広葉樹林にする 阿蔵山を活用して動物園を設置 ごみの収集場でカラスの被害がある ゴミ出しマナーの悪い人がいる 世代間交流が少ない
イベント	_____	<ul style="list-style-type: none"> 鹿島の花火はもう少し盛大に開催してほしいと感じる
水道	_____	<ul style="list-style-type: none"> 水道の水質が以前より悪化している(カビ臭) 水道の水圧が弱い 冬季は水が昔より温度が高い、夏季は逆
その他	_____	<ul style="list-style-type: none"> 若者たちが天竜区から浜北区に移ることが多い 若者たちが残るにはどのようにしていくと良いのか

●Eグループ

項目	暮らしやすいところ	暮らしにくいところ
医療福祉	_____	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者が困っているときの助け合いが気軽にできるといい
買い物	_____	<ul style="list-style-type: none"> 飲食店の減少（流動人口は多いが、店が減っていくのが寂しい） 浜北まで行かないと飲食店が無い 車に乗れないと買い物が不便 高齢者に優しくない
産業	_____	<ul style="list-style-type: none"> 若い人材が不足している 地域に工場が少ない
防災	_____	<ul style="list-style-type: none"> 避難場所が清竜中学校で大丈夫か不安 洪水対策のための下水掃除はどうなっているのか
交通	_____	<ul style="list-style-type: none"> 歩道が狭く車もスピードを出すので、こどもの登校が危険 バス停の屋根が狭い
こども	_____	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人たちの学校への関わりが少ない 地域の歴史をこどもが知らない、地域に誇りを持たせるための教育をしてほしい 公園に雑草が多くてこどもが遊べない こどもが安全に遊べる場所がない

項目	暮らしやすいところ	暮らしにくいところ
生活	——	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥羽山公園の整備をしてほしい ・代行が来ない ・若者が集まる娯楽施設がない ・家族で食事をするところがない

天竜：熊地域（大地野、坂野、寺平自治会）

自治会 9人

2023(令和5)年6月21日(水) 19:00~20:30

【座談会】

場所：大地野老人憩いの家

【地域全般について】

- ・小学校の校外学習などを通して、こどもに中山間地域の大事さ、必要さ、良さ、意義を伝えたい。地域外に発信したい。
- ・車で30分走れば働く場所もある。地域にはこどもを通わせる学校があるため、個人的には不便はない。
- ・地域としての方向性が定まっていない。例えば、秘境地として観光地化するのか。また、産業を発展させて人口を増やすのかなど。
- ・子育て現役世代の同年代が減っている。
- ・集落の祭典やいろいろな行事を人が少なくなり開催できない。
- ・消防団員が少なくて消防団活動が回らない。
- ・蛍を見る会の活動も人が少なくてできず、38年続いたイベント活動が今年初めて中止になった。
- ・青年クラブは36年続いている。
- ・地域内での助け合いが当たり前に行っている。福祉や介護問題が助け合いで解決しているところが大きい。
- ・中山間地域の持つ良さをみんなで再認識、再確認をしていく。今後があったら良いなと思う。
- ・地域内の人や家族構成は、顔から全部わかっていて話ができるので交流ができています。
- ・民泊に来るお客さんは「ここはいいとこだ」と感動してくれるが、住むか？と聞くとそうではない。
- ・隣家まで10mくらいの距離で住めるというのは贅沢だと思う。
- ・水がとてもきれいで安心して飲める。
- ・病院の通院に1時間以上かかる。
- ・東京に居たことがあり楽しかったが住みづらかった。熊地域は自然の匂いがするし、車の騒音がない、人がたくさんいない、空気が澄んでいるのでとても暮らしやすい。

【交通について】

- ・街に住んでいる人たちと中山間地域に住んでいる人たちとの距離感の違いを感じる。(街中の人には熊地域をととても遠くに感じているが、中山間地域の人たちは街へ行くのはあまり遠く感じていない。)
- ・道路を整備して街の人でも安心して来られるようにしてほしい。
- ・側溝に蓋がないところがあり危険、脱輪してしまう車がある。
- ・熊中学校が清竜中学校に統合され、清竜中学校の校外活動で生徒が熊に遠足に来ることがある。そこで生徒から、電気は通じているか、水道はどうしているのか？との質問があった。
- ・車が運転できなくなると生活ができなくなる。家にこもりっぱなしにならないか、非常に心配だ。
- ・浜松市と合併してから県道9号線の改良が行われていない。

【こどもについて】

- ・幼稚園・小学校が地域から無くなったら寂れていく一方だと思う。
- ・こどもは少ないが低学年と高学年と一緒に遊んでいることが多くて良い。
- ・こどもたちは地域の人と気兼ねなく話ができコミュニケーション能力が高いと思う。
- ・こどもの存在は大人の生きがい。
- ・幼稚園、小学校は消滅させないでほしい。
- ・こどもたちの頑張りは大人の力になる。
- ・東区に住んでいる孫が休みの日に熊へ来るとのびのびとしている。
- ・熊には6、7世帯ほど子育てをしている移住者がいる。その中の多くが自然豊かな熊でこどもを育てたいという気持ちを持っている。
- ・熊で育ったこどもが大人になっても熊に住み続けてくれる、そんな人たちがだんだんと出てくると良いなと思う。
- ・こどもの時に田舎体験をさせる大切さがある。
- ・こどもの声が地域からどんどん聞こえなくなっているのはさみしい。

【災害について】

- ・災害復旧で道を元に直すことだけ考えている。新たな道の整備や既存道路の改良など道路整備を考えてほしい。
- ・避難所がとても危険なところにあるため、避難することをためらってしまう。

【行政について】

- ・人員配置について地域事情の分かる職員を配置してほしい。

【くま水車の里について】

- ・会員たちで一生懸命頑張って、約30年続けてきていろいろなことを経験した。
- ・新型コロナウイルス感染症対策の影響を受けてお客さんが減り、1か月くらい休業もした。
- ・コロナ禍が明けて、ここからというときに、次は大雨の災害が起きてしまった。
- ・多くの困難の中、会員たちはどうすれば収入が増えるか、体験を増やす企画を実施するなど工夫しながら頑張っている。
- ・交流人口を増やそうと頑張っているが増えていかない。
- ・いろいろな意味で熊地域が頑張っていることをみんなに理解してほしい。

【買い物について】

- ・移動販売車が非常に便利。販売員も非常に気さくで地域のことだんだんと分かってくれて世間話もしてくれる。
- ・地域には少ないがお店はある。

【その他について】

- ・竹や倒木を山の中に串刺しのように放り込んでいて危ない。
- ・ふれあいセンターが事業を数多く実施してくれる。そこへ行くと必ず友達が来るし、いろいろなことを覚えられるので十分活用している。
- ・くまデイサービスでは利用者が自分たちで料理をつくる取り組みをしている。それを参考にして高齢者が安心して、共同で生活できる仕組みができればよいのではないかと。
- ・シカが増えマダニが多くなったので、こどもを山に行かせられない。一番こどもが自然と触れ合えないといけない田舎なのに。
- ・ダニが多い。
- ・結婚した途端に地域外に転出してしまう。理由の一つに奥さんの理解が得られない。女性に選ばれるような環境がないと。

(方法) ①参加者を来場順に5グループに分ける。

②「日々の生活から感じること」、「暮らしやすい、暮らしにくいところ」を付箋に記入し、分類して項目を付ける。代表して2つのグループが発表する。

●Aグループ

項目	暮らしやすい点	暮らしにくい点
交通	————	<ul style="list-style-type: none"> 地域や目的地によって公共交通機関が不便な時がある 大井平集落への市道が廃れて困っている 横断歩道が見にくい場所がある
環境	<ul style="list-style-type: none"> 天竜美林に囲まれた環境は大好き 静か 自分は県外だが地域の方々は優しい 	<ul style="list-style-type: none"> 山林に手入れが入らず廃れて倒木がそのまま放置されている 携帯電話の電波状況が悪い
地域	<ul style="list-style-type: none"> ご近所付き合いが良好 	<ul style="list-style-type: none"> 集落の高齢化が問題 こどもが氏神様の祭りを体験していない(後継者に不安を感じる)
医療	————	<ul style="list-style-type: none"> 開業医が高齢化している
防災	————	<ul style="list-style-type: none"> 災害が多く発生し、被災を受けやすい 大井平地区は同報無線が無く困っている
子育て	————	<ul style="list-style-type: none"> こどもだけで出かけるのに不便
教育	<ul style="list-style-type: none"> 自分のこどもが小さいときの保健師さんが優しくてよかった 	<ul style="list-style-type: none"> 高校など通学に不便を感じる 都市部に比べ学力に不安、また、教育に差を感じる(ソフト面・ハード面)
産業	————	<ul style="list-style-type: none"> コンビニエンスストアがほしい
その他	————	<ul style="list-style-type: none"> 公園などもっと整備を充実してほしい

●Bグループ

項目	暮らしやすい点	暮らしにくい点
交通	<ul style="list-style-type: none"> 町に比べて犯罪や交通事故が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 道が狭い所がある 車がないと生活できない バスの運行本数が少ない

項目	暮らしやすい点	暮らしにくい点
環境	<ul style="list-style-type: none"> • 自然が豊か • 穏やかな人・町 	<ul style="list-style-type: none"> • 若者に住んでほしいけど土地がなかなか無い • 夏場暑いので避暑地のようなところがほしい
地域	<ul style="list-style-type: none"> • 祭りへの取り組みが盛ん • 他県から引っ越してきてなじみやすかった 	<ul style="list-style-type: none"> • 地域内に働く場所が少ない
医療	————	<ul style="list-style-type: none"> • 耳鼻科・皮膚科医院が閉院して困っている
防災	<ul style="list-style-type: none"> • 昨年の災害の後の山崩れの対応が早かった 	————
子育て	<ul style="list-style-type: none"> • 自然に囲まれてのびのび生活ができる 	————
教育	————	<ul style="list-style-type: none"> • 雨天時のこどもの遊び場がない • 高校にも給食がほしい • 高校が遠い、通学費など何かしらの補助がほしい • 習いごとの情報が少ない (人に聞くしか方法が無い)
産業	————	<ul style="list-style-type: none"> • 浜北までいかないと商店などが無い
その他	————	<ul style="list-style-type: none"> • 害獣に困っている (イノシシ、シカ、サル、アナグマ)

●Cグループ

項目	暮らしやすい点	暮らしにくい点
交通	————	<ul style="list-style-type: none"> • 道路が少ないので交通渋滞する • 街灯が少ない • トンネル内の電灯が暗すぎる • 電車の運賃が高い
環境	<ul style="list-style-type: none"> • 四季を五感で感じられる • 夜は静かで寝やすい • 水道水そのまま飲んでもおいしい 	<ul style="list-style-type: none"> • 野生動物が多く危険、山から地域に出没して怖い
地域	————	<ul style="list-style-type: none"> • デリバリーサービスが来てくれない • 転入世帯が自治会の活動に協力的でない • 自治会に入らない方が増えているので、何か組織を変えた方がいいかもしれない
医療	————	<ul style="list-style-type: none"> • 子育て世代に必要なものが足りない
防災	————	<ul style="list-style-type: none"> • 災害時ライフラインが心配 • 災害への不安が増した

項目	暮らしやすい点	暮らしにくい点
子育て	<ul style="list-style-type: none"> • こども同士の関係が濃い（上下関係） 	———
教育	———	<ul style="list-style-type: none"> • 高校の教科書代が高い • 小学生の通学時のヘルメット無しはなぜなのか疑問 • 天竜高校の部活が少ない、文化部が少ない • 天竜高校以外に通う通学手段が少なく通いにくい（高校を選べない）
産業	———	<ul style="list-style-type: none"> • クローバー通りが寂しい
その他	———	<ul style="list-style-type: none"> • 中山間地域に住んでいるメリットを感じにくい（住宅は安くしてくれるとか、駐車場は2台OKとか）

●Dグループ

項目	暮らしやすい点	暮らしにくい点
交通	———	<ul style="list-style-type: none"> • 公共交通機関で区役所に行きにくい • 区役所までバス停からの坂道がきつい • バスが数時間に1本ずつしか通っていないので一生住むには難しいと思う。（通学にも困る、高校から特に） • 遠鉄バスが山梨バス停までになってしまい、それより北方面の家は不便
環境	<ul style="list-style-type: none"> • 何もないところがよい • 虫などの鳴き声がよい（セミ、フクロウ） 	<ul style="list-style-type: none"> • 浜松市の上水道がすべての地域に届いていない • 核家族での生活が想定されていない
地域	<ul style="list-style-type: none"> • 近所に知らない人がいない 	<ul style="list-style-type: none"> • 船明地区に新しい家が増えているが、ごみ収集場が少なすぎる • ごみを荒らすカラス被害が多い
防災	———	<ul style="list-style-type: none"> • 家の前の堀が増水時に土砂がたまる • 災害時の情報が少ない
子育て	———	<ul style="list-style-type: none"> • 子育て世代が少なく学校も減っている
教育	<ul style="list-style-type: none"> • 学校のこどもの数が少ないので教員の目が行き届いていると感じる 	<ul style="list-style-type: none"> • こどもが少なく、こども同士で遊ぶ機会が少ない • 大雨警報時の休校が多い
産業	———	<ul style="list-style-type: none"> • 地域内に商店がもっとほしい

●Eグループ

項目	暮らしやすい点	暮らしにくい点
交通	————	<ul style="list-style-type: none"> •バスの運行本数を増やしてほしい •山東から船明にバスの車庫を移転してほしい •船明地区に横断歩道を増やしてほしい •スーパーの前の信号待ちが長い
環境	<ul style="list-style-type: none"> •家の近くに虫がいる •静かで住みやすい •自然が多くて子育てにはとても良い環境 	<ul style="list-style-type: none"> •危険な生き物と遭遇する可能性がある •旧佐久間線沿いの水路が大雨の時にあふれて二俣小学校に避難ができない •桜並木の木が老朽化しているが、なくなってしまうのは寂しい
地域	————	<ul style="list-style-type: none"> •地域に新しい住人が多く、決まりごとが無く役員が困るときがある
防災	————	<ul style="list-style-type: none"> •家の近くのがけ崩れがこわい
子育て	————	<ul style="list-style-type: none"> •こどもが集まれる(遊べる)場が減ってきた
教育	<ul style="list-style-type: none"> •小学校複式学級だが学びは豊か 	<ul style="list-style-type: none"> •教員の平均年齢が高い年がある •交通費が高いので通学可能な高校が限られてくる
産業	————	<ul style="list-style-type: none"> •近くにスーパーがあるといい(徒歩でいけない) •山林はあるけれど木材として活用されず山が荒れていて山道も崩れたりしている
その他	————	<ul style="list-style-type: none"> •スケボーパークがほしい(ローラーブレードやスケボで遊ぶ場所がないので道路でやるしかない) •公園はあるが小さな子が遊べる遊具が少ない

都田：滝沢、鷺沢自治会

自治会 26人

2023(令和5)年6月28日(水) 19:00~20:00

【座談会】

場所：都田協働センター

○地域の10年・20年前が今とどのように違うか、どう変わっているのか

【空き家について】

- ・空き家が多い、滝沢町だけで10軒ある。空き家を再利用したいが、何か良い方法はないか？
- ・地域から出ていく人ばかりで入ってくる人がいない。
- ・3人の息子がいるが、それぞれ町から出てってしまった。自分の代で空き家になる可能性が大きい。

【地域の状況について】

- ・高齢化が進んでいる。核家族が多く、2世帯家族は珍しい。
- ・若者は農業をせず、街（都田等）へ転出してしまおう。
- ・災害危険区域に指定されていて住宅を建てるのみ制約があり、住むことが容易でない。旧滝沢小学校のグラウンドも区域指定されている。
- ・滝沢にも人が住んでいることをわかってほしい。
- ・コロナ禍が落ち着き、祭りや敬老会を開催していきたい。自治会だけでは開催できないので、女性部と協力して開催していきたい。過去に町民大会があったが現在は若者がいないため開催していない。10年、20年前とは全く違う点である。
- ・最近シカが増えた。行政で狩猟の組織をつくってほしい。
- ・鷺沢町は、世帯数19戸、人口48人、平均年齢は68才。
- ・「空気が美味しく緑がきれい」は当たり前で、住むだけなら十分。
- ・自治会役員の兼任が多い状況である。
- ・自治会費が高額。移住者に説明すると驚かれる。税制面等何らかの補助が市からあると嬉しい。

【学校の統廃合について】

- ・学校がなくなり、農協がなくなり、保育園もなくなった。負のスパイラルが止まらない状況。
- ・学校を統廃合するにあたり、市に対し支援をお願いしていたが全く音沙汰ない。今になって色々と言われても手遅れであり、統廃合の時点でしっかりケアしていれば若者たちがこの地域から出て行かずに済んだと思う。

【農業について】

- ・10年前は他の人に負けまいと耕作をしてきたが、今は年金で生活していければ良いという気持ち。

【一人暮らし高齢者世帯への地域の支援について】

- ・一人暮らしが増えてきた。一人暮らしの高齢者世帯に対しては、何かあった時に緊急連絡で対応できるシステムを市でつくってくれと助かる。
- ・一人暮らしの家庭には民生委員が自治会長が時々訪問している。しかし、災害の時は難しいかもしれない。
- ・現民生委員が、移動スーパーに顔を出して高齢者の生活情報を収集している。あまり姿を見ないときは直接、民生委員が自宅へ様子を伺いに行っている。

【移動スーパーについて】

- ・「移動スーパー」や「にこにこバス」は将来滝沢町や鷺沢町には必要である。
- ・滝沢町は、移動スーパーを女性がよく利用している。
- ・地域から移動スーパーは便利という話は聞いている。

○10年後、20年後皆さんの地域がどのようになってほしいか

- ・今後、限界集落に近くなる。行政として何を支援してくれるのか？車が通らなくなったところを今までどおり修繕してくれるのか？行政の方で定義してほしい。そのことが分からないと我々も考えようがない。
- ・「都田地区まで車で5分」などを「売り」にして、地域づくりをしてほしい。
- ・自然に恵まれた滝沢町。自動車メーカーなどの工場が近くにあるため、通勤ラッシュもない町に住んでみたいという場所になってほしい。
- ・風力発電の風車が設置から17、18年目となり、耐用年数が近づいている。耐用年数となった時、撤去できるのか？青い空の下で昔と同じように暮らしたい、仕事がしたい。撤去する際はぜひ行政に協力していただきたい。

- ・雑木が多いため伐採をしてほしい。
- ・7月に自治会役員で高所作業車を借りて奉仕作業を実施する予定だが、補助金があると嬉しい。
- ・世代によって課題が違う。
- ・死んだ後、自分たちの町がどうなっているのか、考えないといけない。
- ・地域の人たちに、地域外に出た息子を取り戻せとは言わないが、せめて地域外から入ってきた人たちを優しくもてなし、町を細々とでも残していこうという意味を見せたい。

佐久間：県立浜松湖北高等学校 佐久間分校

10人（生徒8人・教員2人）

2023(令和5)年6月29日(木) 13:30~15:10

【ワークショップ】

場所：佐久間協働センター

(議題) 地域について考える

(方法) ①参加した高校生を4人ずつ2グループに分ける。

②「地域の良いところ(強み)」を付箋に記入し、分類して項目を付ける。

③「地域の課題(弱み)」を付箋に記入し、分類して項目を付ける。

④②、③をもとに、強みを伸ばすアイデアや課題を解決するアイデアを考え発表する。

●地域の良いところ(強み)

項目	Aグループ	項目	Bグループ
自然	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊か ・山や川がきれい ・川遊びができる ・キャンプを楽しめる ・景色がきれいなところが多い ・シカにほぼ毎日会える ・絶滅危惧種の植物がある 	自然	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊か ・空気がきれい ・川で遊べる ・野生動物に会える ・歩いているだけで動物園になる
地域	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方が優しい ・近くに家がない(隣家が離れている) ・大声を出してもあまり怒られない ・大きな音を出してもいい ・静か ・夜、静かだから寝やすい ・花火がきれい(地割れ・佐高祭後) ・民俗的な文化が残っている ・吊り橋(絵になる) ・段ボールなどのゴミを自分で処理できる 	人	<ul style="list-style-type: none"> ・人が優しい ・人と人の距離が近い ・人と密接にかかわる ・生活の知恵を与えてくれる ・いろいろな物を譲ってくれる ・時の流れがゆっくり ・高齢者がかわいい ・良いこどもに育つ ・伝統を大事にする人が多い ・感染症になりにくい
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害等で休校になりやすい ・坂があるからランニングの練習に適している ・高校に学生寮があるので通学しやすい ・旧佐久間中学校が残っていること 	交通	<ul style="list-style-type: none"> ・JR飯田線に秘境駅がたくさんある ・車にひかれにくい(交通量が少ない)

●地域の課題（弱み）

項目	Aグループ	項目	Bグループ
自然	<ul style="list-style-type: none"> 夏暑く、冬寒い 坂が多く大変 土砂崩れが多い 自然災害に弱い 日が陰るのが早い（山が高いため） 雑草が伸びるのが早い ヤマビルがいる 動物（シカ）が道路からどかない 	自然	<ul style="list-style-type: none"> 夏暑く、冬寒い 1日の温度差が激しい 土砂災害が起こる 自然災害に弱い 大雨で休校になりやすい 杉等の花粉が多い 虫が多い 鳥の鳴き声がうるさい
店関係	<ul style="list-style-type: none"> 飲食店が少ない コンビニエンスストアがない 専門的な店がない 店の営業時間が短い（閉店時間が早い） 新しい物を店に並べてほしい 遊ぶ場所が無い 	建物	<ul style="list-style-type: none"> 店が少ない コンビニエンスストアがない 時間を潰す場所が無い（カフェ、喫茶店等） 遊ぶ場所が無い 街灯が少ない 働く場所が限られる 空き家が多い
交通	<ul style="list-style-type: none"> 都市部へ行くのに時間がかかる 飯田線の運行本数が少ない 交通費が多くかかる 道路が狭い 三遠南信自動車道が全線開通していない 	交通	<ul style="list-style-type: none"> どこへ行くにも時間がかかる 飯田線の運行本数が少ない 交通のアクセスが悪い 交通が不便
通信	<ul style="list-style-type: none"> 携帯電話の電波が繋がらない トンネルや山道でも携帯電話の電波が通ってほしい 	人	<ul style="list-style-type: none"> 人が少ない 高齢化 若者が地域外へ出ていく こどもが少ない
騒音	<ul style="list-style-type: none"> ダム放水時に鳴るサイレンがうるさい 草刈機のエンジン音がうるさい 	風土	<ul style="list-style-type: none"> 地域内で変化が起こりにくい 何をやっても地域内の人にすぐ広まる
—	—	イベント	<ul style="list-style-type: none"> 他の地域から人が集まるイベントがあまりない

●強みを伸ばすには？課題を解決するには？（アイデア）

	Aグループ	Bグループ
	<ul style="list-style-type: none"> みんなで伝統料理をつくるイベント開催（こどもから高齢者まで） 空き家を利用しておけけ屋敷のイベント開催 町全体で出店ができるようなイベントの開催 ⇒人が大勢来る 空き家を利用して古民家カフェの開店 学生とコラボしてイベントの開催（人と人の距離が近いことをいかして） 歴史を学ぶようなイベントの開催 塾をつくる（教育環境の格差解消） 	<ul style="list-style-type: none"> 川を使ったイベント（川遊びなど） キャンプ場を利用したイベントを行う 特大キャンプファイヤー ブラックバスを利用した料理で売り出す メディアを活用したPR 動画配信チャンネルをつくってPR 携帯電話の電波を5G対応にする イベントや祭りを宣伝して人を呼ぶ（ポスター） イベント費用をクラウドファンディングで募集する ジビエ料理のお店をつくる ジビエで儲けたお金を交通面に使う 野生動物の皮を活用する コンビニエンスストアを開く
結果	<ul style="list-style-type: none"> 年齢層の広い友達ができる 長生きする人が多くなる 生活が豊かになる 	

主な意見

(1) 集落全般について

- ・高齢化でいろいろなことを維持するのが大変になってきた。
- ・この集落の良いところは協力性がある。
- ・原材料支給事業で道路の穴埋めや、木柵等も直している。
- ・地元のある方が大野橋から集落までの道整備を10年以上やっている。自己負担でやってくれている。熊手なども自分で直してやってくれている。頭が下がる。
- ・景色が良い。電線がなくなると景観がより素晴らしくなる。
- ・大野には大野の景色があって、大沢には大沢の景色がある。山あいが違う。
- ・強い絆でまとまっており、自治会活動に積極的に参加している。
(4月の花見会、道づくり、盆行事、クリスマス会、常会)
- ・自分たちでできる事はやろうとする団結力がある。
- ・住民全ての人と快く挨拶や会話が遠慮なくできる。
- ・高齢者も畑を守り、主なお茶づくりや野菜づくりに日々奮闘している。
- ・訪問者の一声は「景色がきれい。空気が美味しい。道路は怖い。」

(2) 道路・交通について

- ・林道大野中根山線は生活道路。
- ・林道大野中根山線は協働センターの担当者が精力的に動いてくれて、早い対応で助かっている。
- ・林道大野中根山線の落方へ抜ける道は3年くらい前までは整備してくれていたが、最近はほとんど手付かず。市道水窪白倉川線は何回か通行止めがあり、万が一の時、市道が通れない、林道も通れないとなると八方塞がり移動する術がなくなる。落方に抜ける道もある程度整備してほしい。
- ・最低でも月に1回くらい点検をしてもらい、車が通れるよう確保してほしい。
- ・林道大野中根山線が開通する前に崩落で通れなくなり、ヘリコプターで物資を届けてもらったことがある。そういう事もかなり懸念される。林道はどちらにでも通れる状態に確保してほしい。
- ・林道大野中根山線の広場をこの周辺の土木工事をやった時に土捨て場にした。どんどん広くなった。ちょっとした土工事など持ってきていた。盛土の違反ではないけど熱海の事故があったので心配している。
- ・大きな岩があって何年か前に下に転がらないよう縛っているが、もし落ちた場合、下の市道まで行く可能性がある。どこかで見切りをつけるか別の土捨て場を。
- ・台風2号の時、業者から土を捨てるために入れさせてくれと地主に連絡があった。
- ・土が沢山になり心配になってきた。
- ・一見良いように見えるが途中から勾配が変わる。整備するか、これ以上入れないか固めてほしい。いいよいいよでやっている地主が責任を感じる。この段階で話を固めないと大惨事になる可能性がある。
- ・林道を生活道路扱いのような新しい柵をつくって、もう少し手厚い対応をする。そういう方法を検討してほしい。
- ・郵便配達員も大野の道は怖いと言っている。道路整備にもう少しお金を回せるよう考えてほしい。
- ・2年くらい前も沢から崩土があると、職員がジョレンで路面整備をやってくれた。職員が自ら動かないと道路が確保できないとは寂しい。
- ・天竜区に副市長が誕生した折には是非、大野まで一度きてほしい。ガードレールの状況、白線の消えかけている状況を見てほしい。

- ・毎年要望事項を大野自治会として、昨年は10件、林道主体で上げさせてもらっている。順番に悪いところを優先的に直してくれている。「検討します」という回答もあるが、全然やってくれない訳ではない。感謝している。
- ・昔の施工で網に吹き付けした場所で、掃除中に金具を30本くらい拾った。車がのるとパンクする。現地を確認してほしい。
- ・運転している時に道路しか見ないと気づかないが、法面の山側を見ると危険と感じるところが何か所がある。
- ・改良箇所が風化している。簡易モルタルが年月とともに剥がれた箇所がある。ピンが落ちていると言うことは、山がもたない可能性がある。

(3) 日常生活について

- ・雨が降ると家の裏の道が沢のようになりトイレに雨水が入る。
- ・車道から離れた家は、荷物の運搬にモノレールを使っている。

(4) 移動販売について

- ・昨年から週2回来てくれる。
- ・大野には来るが、大沢には来ない。
- ・要望用紙に記入すれば次回に品物を持ってきてくれる。
- ・ドローンを利用して配達ができるようになるとありがたい。
- ・リマインド方式で予約したら大沢に来てほしい。
- ・1回行くと1か月は行かないといけないのでお客が1人だと業者が困る。
- ・ふれあいバスの日が移動販売と被っているのでバスの日程を変更してほしい。
- ・お店を無くさないよう、移動販売車、水窪町のお店で買い物をしている。

(5) その他

- ・シカとサルが畑に来る。
- ・大沢集落にある宿には結構お客さんが来てくれている。神奈川県や三重県からもリピーターがいる。遠くは北海道、山口県から来た方もいる。1回来てリピーターになった方は2泊とかする人もいる。
- ・大野山から共同アンテナでテレビの線を引いている。受信点から大野まではNHKが予算を出してくれて光ケーブルに更新した。大沢は昔に年配の方がNHKを通さずにやってしまったためNHKが認めてくれない。同じ電波を使っていて大野テレビ組合に加入しているが、大野から大沢までの線が倒木で切れるとテレビ組合で修繕することになる。それ以外はNHKがみてくれる。大沢のほうもNHKで認めてほしい。
- ・飲料水供給施設は、横手タンクから大野集落まで配管を替えた。大沢からタンクまでのホースは45年以上経っている。ジョイントの部分やバルブが壊れたりするので、水道事業の補助金をもらってやっていかないと心配。
- ・途中にろ過機がない。大雨で水が濁ると風呂に入れない。3日くらいは濁った水になる。ろ過機も予算がつけば水道事業で設置したいと思っている。
- ・水道がない家がある。沢の水を溜めて生活している。冬になると水量が少なくなる。
- ・衛星電話が大野はA社、大沢はB社しか使えない。連絡がつかない。大野にもB社のアンテナを建ててほしい。
- ・A社は大雨時にはモバイルネットワークにつながらなくなる。災害時に連絡をとりたいけど使えない。

(1) 集落の現状について

- ・ 明治末期に王子製紙が進出。昭和に入り三信鉄道(現JR飯田線)が開通。古河鋳業が久根鋳山で銅の採掘を開始。昭和28年には佐久間ダム建設工事を開始した。近代資本が地域に入ってきて、それに伴い地域も潤ってきた。
- ・ 現在は高齢化、過疎化が顕著である。自治会加入は154世帯である。
- ・ コロナ禍も明け、祭典等のイベントの再開を計画しているが、在住者は年を取る一方で若者が入って来ないため、世代交代が進まず行事の運営は厳しい状況である。
- ・ 昔から地域のつながりを大切にする意識があり、祭典前の清掃活動等の共同作業は大勢の住民が参加してくれたため、なんとかやれている。
- ・ 現有戦力だけで自治会活動を維持していくことは大変であるため、関係人口や縁のつながりを深めていくことが重要である。行事や共同作業を盛り上げてもらうことにつながり、理想である。

(2) 医療・福祉について

- ・ さくまの里(高齢者福祉施設)のスタッフ不足が深刻である。さくまの里が運営する城西地区の施設ではケアマネジャーが不足して休止に至っている。人材不足に対する対応、支援をお願いしたい。
- ・ 佐久間病院も合併前からいってくれる院長の定年が近いため、病院の将来が心配である。

(3) 道路・交通・防災について

- ・ 風水害によって道路が寸断されることがよくある。防ぐことは難しいが、被害状況等については危機管理課、区役所、協働センターで情報を共有し、横断的な状況把握に努めてほしい。
- ・ 行政の縦割り感が強い。過去に自主防災での消火訓練のため消火栓の使用を消防へ確認したが認められなかった。水道部局は水を使うことについては問題ないが、使用すると水が濁ると言う。有事に備えて訓練を行いたいため、行政も協力をしてほしい。
- ・ 道路災害により通行止めとなったときに災害箇所の安全が確認できなければ通行できないため、迂回路利用期間の長期化は住民生活の負担が非常に大きい。早期の通行再開、復旧をお願いしたい。
- ・ 同報無線の屋外スピーカーは反響などもあり聞き取りづらい。また、災害ほつとメールでは、高齢者は携帯が使えない方も多いため、各戸に戸別受信機を設置した方が好ましいと思う。
- ・ 歴史と民話の郷会館に避難場所が開設されるが、徒歩で行ける距離ではないため車が必要。

(4) 農林業等について

- ・ 農業や林業の第1次産業で働く人が元気に活躍できるような政策、第1次産業を発展させる政策を行ってほしい。
- ・ 佐久間町の上市場地区、島中地区の農地の大部分が太陽光発電施設になった。地域の暮らしや景観を守るために、農地を残せる、守れるような規制ができないか。
- ・ 天竜川がきれいではなくなってきている。鮎を放流しても川を下ってしまい地域内に残らないため、釣り人が減少し、漁協の入漁料も減少している。鮎釣りが地域の賑わいにもつながるため、何らかの対策を望む。

(5) 今後について

- ・アウトドア、ソロキャンプが流行っていて、上島キャンプ場にもバイクで来て一人で楽しむ人が増えている。三遠南信自動車道の整備も進み、佐久間に来てもらえるような地域にしていきたい。
- ・地域が街の若者や移住者を受け入れるための施策を進めてほしい。
- ・光回線がやっと整備された。若者の価値観が変わってきて、移住も含めたテレワークへの誘導を行政としても進めてほしい。
- ・若者が地域へ入って活動してくれるのは力強い。若い戦力を入れて地域を守っていくことが大事である。

(6) その他

- ・通信環境については、静岡県は愛知県よりも遅れているように思う。富山村では20年前から光回線が引かれていて、売木村ではケーブルテレビのようなシステムが導入されている。
- ・合併時は「クラスター型」で地域ごとの個性をいかす方針だったが、その後「ひとつの浜松」に変わり個性が無くなってしまった。個性のあるビジョンをつくってほしい。
- ・区の独自性を発揮できる施策。悪い所を克服して、良い所を伸ばしていく考え方で進めてほしい。

春野：春野地域自治会①

自治会 20人

2023(令和5)年7月4日(火) 19:30~21:00

【ワークショップ】

場所：春野協働センター

(議題) 春野地域の今・これからについて

(方法) ①参加者を10人ずつ2グループに分ける。

②これからの春野地域を「どのようにしたい」「どうあってほしい」かを付箋に記入し、分類して項目を付ける。

③②の達成のために「何ができるか」を付箋に記入し貼り付ける。

④③を「自分たち(住民)ができること」「行政に望むこと」に分けて整理する。

●Aグループ

項目	地域を「どのようにしたい」「どうあってほしい」	そのために何ができるか(実施主体)
人口	<ul style="list-style-type: none"> ・人口の増加 ・移住者やUターン者が増える 	<ul style="list-style-type: none"> ・お試し住宅を活用して、春野地域の良さを感じてもらい移住につなげる(住民・行政)
産業	<ul style="list-style-type: none"> ・産業の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ・春野から出ていくばかりでなく、産業を誘致する(住民・行政)
暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・衣食住の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・イノシシ等の被害があるため、猟友会員を増やして対応することで安全な環境が保たれる(住民)
仕事	<ul style="list-style-type: none"> ・働き場所の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用情報を伝えられる掲示板の作成(住民・行政) ・春野に産業を誘致(住民・行政)

項目	地域を「どのようにしたい」「どうあってほしい」	そのために何ができるか（実施主体）
災害	<ul style="list-style-type: none"> 大雨の時に見回りをしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 消防や警察は情報収集すると現場から離れてしまう時があり、交通整理を住民が半日ばかりで対応したこともある（住民・行政）
情報通信	<ul style="list-style-type: none"> 携帯電話がつながる 	<ul style="list-style-type: none"> 携帯電話基地局の増設 携帯電話会社や地主と交渉するため、住民と行政とで協力する必要がある（住民・行政）
交通 (公共交通)	<ul style="list-style-type: none"> ふれあいタクシー・ふれあいバスは今後も続けてほしい ふれあいタクシーを利用しやすくしてほしい バスの運行本数を増やしてほしい 公共交通の存続 	<ul style="list-style-type: none"> 民間タクシーの活用（住民・行政） 無人運転バス（行政） 第3東名開通（行政）
道路	<ul style="list-style-type: none"> 道路の改良 道路の復旧・修復 道路がきれい 街灯が明るい 	—————
森林	<ul style="list-style-type: none"> 森林が整備されている 山林の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時に行政に迅速に行動してほしい（行政） 山間地域への助成（行政） 木の伐採、枝打ちは地権者が実施
河川	<ul style="list-style-type: none"> 河川が整備されている 	—————
共助	<ul style="list-style-type: none"> 共助の仕組みが整う 	—————
情報・通信	<ul style="list-style-type: none"> 情報の共有ができる体制の整備 	—————
福祉	<ul style="list-style-type: none"> 一人暮らしの方のサポートの充実 	<ul style="list-style-type: none"> 見回り（住民） 見守り・声かけ（住民） 今できるボランティア活動
教育 子育て	<ul style="list-style-type: none"> 教育・子育ての特区 	<ul style="list-style-type: none"> 教育・子育ての特区化することで注目され、子連れの親子が増える（行政）
教育 子育て (遊び場)	<ul style="list-style-type: none"> こどもの遊び場・公共の遊び場の安全 	<ul style="list-style-type: none"> 大人と一緒に付き添い、正しい遊び方を教える（住民） 遊具が減らされることで利用しなくなるため、遊具を増やす（行政）
空き家	<ul style="list-style-type: none"> 空き家問題の解決 	<ul style="list-style-type: none"> 空き家の見回りをする事で空き巣や動物からの被害を防ぐ（住民・行政）

項目	地域を「どのようにしたい」「どうあってほしい」	そのために何ができるか（実施主体）
獣害	<ul style="list-style-type: none"> 農作物を荒らす野生動物が多く出没するようになったので捕獲した野生動物をスムーズに処理したい 	<ul style="list-style-type: none"> ジビエ加工施設が再活動しているのでジビエを利用（住民）
医療	<ul style="list-style-type: none"> 医療の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関の維持（行政） 医者がいない状況を防ぐことが必要（行政）

●Bグループ

項目	地域を「どのようにしたい」「どうあってほしい」	そのために何ができるか（実施主体）
男女共同	<ul style="list-style-type: none"> 女性の意見を吸い上げる仕組みがある 	<ul style="list-style-type: none"> 町内の行事やイベントへの参加（住民） 話し合って意見を発表できる場所を多くつくる 今日のように話し合う場を多くつくる アンケートをとる（住民・行政）
交通 (公共交通)	<ul style="list-style-type: none"> 高校生の通学の負担を減らしたい 通園の負担 公共交通・自主交通政策づくり バスの運行本数を増やしてほしい 街へ行く交通手段が確保されていてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 通学費の補助（全額補助）（行政） タクシーやふれあいバスは通学に利用できないか？
災害	<ul style="list-style-type: none"> 災害の少ない防災施策の強化 	—————
教育 子育て	<ul style="list-style-type: none"> 幼保・学校まで少数でも学べる学校制度に転換 学校の生徒を増やしたい 保育の機会を充実（こども園・預かり保育・保育ママ） こどもが増えてほしい こどもが増えてにぎやかな町になってほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 認定こども園（行政） 山村留学（住民） 保育ママをもっと使える仕組みにする 現場の声を聞いて！（住民・行政） 芸術家の人に来てもらう（行政）
暮らし	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者が安心して住める町にしたい（町内で移動しやすく） 一人暮らしの人、高齢でも元気な人もいるので、いつでも集える場所があれば、さみしさが補える スーパーを増やしたい 生活にかかわるものが安く購入できる 食材や日用品が手に入る店があってほしい（通常価格） 若者が暮らしやすい町にしたい 住まいがある 助け合いができる町づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 町内の店を利用する（住民） カップルの人が住みやすい地域づくり（生活しやすい仕掛けづくり）（住民・行政） 空き家の紹介、住む家の提供（住民・行政）
医療	<ul style="list-style-type: none"> 病院があってほしい 	—————

項目	地域を「どのようにしたい」「どうあってほしい」	そのために何ができるか（実施主体）
人口	<ul style="list-style-type: none"> 若い世代の人たちが移住できるようにできたら良い 若者が帰って来やすい町にしたい 	<ul style="list-style-type: none"> 町外から若者を連れてくる（住民・行政）
仕事	<ul style="list-style-type: none"> 働く場所を増やしたい 	—
その他	<ul style="list-style-type: none"> 元気のある明るい町 少ない人口で暮らし続けられる郷土という基本方針を持つ 春野町にいたいと思う、うまみのようなものがあるといい 	<ul style="list-style-type: none"> 問題は声を上げる（住民・行政） あきらめるのは無し（住民） プロジェクトを立ち上げる（住民・行政） 政策・施策づくりに住民代表の恒常的機関（評議会・審議会）をつくる（住民） 住民を審議会メンバーにする（行政） いろいろな人と接点を持つ（住民） 人と人の横のつながりをつくる（住民） リーダーの育成（住民）

三ヶ日：まちづくり協議会ほか

地域団体 12人

【ワークショップ】

2023(令和5)年7月5日(水) 14:00~15:00

場所：三ヶ日協働センター

(テーマ) これからの三ヶ日について

(方法) ①参加者を6人ずつ2グループに分ける。

②3つのテーマ

- ・「三ヶ日地域の自慢できるところ、良いところ、伸ばしていきたいところ」
 - ・「課題、困っているところ、こうなるといいなと思うところ」
 - ・「こうしていきたい! やってみたいこと、行政に望むこと、具体的な事業の提案」
- を付箋に記入し、分類して項目を付ける。

③②をもとに各グループで発表する。

●地域の良いところ（強み）

項目	Aグループ	Bグループ
暮らし	<ul style="list-style-type: none"> 山と湖がある 良い意味でおせっかい。距離感が難しい 若者たちが頑張っている セミリタイア的な人には良い環境 農協の職員が協力的 伝統がある 	<ul style="list-style-type: none"> 粒がそろった組織が多い 魅力ある人が多い 地域で子育ての環境がある 人口が減少しているが、移動販売を通じコミュニティがつながっている
産業	<ul style="list-style-type: none"> 三ヶ日独自の農協 認定農業者300人組織を維持できている 農協としての後継者を維持していきたい 三ヶ日みかんブランド健在 	<ul style="list-style-type: none"> みかん産業（衰退していない） 農協青年連盟とJA職員が一丸となっている JAの横のつながりがしっかりしている 名店が多い（うなぎ、養蜂場、ホテルなど多い）

項目	Aグループ	Bグループ
教育	<ul style="list-style-type: none"> • 大人が地域や学校行事に協力的（教員と保護者の関係） 	<ul style="list-style-type: none"> • 地域の人たちが学校支援に協力的
観光	<ul style="list-style-type: none"> • マリンスポーツなど観光資源が豊富 	<ul style="list-style-type: none"> • マリンスポーツ・パラグライダーなど人を集客する力がある

●地域の課題（弱み）

項目	Aグループ	Bグループ
暮らし	<ul style="list-style-type: none"> • 少子化、若者が少ない • 田舎ならではの違和感 • 住みにくい点もあるが裏を返すと協力的 • 人口が減少している • 各団体一生懸命だが、メンバーが似ており負担も多い ⇒ やることが多く、横の連携がとれていない 	<ul style="list-style-type: none"> • 町内でも生活における地域差がある • 後継者問題 • 移住者が少ない • 未就学児100人以下になっていく • こどもの減少。三ヶ日高校がなくなったことが大きな影響をもたらしている • 区再編で地元市議が不在になると地域の声が届きづらくなる • 議員頼みにならないようにしたい • 旧三ヶ日町のまとまりを残していきたい
産業	<ul style="list-style-type: none"> • 気候変動による三ヶ日みかんのブランドが守れるか不安 	—————
教育	<ul style="list-style-type: none"> • こどもが少なく、部活の選択肢がないため、三ヶ日に戻ってこない 	<ul style="list-style-type: none"> • 平山小学校や尾奈小学校の統廃合 • 保護者はこどもがいる期間は深く関わるが、卒業すると疎遠になる • 中学校も人数が減ってきている。公立であるメリットは大きい
獣害	<ul style="list-style-type: none"> • 害獣が多い • 生態系が変わってきているように感じる • シカが急増 	—————
環境	<ul style="list-style-type: none"> • 跡取りがおらず、耕作放棄地が増加し、農地を宅地にできない状態が継続している • 市街化調整区域で家を建てたいのに建てられない • 空き家や空き地の問題 	<ul style="list-style-type: none"> • 空き家が多い • 使われない土地とほしい土地がうまく連携できない
交通	—————	<ul style="list-style-type: none"> • 山間部は交通の不便さが心配

● 「こうしていきたい！ やってみたいこと、行政に望むこと、具体的な事業の提案」

項目	Aグループ	Bグループ
暮らし	<ul style="list-style-type: none"> 農地を宅地にできるとよい 農業用倉庫は建設時に助成があったが、メンテナンスにも補助があるとよい 各団体が共通の目的に向かえるようまとまりができると活性化できる 小回りの利く行政であってほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 直接意見が届けられる仕組みがほしい
産業	<ul style="list-style-type: none"> 農家はみかん以外の栽培にトライしてみることも必要 	_____
教育	_____	<ul style="list-style-type: none"> 教育について考える場、話し合う場がほしい 三ヶ日地域に高校が必要



結果：各団体等が共通の目的を持ち、行政と連携した地域づくり

春野：春野地域自治会② 自治会 19人
 【ワークショップ】 2023(令和5)年7月6日(木) 19:30~21:00
場所：春野協働センター

(議題) 春野地域の今・これからについて
 (方法) ①参加者を7人・2グループ、6人・1グループに分ける。
 ②これからの春野地域に関して「どのようにしたい」「どうあってほしい」かを付箋に記入し、分類して項目を付ける。
 ③②の達成のために「どうしたらいいか」を付箋に記入し貼り付ける。
 ④③を「自分たち(住民)ができること」「行政に望むこと」に分けて整理する。

● Aグループ

項目	地域を「どのようにしたい」「どうあってほしい」	そのためにどうしたらいいか(実施主体)
交通	<ul style="list-style-type: none"> バスの運行本数を増やしてほしい 高齢者が車の運転ができなくなった時のための交通機関の充実 交通弱者の救済を 	<ul style="list-style-type: none"> スクールバスの有料運行(行政)

項目	地域を「どのようにしたい」「どうあってほしい」	そのためにどうしたらいいか(実施主体)
防災	<ul style="list-style-type: none"> ● 屋外の防災無線が聞こえない ● 近くで火災が起こったが人手不足で消防団等が来るまでの消火が困難 ● 災害になりそうな箇所の防災対策 ● 迂回路の問題 <ul style="list-style-type: none"> ・ 安心して通れる迂回路を整備してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害時の迂回路の整備(行政) ● インフラ整備などの災害予防(行政)
防災 高齢化	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢化に伴う <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療体制の充実 ・ 道路の整備(迂回路) ・ 起業するときの補助金 ● 道路清掃が人手不足で運営ができない 	_____
医療	<ul style="list-style-type: none"> ● 医療問題 <ul style="list-style-type: none"> ・ 薬局が春野にないため不便 	_____

●Bグループ

項目	地域を「どのようにしたい」「どうあってほしい」	そのために何ができるか(実施主体)
人口	<ul style="list-style-type: none"> ● 若者が楽しく生活できるような地域 ● 住んでいる人が夢を持てるような場所 	<ul style="list-style-type: none"> ● 特色ある学校、産業を考える(天竜高校春野校舎の例…)(住民・行政) ● PR方法を色々考える(住民・行政)
移住	<ul style="list-style-type: none"> ● 移住者が多ければ自治会に活力がみられるが、多すぎるのも問題 	_____
産業	<ul style="list-style-type: none"> ● お茶の栽培がこの先途絶えないでほしい ● 林業が昔のように産業として成り立つようになってほしい ● 農林業の後継者不足(耕作放棄地の増加) 	<ul style="list-style-type: none"> ● SNSで映えるパッケージの制作(住民) ● 町内の木材で住宅を建てる子育て家族に無償で木材を提供し、それを循環させる(行政)
医療	<ul style="list-style-type: none"> ● 眼科や耳鼻科など専門医院があるといい ● 病院が遠い ● 特に小児科が困る 	<ul style="list-style-type: none"> ● 専門医が交代で春野に来る(行政) ● 春野に佐久間病院みたいな大きい病院をつくる(行政) ● 医師を招く(行政) ● 専門医が週に何度か来る(常駐でなくてよい)
雇用	<ul style="list-style-type: none"> ● 若者の仕事がある 	<ul style="list-style-type: none"> ● 景色を利用 ● 自然体験できる施設→仕事につながる(住民・行政) ● 空き家をアート化(アートルレジデンス)(住民・行政)

項目	地域を「どのようにしたい」「どうあってほしい」	そのために何ができるか(実施主体)
防災	<ul style="list-style-type: none"> 大雨時の土砂災害 同報無線がうまく聞こえない 大雨による災害が起きる前に早めの対応をしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 全家庭にもっと感度のよい広報のラジオを配る(行政) 地域に特化した広報誌をつくる(行政) 事前の備えをしっかりとし、火災発生時には地域で協力する(住民)
交通	<ul style="list-style-type: none"> 自家用車がないと生活できない 公共交通の充実 街から行きやすい場所になってほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 浜北まで直で行けるバイパスをつくる(行政) 共助型タクシーの充実
施設	<ul style="list-style-type: none"> 泊まる場所、遊べる場所が増えてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 学校を宿泊施設へ(住民・行政) 廃校を活用
教育	<ul style="list-style-type: none"> 学校がなくなる フリースクールなどをつくっては？ 	<ul style="list-style-type: none"> 子育てには良い環境がある
その他	<ul style="list-style-type: none"> 現状のまま 	—————

●Cグループ

項目	地域を「どのようにしたい」「どうあってほしい」	そのために何ができるか(実施主体)
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> 安価なタクシー 高速道路を通す 公共交通機関がほしい バスが1日1本通っている 移動手段に困らない 交通機関が充実 	<ul style="list-style-type: none"> スクールバスの利用 高速道路などをつくる(行政) 運行バス(病院・買い物)
雇用	<ul style="list-style-type: none"> 魅力ある仕事場 若者たちの仕事ができる場所 若者が働ける仕事があるといい 若者の数を増やしたい 仕事する場所(工場)増やす 企業誘致 	<ul style="list-style-type: none"> 地域おこし協力隊(住民・行政) 茶工場(住民) アルバイト(住民) 温泉を掘る(住民・行政) 茶業組合から求人を出せば働く人も来る 若者が来るためには、高速道路をつくり、工場等の環境が変われば、若者が増える
教育機関	<ul style="list-style-type: none"> 学校を増やす 子供が学校に行きやすい 	<ul style="list-style-type: none"> バスの運行本数を増やす
レジャー	<ul style="list-style-type: none"> キャンプ場などレジャー施設 旧キャンプ場を再開したい 	<ul style="list-style-type: none"> 企業や個人でのレジャー施設を設置していく(グランピング、スペース貸し等)(住民)
趣味	<ul style="list-style-type: none"> 春野文化センターでやっているヨガやダンスなどを公民館でもやってほしい 	—————
飲食店	<ul style="list-style-type: none"> 商店や食堂・カフェがあったらいい コンビニエンスストア・スーパー 	<ul style="list-style-type: none"> 飲食店の復活

項目	地域を「どのようにしたい」「どうあってほしい」	そのために何ができるか(実施主体)
病院	<ul style="list-style-type: none"> • 病院があるといい • 病院が少ない • 専門医がいてくれるといい • 健康面のサポートをしてくれる施設が必要 • 病院に行きたい時に行ける • 専門医を受診できる 	<ul style="list-style-type: none"> • 曜日別に専門医をおく(行政) • 春野町病院をつくる
放棄地	<ul style="list-style-type: none"> • 放棄山林や茶畑を整備してほしい • 耕作放棄地の再生 	<ul style="list-style-type: none"> • 放棄茶の木を三年番茶に加工 • 春野耕作隊に協力を得る(住民) • 間伐材を何かに利用(住民)
災害	<ul style="list-style-type: none"> • 道路や土砂崩れなどの災害に強くあってほしい 	<ul style="list-style-type: none"> • 要望を出すしかない(住民・行政) • 迂回路をつくる
獣害	<ul style="list-style-type: none"> • シカやイノシシを減らしてほしい 	—————

引佐：寺野自治会

【座談会】

自治会 14人

2023(令和5)年7月8日(土) 19:00~20:00

場所：寺野公民館

(1) 住みやすいところ

- ・ 地域と一緒に住んでいる人たちがみんな優しい。
- ・ 地域のみんなが仲良くできる。
- ・ 新しい人(移住者)が来ても快く迎え入れてくれる。
- ・ 三遠南信自動車道ICができて遠くに出かけやすくなり孤立感がなくなった。
- ・ 寺野地区のほとんどが南向きの斜面にあり、日当たりが良い。
- ・ 伝統文化(寺野ひよんどり)や文化財がある。
- ・ 浅間山(愛知百名山)が近くにあり、愛知県から観光客も来ている。
- ・ 公民館の横に共同の売店があり、今も続いている。地元の人たちのふれあえる場所となっている。
- ・ 自然に恵まれており子育てには環境が良い。
- ・ 湧水が豊富でこどもの水遊びも水道代を気にしないですむ。
- ・ 湧水がきれいなためタガメも飼育できる。(3~4年繁殖している)
- ・ 水、米、茶がおいしい。
- ・ 茶摘みの時期になると隣近所で協力して手伝いに行く。(お茶手摘み体験ができる)
- ・ 30代、40代の人たちの地域愛が強い(若連の集まりや祭りなどの行事)。

(2) 住みにくいところ

- ・ 三遠南信自動車道ができるまでは、道が狭く住みにくかった。
- ・ 食料品を購入するためには遠く(井伊谷地区)まで出かけるため、時間がかかる。
- ・ 近くにある商店には、たばこもお酒も売っていない。
- ・ 高齢者は車が無いと、一人では買い物に行けない。家族や知り合いに頼るしかない。
- ・ あまりバスを利用することはなかったが、バスがなくなって不便と感じた。
- ・ 有害鳥獣が増えて作物の被害も増えている。

- ・マダニが増えた。
- ・7年程前にはいなかったが、シカが増え、道路沿いの草むらや茶畑にいる。
- ・ニホンカモシカも増えた（14年程前はめずらしかった）。
- ・ヤマビルや外来種の生き物が今後増えるのではないかと心配。
- ・三遠南信自動車道の橋脚の下の公団や市の土地に植えられた西洋すすきがすごく増えている。種が飛ばなく広がらない品種として植えられたが、いろいろなところで生息している。幹が太く大きく、根も固く、除草剤でも枯れない。地元でも対応しきれないので、処分を行政にお願いしたい。
- ・渋川寺野こども会は少人数になってしまう。
- ・平成4年には211人（小学生20人）いた人口が現在80人に減ってしまった。
- ・寺野にはこどもが少ないため友達がほしい。
- ・有害鳥獣を駆除できる猟友会の会員が少ないため駆除しきれない。猟友会に入ってくれる人がほしい。

(3) 今後どうしたら住みやすくなるか

- ・今までと同様に、みんなで集まって、みんなで話し合っ、みんなで決めて、みんなで実行すれば説明する必要もなく、祭りや自治会の活動ができる。
- ・若者が寺野地区で仕事をして生活していく環境がない。若者たちは都市部に出るしかなく、三遠南信自動車道があっても5～6年後に戻ってきてくれるかわからない。
- ・いなさみどりバスは、幼・小・中学生の送り迎えをして、その空き時間を高齢者等のバスとして利用している。令和元年の時に、小学1年生が中学3年生になるまで継続することになっているが、その後はどうなるのか。
- ・今は高齢者でも免許を返上せず運転できる人も、5～6年後には車を持たなくなり医療機関や買い物に行くことが困難になる。いなさみどりバスを利用する人が少ないために、赤字になり便数を減らしたり、廃止したりすることはやめてほしい。
- ・地域交通の仕組みができないか。地元に住んで自動車の運転ができる人がタクシーの代わりを行えるような制度ができると買い物や通院ができる。
- ・他の地区（10軒程の集落）では、全世帯が携帯電話を利用したネットワークを使って助け合っている。1軒の家で運転できない人が出たため、都合のつく人を探して、買い物先や医療機関へ送っている。今は対応できるが今後どうなるかわからない。

(4) 10年後どうなっているか

- ・住民の高齢化が進み、自分のことで精いっぱいになっている。
- ・70歳まで勤めていると自治会の役職をやる人がいなくなる。

(5) その他

- ・各地で高齢化が進み、高齢者による草刈りは危険と新聞に出ていた。少子化対策だけでなく、高齢化対策も行政で検討してほしい。
- ・鳥獣（特にシカ）の被害が増えている。地域内を柵で囲っているところもあり、今後検討したい。

(議題) 春野地域について考える

(方法) ①出席した天竜高校春野校舎生徒の中で、春野町内在住者6人のグループ、春野町外在住者6人のグループに分ける。

②春野地域の「良いところ」「強み」「課題」「弱み」を1点ずつ付箋に記入し、分類して項目を付ける。

③②をもとに春野地域の「強みの活用」や「課題解決のためのアイデア」を出し合う。

●Aグループ（春野町内）

項目	春野地域の「良いところ」「強み」
自然・環境	<ul style="list-style-type: none"> • 自然が豊か • 静か • 空気がおいしい（きれい） • 水や空気がきれいなところ • 川がきれいで魚がいる • 木・川・空がきれい ⇒ 写真映え • 生き物がたくさんいる
食べ物	<ul style="list-style-type: none"> • ヤマメ・鮎がおいしい • お茶がおいしい • 食べ物がおいしい • 色々なところで椎茸が育てられている • 猪肉・鹿肉がよくとれる
伝統・文化	<ul style="list-style-type: none"> • 昔のものが残っている • 伝説（言い伝え）が多い • 秋葉原の由来になった神社がある（秋葉神社）
観光	<ul style="list-style-type: none"> • 川で遊ぶことができる • 山に登ることができる • 春埜杉が有名 • 観光地が多い • 天狗が有名 • キャンプが楽しめる • 四季折々のイベントができる • カフェ（古民家カフェなど）がたくさんある
人	<ul style="list-style-type: none"> • 温かい • 人と人との距離が近い • 穏やか • 優しい
土地	<ul style="list-style-type: none"> • 土地が安い • 空いている土地が多い

項目	春野地域の「良いところ」 「強み」
その他	<ul style="list-style-type: none"> • 平和に散歩ができる • 良い意味で無駄なものがない

項目	春野地域の「課題」 「弱み」
空き家・空き地	<ul style="list-style-type: none"> • 空き家や空き地が多い
交通 公共交通	<ul style="list-style-type: none"> • 道が狭い • バスの運行本数が少ない • 交通機関が少ない（電車が通っていない） • 観光地を巡るにしても車がなければ行けないところが多い • 都市部のショッピングセンターに行くまでに車で1時間かかる • 友達の家に行くまでに時間がかかる • 移動するのに時間・労力・お金がかかる
人口	<ul style="list-style-type: none"> • 人口が少ない • 春野町外へ出ていく（入ってはこない）
少子化 ・ 高齢化	<ul style="list-style-type: none"> • 若者が少ないこと • こどもが少ない • 高齢者が多い
お店	<ul style="list-style-type: none"> • お店が少ない（スーパーなど） • 買い物をする場所がない • 買い忘れをしたら後戻りできない • コンビニエンスストア・スーパー・ドラッグストアなどがほしい • 大きなお店（ショッピングモール・大きめのスーパーなど）がない • 新しいものが売っていない • 店がなくなっていく
施設	<ul style="list-style-type: none"> • 宿泊施設や職場、遊ぶ場所が少ない • 映画館などが無い
イベント	<ul style="list-style-type: none"> • 魅力的なイベントが少ない • 行事が減っている
環境	<ul style="list-style-type: none"> • 暮らすとなると不便 • 田舎って感じがする • 夏は暑く、冬は寒い
通信	<ul style="list-style-type: none"> • 携帯電話の電波が悪い
災害	<ul style="list-style-type: none"> • 雷がよく鳴る • 自然災害が多い • 土砂崩れが多い

項目	春野地域の「課題」「弱み」
学 校	<ul style="list-style-type: none"> • クラスが変わらない • 部活の種類が少ない • 学校数が少ない
その他	<ul style="list-style-type: none"> • バイクの交通量が多い • パトカーなどのサイレン音が響く • 街灯が少ない • 虫が多い • 「これ」といった春野を象徴する物がない

項目	春野地域の「強みの活用」「課題解決のためのアイデア」
お 店	<ul style="list-style-type: none"> • 椎茸、鹿肉・猪肉やお茶を他の町で売り宣伝する • 有名なもの（椎茸など）を使った料理の販売 • 他の町の肉屋や焼き肉屋に、鹿肉・猪肉を販売してもらい興味を持たせる • ジビエ料理を推してお店を増やす • カフェをつくり、春野の特産物の料理を出す
施 設	<ul style="list-style-type: none"> • できれば、ショッピングモールや大きなスーパーをつくる • コンビニエンスストアやスーパー、ドラッグストアを設置することで生活が便利になる • 道の駅の設置
空き家 ・ 空き地	<ul style="list-style-type: none"> • 空き家や空き地を貸し出してお店を誘致する • 空き家をリメイクして売る • 空き家を宿泊施設にする • 空き家をリメイクして、泊まりで地域体験をできるようにする • 土地の安さをアピールし別荘など誘致する
移 住	<ul style="list-style-type: none"> • 田舎に来たい、住みたい人を集める • 移住してきた人の手当、サービスを豊かにする
雇 用	<ul style="list-style-type: none"> • お店をつくり働きたいので、つくれる場所を探している人たちを集めて商店街をにぎやかにする • 空き家を直して安値で売り、仕事場とすることで雇用を創出する
企業誘致	<ul style="list-style-type: none"> • 企業を誘致
P R	<ul style="list-style-type: none"> • 春野をPRする（広告、ポスター、チラシの作成） • SNSで発信する • 写真スポット的なもののマップをつくる • 釣り場や川、キャンプ場を宣伝する • 大きくなくても特産品の集まる店をつくり、他の町にも宣伝する • 今ある店をYou Tubeなど活用し動画でPRする

項目	春野地域の「強みの活用」 「課題解決のためのアイデア」
その他	<ul style="list-style-type: none"> • 登山ガイドをする • サイクリングスポットをつくる • 特産物などをブランド化する • 春野の木材を使って家具などをつくり、販売する • 公園に遊具を増やす • 春野の木材を使ってアスレチックをつくる • 仕事環境（インターネット環境）を整える • 学校の部活で教えてくれる指導者を募集する • 川の流が速いため水力発電を設置 • 幼稚園も送迎バスをつくる

●Bグループ（春野町内）

項目	春野地域の「良いところ」 「強み」
自然	<ul style="list-style-type: none"> • 動物が多い • 山に囲まれて涼しい • 川がきれい • 自然が豊か
産業	<ul style="list-style-type: none"> • 農業林業が盛ん
観光	<ul style="list-style-type: none"> • 観光名所がある（日本一の大天狗面、明神峡） • 観光スポットが多い • 商業施設が多い • キャンプ場がたくさんある • 特産物である青ねりが美味しい
文化	<ul style="list-style-type: none"> • 秋葉神社がある • 歴史が長い

項目	春野地域の「課題」 「弱み」
自然	<ul style="list-style-type: none"> • 虫が多い • 草木が多い
人口	<ul style="list-style-type: none"> • 人口が減少している • 高齢化率が高い • 高齢者多く過疎化が進んでいる • 平成27年の国勢調査では、春野地域の高齢化率が48.3%
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> • スーパーが少ない • 薬局や遊び場がない • 街灯が少ない • Wi-Fi電波が弱い • 携帯電話の電波が繋がりにくい場所がある

項目	春野地域の「課題」「弱み」
交通	<ul style="list-style-type: none"> • バスの運行本数が少ない • 公共交通機関が少ない • 鉄道が通ってない • 道路の本数が少ない • 利便性（道路）があまり良くない • 高速道路が通っていない
災害・防災	<ul style="list-style-type: none"> • 気候の変化が激しい • 水害（土砂崩れ）に弱い • 土砂災害が多い
雇用	<ul style="list-style-type: none"> • 地域内に働く場所がない

項目	春野地域の「強みの活用」「課題解決のためのアイデア」
道路・交通	<ul style="list-style-type: none"> • 新東名高速道路の支線を建設 • 道路またはトンネルの建設、道路の本数を増やす、トンネルの開通 • 自動運転のバスを導入する • BRT（バス専用道路）をつくる
生活	<ul style="list-style-type: none"> • コンビニエンスストア・スーパーなど、生活施設を増やす • 薬局等による移動販売の実施
アクティビティ	<ul style="list-style-type: none"> • 秋葉神社ガイドツアー • 若者や自然・文化・観光に興味がある人を呼んで、春野の魅力をアピールする • 星を見るなどのイベントの開催 • 自然を利用したアクティビティを実施 • サバイバルゲーム場を、廃校など利用してつくる • 明神峡でボルダリング、気田川でカヌー川下り、サバイバルゲーム • 登山道をつくる
環境	<ul style="list-style-type: none"> • リモートワークができる環境を整える • 公共施設にフリーWi-Fiをつける
施設	<ul style="list-style-type: none"> • こども向け施設をつくる • 市営の施設を建設
PR	<ul style="list-style-type: none"> • 春野町公式のYou Tubeチャンネルをつくる • 春野にしかないものを全面的に押し上げていく

(1) 集落・生活の現状等について

- ・人口が減っていく中で今後どうなっていくのか不安。人が減れば商売も儲からなくなる。
- ・家の両隣が空き家となり、回覧板を少し遠くまで届けられないといけなくなった。
- ・市からの広報等について回覧しているが、隣といっても遠いため、高齢化も進み山道を歩いて届けるのが危険を伴い大変になってきている。配布物を1か所に置いて取りに来てもらうことも考えてはいるが、郵送するなどの対応も検討してほしい。
- ・10~15年先、野田地域の人口が半分近く減ることも考えられ、自治会活動の維持も難しくなると思う。地域の世代交代が進まず、自治会を解散しなければいけない自治会が今後出てくると思う。
- ・大沼班、11世帯。ほとんどが一人世帯、一番歳が若い人は班長で、もうすぐ70歳。地域で行う奉仕作業(草刈りや道づくり等)も手が回らない状況である。
- ・移動販売車が来るようになり、週1回は地域で買い物ができるようになった。宅配業者や地元の店も上手に使わないと、撤退したり潰れたりしかねない。
- ・インターネットの光回線が開通したためWi-Fiが使えるようになった。
- ・行政書士をやっているが、佐久間、水窪、龍山地域は行政書士が少ない。高齢で辞め時もあるが、相続問題等の需要が多く辞められない。
- ・相続財産の国庫帰属制度が始まり、空き家対策や所有者不明土地の問題について行政としても考えてほしい。
- ・地上デジタル放送はテレビ組合の共聴アンテナで各世帯で視聴しているが、設備が古くなり故障時に保守業者から部品が無くなってきていると聞いた。各世帯で視聴可能かの調査などがあるといい。

(2) 医療・福祉について

- ・医療と道路の整備が十分でないことが、住民の一番の不安である。災害などで道路通行止め時に透析患者の通院について、不安が特に大きい。

(3) こども・子育てについて

- ・湖北高校佐久間分校に学生寮があるが、中学生用にも寮をつくって地域外から呼び込んでみてはどうか。
- ・城西小学校が閉校して5~6年経つが、地域に高齢者しかいない。若い世代が住んで子育てできるような補助が必要だと思う。こどもがいないと地域に未来がない。
- ・愛知県北設楽郡東栄町では児童数が維持されている。他地域の事例を調査、研究して、浜松市の中山間地域へいかしていただけるとありがたい。

(4) 文化

- ・昔は、歴史と民話の郷会館で歌手等の公演があり楽しみもあったが、合併してから公演が無くなった。浜松や天竜で行う会議等は行くのが遠くて参加するのに難しい。
- ・今田地区に300年近く続いていると言われる民俗文化財の「花の舞」は、地区にこどもがいなくなり、継承できなくなってきており、住民も減り自然消滅が危惧される状況である。

(5) 道路・交通・防災について

- ・野田地区の避難所が城西ふれあいセンターになっているが、水窪川と河内川が合流する地点であるため危険ではないか？

- ・大雨の時に道路に倒木があり、住民で協力して倒木除去して通行できるようにした。今回は大きな被害がなかったが、大雨や災害時の道路の問題は心配である。
- ・6月の大雨の時、国道152号が通行止めになり三遠南信自動車道を迂回するよう案内されたが国道151号が通行止めであった。県を越えて迂回路となる場合は、その道が通れるかは確認して案内してほしい。
- ・三遠南信自動車道の整備に伴う作業用道路ができるため、開通後も利用できるようにしてほしい。地域の存続に大きな影響が生まれるため、医療や救急の面からみても強くお願いしたい。
- ・農道開設するにあたり土地を市へ提供しているが、提供した後も、提供した人それぞれ草刈りをしている。今後、高齢化で対応できなくなってくる。
- ・林道と市道で道路の草刈りや側溝の管理等の対応が異なることがある。部署や予算に違いがあるのは分かるが、住民にとっては同じ生活道路であるため、生活道路の管理や対応する課をつくる等今後対応を考えてほしい。

(6) 農林業等について

- ・家の周囲で空き家が増え、耕作放棄地が増えることで動物の住処になっている。人口が減っていくことで、耕作放棄、山林放棄が進み、所有者不明の土地が増えていくと思う。
- ・山へ行けばヒルやダニに刺され、農業も働き難くなっている。
- ・茶畑を持つ家のほとんどが、高齢化、後継者不足で製茶工場も減りお茶を摘むことができなくなっている。放置した茶の木は太く高くなり処分が困難になってくる。住環境、生活環境維持のため、茶の木の適正処理に対して助成する等の制度や市で事業実施ができないか？

(7) 今後について

- ・地元の住民では気づかない野田の魅力を感じてくれる若者たちや都市部の住民と、いろいろな話や交流ができる場があるといい。新たな魅力の発見ができる。
- ・東京に住み、佐久間へ農作業をしに来る人がいることを聞いた。新東名高速道路と三遠南信自動車道を使うことで魅力的な地域で農業ができるらしい。空き家や情報発信を上手に使うと、地域に関心を持ってもらえる人が増えればいいと思う。
- ・人口やこどもの減少で、ふれあいバスの存続が危ぶまれる。こどもの減少は非常に怖い。

(8) その他

- ・区再編に伴う担当副市長の設置や中山間担当部署の設置は心強い。期待している。
- ・浜松市総合計画ではスマートシティと言われている。歩いて病院、買い物、学校に行ける。どれも中山間地域とは対照的。市の大きな方向性はスマートシティでいいが、中山間地域はどのような位置づけなのか？
- ・佐久間ダム完成時には水没する集落が集団移転した。地域の人口が徐々に減少するなかで、地域に残されていく人たちはなかなか厳しい。みんな一斉に転出してしまった方が楽なのかと考えることもある。中山間地域の10年後、20年後を考えたときに何が幸せなのか。

佐久間：小中PTA、消防団員

若年層 8人

【座談会】

2023(令和5)年7月18日(火) 19:00~20:05

場所：佐久間協働センター

(1) 学校の現状等について

- ・浦川小学校は全校児童数11人で、市内で児童数が一番少ない。今後児童数は減り続ける見通しで、令和6年度末は閉校し、令和7年度から佐久間小学校への編入について、現在協議している。(浦川幼稚園も同じく閉園し佐久間幼稚園へ編入予定)

(2) 学校・教育について

- ・学校が統合された場合の浦川地区から佐久間小学校への通学について、JR飯田線が大雨などで運休が多いため不安に感じている保護者がいる。
- ・浜松市の決まりで、通学には公共交通機関を使用しなければいけないと聞いている。スクールバスがあれば良い。
- ・佐久間小学校の校舎が古く、トイレの入り口が男女一緒に部屋の中で分離されている。今の時代にはありえない。今後、改善してほしい。
- ・城西地区在住。学区は佐久間小学校だが、車で5分で行ける水窪小学校へ通っている。学区外通学のためスクールバスを走らせてもらえない。学区は城西小学校閉校時に当時の保護者等で佐久間小学校への編入を決めたものである。時代に合わせて、柔軟に対応してもらえれば少しは住みやすい。こどもの学校までの送迎がなかなか負担である。
- ・山香地区にはスクールバスがあるが佐久間地区にはない。佐久間のこどもは徒歩で鉄橋を渡り、佐久間小学校へ通学する必要があるため、親が送迎しているケースもある。山香地区のスクールバスに佐久間地区の児童が乗車できる等、柔軟に対応できるといい。
- ・こどもが減ってきていることで、湖北高校佐久間分校がいつまで存続できるか心配。高校がなくなることで地元に残る人が減り、人口減少に拍車がかかることが心配。

(3) こども・子育てについて

- ・女性が出産後に働こうとしても、こどもを預けられるところがない。女性が働ける環境が整っていない。
- ・知り合いは、車で30分～1時間かけて愛知県北設楽郡東栄町の保育園にこどもを預けて仕事をしていたが、愛知県北設楽郡東栄町へ引っ越してしまった。
- ・「市民の声」に子育て世代に優しい地域を…と意見をあげたが、「人口が少ないため…」との回答で終わってしまった。「人口が少ないからやらない」のか「人口を増やすために環境を整える」のか難しいところ。

(4) 消防団の現状等について

- ・団員は佐久間第1分団28名、第2分団27名。数字だけで見れば多いと感じるが、約半数は機能別団員で普段の活動はせず、有事の際に協力してくれるOB団員である。
- ・団員は佐久間地域在住・在勤が条件であり、約半分は天竜や浜北在住者で、佐久間地域の在勤者である。
- ・以前は団員の定年が38歳だったが、現在は団員数減少により定年制が廃止され、一定年齢で団の役職を終えた後、一般の団員として活動を継続している団員も多い。
- ・若い年齢の団員が役職を務め、その下に年上の経験がある団員が就いているため、やりづらさがある。
- ・定年制があった頃は、「あと何年頑張れば消防団活動が終わる。」と思い活動に励んでいたが、今は終わりが無いため気持ち的に非常に大変である。

(5) 住宅事情について

- ・森林組合に若者が就職した。山香地区の市営住宅に入居を予定していたが、住宅のボイラーが故障していて修繕の予定も無いとのことから入居できなかった。せっかく佐久間へ就職すると言ってくれても住むところが無いのが現状である。
- ・市営住宅に住んでいたが、がけ崩れの危険があるため退去させられた。
- ・町外から来る人にとって厳しい。
- ・空き家を探しても、住める空き家が見つからない。
- ・愛知県東栄町では空き家や住宅の紹介、斡旋をしてくれる。

(6) 道路・交通について

- ・道路が良くなってほしい。特に山香地区から城西地区の国道は道幅が狭く路面はガタガタ。大型車の通行もあるため改良してほしい。山間部は道路整備の優先順位が低いように感じる。

(7) 日常生活・地域の活動等について

- ・祭典における若連活動で自分の親年代と付き合うことが多い。慣れてはいるが、年上ばかりで居心地が良くないと感じることもある。同年代がいればいい。
- ・祭典は地域によってまちまちだが、中部地区は自治会が準備し若連が当日協力する。若連に定年の決まりはなく、自分のこどもが若連に入ると親が抜けていく感じ。中部地区は若連の循環（世代交代）が多少あると思う。浦川地区はいつも同じメンバーの印象。
- ・消防団へ地域の花火大会の警備依頼がある。年に4～5件あるため、警備に出なければいけない大変さはあるが、地域に花火があるのはとても素晴らしいと思う。
- ・城西に「今田花の舞」があるが、10年先、20年先は続けられないと思う。
- ・「竜神の舞」は保存会が活動している。メンバーの入れ替わりが少ないまま年を重ねているため、舞の道具が重くて、活動が大変になってきている。
- ・佐久間で暮らし始めて15年目になる。「人が足りない」とよく耳にするが、“いる人”の事をとても大切にしてくれる。温かい地域ですごくいい。
- ・さくまの里に勤務している。幼稚園児から高校生までボランティアで来てくれる。施設利用者も喜び、こどもにとってもいい経験。続けてほしいし、支援していきたい。

(8) その他

- ・耕作放棄地の貸し付けの斡旋等を行ってみてはどうか
- ・こどもが愛知県北設楽郡東栄町のサッカーチームに入っている。こどもがすごく多いが、地元よりも移住者が多いらしい。
- ・市には「人が少ないからやらない」ではなく、「人を増やすためにやろう!」という考えで取り組んでほしい。

春野：幼少中PTA、春野森林組合、消防団ほか

若年層 18人

2023(令和5)年7月25日(火) 19:30～21:00

【ワークショップ】

場所：春野協働センター

(議題) 春野地域の今・これからについて

(方法) ①参加者を7人ずつ3グループに分ける。

②これからの春野地域を「どのようにしたい」「どうあってほしい」を付箋に記入し、分類して項目を付ける。

③②の達成のために「どうしたらいいか」を付箋に記入し貼り付ける。

④③を「自分たち(住民)ができること」「行政に望むこと」に分けて整理する。

●Aグループ

項目	地域を「どのようにしたい」「どうあってほしい」	そのためにどうしたらいいか(実施主体)
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> • 車がないと生活できない(こどもも) • バス・タクシーをもう少し増やすほうが良い • 交通手段が少なく車での移動が大半を占める • 幼稚園児・高齢者などの交通弱者も暮らしやすくなるといい • スクールバスに老若男女、みんなで乗れたらいい • スクールバス混乗についての話し合いの場があったらいい • いろいろな世代が歩み寄り、譲り合って、スクールバスを有効に利用できるといい 	<ul style="list-style-type: none"> • 春野のえがおのタクシーの活用をする(行政) • スクールバスが通ることができない道ではタクシーを利用することができる(行政) • 地域交通バスで、通学・通園できるようにしたい(行政) • スクールバスの活用 • スクールバスと路線バスの接続を考えたい • スクールバスのニーズを調べる(住民・行政) • スクールバスをどんなふうにも有効利用できるか話し合う場を設ける(行政) • 砂川地区はとりあえず、みんな仕事で山を下りるので、乗合タクシーみたいなのもできたらいい
復旧・防災	<ul style="list-style-type: none"> • 林道・市道の早期復旧 • 6月の豪雨により小石間トンネルが通れなくなったので迂回路の整備をしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> • 行政に声を掛けつづける(住民) • 道路の復旧について、困っていることを訴える(住民) • 行政に伝えて市道や林道を整備してもらおう(住民)
小学校の存続	<ul style="list-style-type: none"> • 犬居小学校が存続してほしい • 犬居小学校がコミュニティスクールとして盛り上がるといい 	<ul style="list-style-type: none"> • コミュニティスクールの話し合いに参加してみたい(住民・行政) • こどもが在学しているかどうかに関わらず、犬居小学校に関わりたい(住民)
こどものための医療	<ul style="list-style-type: none"> • 小児科がない • 救急の時の病院がない(特に夜間) 	<ul style="list-style-type: none"> • 若い教員に来てほしいが、厳しい • 協働センターの歯科医みたいに小児科医も来てもらえたら助かる(行政)
子育てと仕事の両立	<ul style="list-style-type: none"> • サンサンクラブ(学童)の開設日が少なく、共働きできない • 認定こども園になってくれると共働きの夫婦も移住しやすい • 子育てしながら仕事ができる所は知り合いが多くてやりづらい • 理解をしてもらえるように面接時に伝え入社しても難しいため退職になってしまう 	<ul style="list-style-type: none"> • 春野町に一つは、安心してこどもを預けられる施設がほしい(行政) • 預かり設備がある職場・一緒に働く人の理解がほしい(行政)
その他	<p style="text-align: center;">—————</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 春野観光名所をつくる • 今あるものをもっとアピールする(住民・行政)

●Bグループ

項目	地域を「どのようにしたい」「どうあってほしい」	そのためにどうしたらいいか(実施主体)
仕事	<ul style="list-style-type: none"> 町内の職場が少ない 通勤が大変 若者向けの仕事が増えればよい 仕事場が高齢化していて常に人手不足である 若い世代が町外に就職 	<ul style="list-style-type: none"> 既存企業のIT化・デジタル化(企業) 春野での仕事先を集めて紹介する(企業) 大企業(IT)誘致(行政)
子育て	<ul style="list-style-type: none"> こどもの預け先が少ない (育休明けで預けられない) 	<ul style="list-style-type: none"> 職場でこどもをみてもらう(企業) 教育・子育てを特区化する(行政) 学童の開設時間など幅を広げる
防災	<ul style="list-style-type: none"> 最近の雨の降り方は予想できないので、土砂災害について心配 消防団員の減少 	—————
人口減少	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代が町外へ出てしまう 少子化により生徒数が少ない 若者が暮らしやすい町 高齢者の一人暮らしの増 PTAの実家庭数が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> デジタルCityはるの(行政)
医療	<ul style="list-style-type: none"> 病院(特に耳鼻科)が遠い 	<ul style="list-style-type: none"> 24時間受付可能な病院をつくる(住民・企業・行政) 総合的な病院・施設(老人・こども)施設の整備 介護施設の要介護のくくりを変える(山間地域特化)
移住	<ul style="list-style-type: none"> 町外に出た人のUターン移住 	<ul style="list-style-type: none"> 仕事先と住居の提供(企業) 既存の春野の資源を使って外にアピール(住民・行政) 空き家を減らす(行政)
通信 交通	<ul style="list-style-type: none"> 通信・交通インフラ不便 	<ul style="list-style-type: none"> 通信網の準備(山間地区) 鉄道・高速道路誘致(行政) 電車の(天竜-春野-森)路線をつくる 高校へ通う際に大きなバス停・電車の駅までスクールバスを運行可能とする
まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 春野愛であふれる町 活気のある町 高齢者が安心して暮らせる町 	<ul style="list-style-type: none"> 各世代間コミュニケーションの場・イベント(住民) 春野地域の情報集約(住民・行政) 春野町をもっとアピールする(住民)
その他	—————	<ul style="list-style-type: none"> 他の地域の良い所を取り入れる(住民・企業・行政)

●Cグループ

項目	地域を「どのようにしたい」「どうあってほしい」	そのためにどうしたらいいか(実施主体)
生活	<ul style="list-style-type: none"> 100年先もいきいきした町であってほしい 町民みんなで助け合いのできる町 いつでも帰っておいで いつでも移住しておいで 町の人たちがいつでも集える場所 祭りや文化の継承 学校のスクールバス継続 	<ul style="list-style-type: none"> 無関心ではいられるが無関係ではいられないという意識を持つ(住民) 春野出身者の協力(住民) 団体として提案(住民) みんなで話し合える場所づくり(住民・行政) 共助(住民)
教育	<ul style="list-style-type: none"> 子育て教育が充実した町 地域を愛せるような教育 春野町が特別区として他にはない町にしたい 	<ul style="list-style-type: none"> 今の課題を集約・行政と協力して前に進める(住民・行政)
雇用	<ul style="list-style-type: none"> 若者が楽しめる所がほしい 娯楽施設がもっとほしい 新しい産業 飲み屋が近くにほしい 働く場所が増えてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> コワーキングスペースをつくる(行政) 若者がチャレンジしやすい環境をつくる(行政) 観光施設の建設や温泉を掘る(住民・行政) 企業誘致(住民・行政)
環境	<ul style="list-style-type: none"> 景観整備 山がよく崩れるようになった 山林の整備保全 	<ul style="list-style-type: none"> 土木関係者の若返り、人員増(住民)
交通	<ul style="list-style-type: none"> 電車が通る町 高齢者(免許返納)の交通 通勤に時間がかかる 市道や林道など生活道の整備 高速道路を通してほしい バスの運行本数が少ない 公共交通の充実 	<p>—————</p>
通信	<ul style="list-style-type: none"> 携帯電話の電波が届かない所が多い 	<ul style="list-style-type: none"> 電波塔をつくってもらおう(行政)
情報	<ul style="list-style-type: none"> 町内のイベント情報もっと知りたい 町内の情報が集約⇒助け合い 春野の中でも知らないことがたくさんある 町内情報の共有⇒同報無線の活用 	<ul style="list-style-type: none"> イベント等情報 企画⇒発信 春野地域の情報を集約(住民・行政)
医療暮らし	<ul style="list-style-type: none"> こどもがかかる病院がない 今あるお店はそのまま残っていてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 大きい病院から当番で医者に来てもらう(行政) 町内の人が町内で買い物をする(住民)
その他	<ul style="list-style-type: none"> 河川監視カメラの設置 防犯カメラの設置 廃校・空き家利用 街灯が少ない ふれあい公園の遊具が減った 	<p>—————</p>

主な意見

- ・中学生17人、小学生27人、新一年生0人、幼稚園3人と生徒数は少なくなっているが、元気にやっている。
- ・「よかつつらみさくぼ」は水窪文化会館の管理業務を委託するということで地域のNPO団体と観光協会の3団体が合同で地域を活性化する目的で立ち上げた。主には、水窪文化会館の管理業務をやっている。水窪文化会館の管理は、水窪文化会館だけではなく、体育施設、小畑グラウンド、テニスコート、民俗資料館等も含めお手伝いをさせていただいている。
- ・すばらしいスタッフがおり、市が望む以上にやってくれている。文化会館の展示、講座等の企画とかやっている。今後、さらに発展して地域の生涯学習がどんどん浸透して行って、みなさんの生活が豊かになることを目指して活動している団体である。
- ・PTA活動を地域のみなさんにも手伝ってもらって活動している。資源回収等。
- ・小学校では昔は日曜日に奉仕活動をやっていたが、今は父親参観の後に清掃活動を生徒と一緒にやっている。親の負担を減らすよう学校も配慮している。人数が少なくなったので抱き合わせが多くなった。
- ・随分PTA活動内容が変わってきている。PTAの組織の人数が減ってきているので役員の人数も減っている。委員も簡素化している。
- ・人数が減っているからその分親に負担があるかと言ったらそういう訳ではなくて、そんなに負担に感じることはない。
- ・地域でこどものことを見てくれているので助かっています。知らない人ではなく、みんな知っている人なので、周りがいろいろ助けてくれる。地域で見守ってくれる。
- ・授業内容が手厚いと思う。特に部活は地域によって変わるので、街の方では小学校3年生は部活に参加できない学校があるけど、水窪は小学校3年生でも参加できる。プールの部活もしっかり先生方が見てくれるので全く泳げない子は多分いないと思う。街の方では3年生、4年生で泳げない子の話は結構聞く。小さいうちから見てもらえるのはこどもたちにとって強みになると思う。
- ・浜松山里いきいき応援隊に赴任する時、地域に入れるか不安があったが、迎え入れてもらった。
- ・意外と電子機器に触れる人が多い。スマホ教室とかやっているのもあると思うが、都市部の高齢者より触れているかなと思う。
- ・スマホ教室は文化会館の事業の前からやっていて浸透してきた。
- ・2年間やっていてその中から一人独立した方が携帯電話関連の店を出してくださっていつでも相談に行ける場所ができた。行くといつも高齢者がいる。
- ・事業者は利益度外視してやって下さり、高齢者のスマホ利用率向上に対する成果が凄く大きいと感じている。
- ・今日、浜北でスマホ教室をやってきた。浜北女性の会からの依頼でやってきた。静岡県下にどんどんこの動きが広がり始めている。発端是水窪から。
- ・こどもは講座を楽しみにしている。
- ・こどもとのつながりもあるが、高齢者の手助けをしたい。
- ・もうちょっと高齢者の手助けをしたいなと感じている。買い物支援は安否確認にもなる。
- ・PTA活動、奉仕活動、支援活動、昔より負担軽減している。
- ・人口減少により、以前よりも資源回収の量が減っている。それだけ活動時間が短縮になった。
- ・活動自体、人が少なくなればできることも少なくなる。少なくなったなりに地域の方が協力してくれる。地域の負担が大きくなる。

- ・学校の部活動は平日のみ。土日はクラブチームで活動する。部活も2時間と限られた時間でやっている。
- ・クラブ活動の場を増やしてほしい。スポーツに限られる。協力できる大人を増やしてほしい。
- ・中学校の野球は、水窪・光が丘・春野・清竜の4チーム合同でやっている。
- ・浜名区はNPOでクラブチームがあるが天竜区にはない。
- ・平日はキャッチボールくらいしかできない。
- ・湖北高校佐久間分校がなくなると不安。今は20人くらいで安定しているが今後は分からない。
- ・小学校、中学校は休校すると開校は難しいので不安。
- ・学校がないと移住の選択に入らない。
- ・自助・共助・公助。一定の理解はできるが、もう十分やっている。手一杯。高齢化率65%、3人で7人を支えることになる。
- ・仕事として地域を支える仕組みがあるとよい。
- ・70代でも働いている。世代交代ができない。職場も高齢化している。
- ・70代後半にならないとボランティアに協力できない。
- ・給料が安く掛け持ちで仕事している。
- ・NPOまちづくりネットワークWillで、放課後こども教室を実施しているため、こどもの成長を追える。今年、プールの監視を大学生にってもらった。人員確保が大変だった。
- ・一人の負担が増えている。いろんな役を引き受けている。
- ・できれば水窪に住み続けたいと思うが、人口が減っていくので今後の生活に不安がある。
- ・生活道（国道や市道等）の道中も崩れるから住むには難しい。
- ・災害の不安。復旧に時間がかかる。
- ・よその人を見るとたまに来るには良い所だが、住むのは不便が多いのではないかな。
- ・住んでいて不便はないが、生活における不安が大きい。
- ・SNSを勉強していこうと思うが進んでいない。コアな内容など使い分けて勉強している。
- ・民間主導でやったほうが自由に発信できる。ユーチューバー等の方が表現しやすい。
- ・良い所をアピールして移住者が来てくれたら嬉しい。
- ・天竜ルールをつくってもらい、臨機応変に対応してほしい。
- ・中心部と同じルールではできないことも。一市多制度が嬉しかった。
- ・地域個別制度。バスの料金が市内統一は不公平。都市部は200円で買い物や病院に行けるが、田舎はいけない。水窪は終点まで行かないといけない。
- ・学区外通学児童がいる。城西から水窪は学区外で通学バスがない。水窪なら4km、佐久間は20kmかかる。枠組みがなくなるとよい。

引佐：伊平自治会

自治会 15人

2023(令和5)年8月4日(金) 19:00~20:00

【ワークショップ】

場所：伊平基幹集落センター

(テーマ) 伊平区をもっと住みやすくしよう

(方法) ①参加者を3グループに分ける。

②伊平区の「住みやすいところ」「住みにくいところ」を付箋に記入する。

③「住みにくいところ」を「住みやすいところ」にするために「どうしたらよいか」を付箋に記入する。

④それを解決するために「自分たちができること」「行政ができること」を付箋に記入する。

⑤各グループで発表する。

●Aグループ (大人7人・小人1人)

項目	住みやすい(+）・住みにくい(-)	どうしたらよいか	解決策
生活	<ul style="list-style-type: none"> • 周りに家がない (+) • 地域の人と仲良く暮らせる (+) • 野菜を分けてもらえる (+) • 気候が温暖で住みやすい (+) • お店が無い (-) • 高齢化が進んでいる (-) • 自治会行事が多い (-) 	<ul style="list-style-type: none"> • お店をつくる • 若い世代を移住させる活動をする • 自治会行事を減らす 	<ul style="list-style-type: none"> • 行政が積極的に過疎化対策をし、人口増加政策をする (行政)
環境	<ul style="list-style-type: none"> • 自然豊かである (+) • 自然災害が多い (-) (特に地滑り地域が多い) • 浜松いなさJCTがあるのにあまり活用されていない (-) 	<ul style="list-style-type: none"> • 浜松いなさJCT付近に商店やガソリンスタンドをつくる 	<ul style="list-style-type: none"> • お店を誘致する (行政) • 移住者用の土地を用意する (行政・民間)
交通	<ul style="list-style-type: none"> • 浜松いなさICに近い (+) • ガソリンスタンドが少ない (-) • 公共交通機関がない (-) 	—————	—————
情報	—————	<ul style="list-style-type: none"> • イベントを企画して情報発信する • SNSで良い所を発信 	—————
教育	<ul style="list-style-type: none"> • 手厚く子どもをみてもらえる (+) • のびのび子育てができる (+) • 小学校が無い (-) 	<ul style="list-style-type: none"> • 子育て世代の移住者を増やす 	—————
雇用	<ul style="list-style-type: none"> • 働く会社がある (+) • 地域に会社が少ない (-) 	—————	<ul style="list-style-type: none"> • 行政が会社を誘致する (行政)
通信	<ul style="list-style-type: none"> • 光回線がない (-) 	<ul style="list-style-type: none"> • 既存の光回線を延長してもらう 	—————
<p>まとめ</p> <p>①昔から住んでいる人には、店がない・会社がない・学校がないということで住みにくい地域だが、移住者にとっては、住みやすく良い環境であると捉えている。</p> <p>②近くに浜松いなさJCTがあるので、積極的に企業を誘致してほしい。人口の減少は、若者がいない⇒子どもがいない⇒学校もない、ということにつながる。もっと地域を活性化し、若い住民を増やしてほしい。</p> <p>③地元の幼稚園では、子どもより先生方の方が多く、手厚い教育をしてもらえておりありがたい。</p> <p>④6月の大雨(自然災害)では、1名の死亡者まで出てしまった。 人が亡くなってから対策するのでは遅いので、早期に地滑り対策を講じてほしい。 なお、伊平地区でも地滑り地域の居住者が、伊平地区から引っ越すことになってしまった。</p>			

●Bグループ (大人4人)

項目	住みやすい(+）・住みにくい(-)	どうしたらよいか	解決策
生活	<ul style="list-style-type: none"> • 近所の人が優しい (+) • 郵便局とJAが近くにある (+) • 井戸が多い (+) • 空き家が多い (-) 	<ul style="list-style-type: none"> • 移住者を求める 	<ul style="list-style-type: none"> • Welcome集落制度のメンバーを増やす (民間)

●Bグループ（大人4人）

項目	住みやすい(+）・住みにくい(-)	どうしたらよいか	解決策
環境	<ul style="list-style-type: none"> • 空気が美味しく静かである (+) • 自然豊かで水資源が多い (+) • 体育館が使いやすい (+) • 獣害が多い (-) • 虫が多い (-) 	<ul style="list-style-type: none"> • 有害鳥獣駆除の実施 • 虫を好きになってもらう 	<ul style="list-style-type: none"> • 猟師のなり方を広報する (行政)
交通	<ul style="list-style-type: none"> • 新東名高速道路が近い (+) • なおとら線が曜日限定である (-) • 高校へのアクセスが悪い (-) • 金指地区が渋滞する (-) • 徒歩、自転車で行けるスーパーがない (-) • 市街地まで60分も掛かる (-) • 公共交通機関が乏しい (-) 	<ul style="list-style-type: none"> • なおとら線の全日運行 • 朝方、井伊谷方面のバスがほしい 	<ul style="list-style-type: none"> • 行政から遠州鉄道にお願いしてもらおう (行政)
教育	<ul style="list-style-type: none"> • 川遊びができる (+) • 自然が豊富で虫・草花が身近 (+) • ファーブル昆虫記の世界がそこにある (+) • こども同士の触れ合いが少ない (-) • 塾が近くにない (-) • 公園がない (-) • 小学校がない (-) 	<ul style="list-style-type: none"> • 小学校をつくる • 若者を集める • 基幹集落センターで習いごと教室を開講する • 地域包括支援センターを伊平で開設する 	<ul style="list-style-type: none"> • フリースクールをつくり、市に認定してもらおう (行政・民間) • NPO法人大地に支援センターをつくる (行政・民間)
雇用	<ul style="list-style-type: none"> • 雇用がない (-) 	<ul style="list-style-type: none"> • 企業を誘致する 	—————
通信	<ul style="list-style-type: none"> • 携帯電話大手キャリアの電波が入る (+) • 共聴テレビにお金が掛かる (-) 	<ul style="list-style-type: none"> • テレビ組合の無料化 	<ul style="list-style-type: none"> • 光テレビやネットで観るようにする (行政・民間)
医療	<ul style="list-style-type: none"> • 北消防署引佐出張所が近くにある (+) • 診療所しかない (-) 	—————	—————

まとめ

- ①空気が美味しく、自然が豊かで住みやすい。川遊びができ、昆虫もいっぱいいて、こどもたちが喜ぶ。
- ②何かを誰かに聞くと、誰でも親切に答えてくれる地域のすばらしさ。(近所付き合いがしやすい) 中山間地域の特性か。
- ③地域に公園がほしい。(具体的には、旧伊平小グラウンドに遊具の設置を要望)
- ④困る点として、空き家が多い・獣害が多い・雇用がない・塾がない・高校に行くバスがない・テレビにお金が掛かる。
- ⑤要望として、なおとら線の増便・企業誘致・診療所週3日の診療日を増やす・猟師のなり方を市がもっとPRしてほしい。
- ⑥Welcome集落制度の周知をして、移住者を増やしてほしい。
- ⑦地域包括支援センターを旧伊平小学校に開設してほしい。

●Cグループ（大人5人）

項目	住みやすい(+）・住みにくい(-)	どうしたらよいか	解決策
生活	<ul style="list-style-type: none"> 車の通りが少ない (+) 家が近すぎない (+) お店が無い (-) 特産品が少ない (-) 人口が少ない (-) 	<ul style="list-style-type: none"> 宅配システムの普及 空き家を貸す イベントの開催 	<ul style="list-style-type: none"> 健康な体を維持し、医療費を削減する（民間） 移住者に補助金を出す（行政） 税金のばらまきをなくす（行政）
環境	<ul style="list-style-type: none"> 水が美味しく、川がきれい (+) 緑が多く、自然が豊か (+) サル・イノシシが出る (-) 動物の食害等被害が多い (-) 	<ul style="list-style-type: none"> 自然をいかしたレジャー施設をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> 山林の保全（行政・民間）
交通	<ul style="list-style-type: none"> 高速道路の浜松いなさICに近い (+) 高速道路へのアクセスが良い (+) バスがない (-) 交通手段が少ない (-) 国道が渋滞する (-) 	<ul style="list-style-type: none"> バス路線を再開させる 自動運転タクシーの導入 	<ul style="list-style-type: none"> 市でバスを提供する（行政） いなさみどりバスを利用する（行政）
情報	<ul style="list-style-type: none"> 光回線が通った (+) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域に話題をつくる 	—————
教育	<ul style="list-style-type: none"> 学校の生徒数が少ない (+) 学校が無い (-) 	<ul style="list-style-type: none"> スクールバスを出してほしい こどもを増やす 	<ul style="list-style-type: none"> 若者（移住者）を増やす（行政・民間）
雇用	<ul style="list-style-type: none"> 会社まで遠い (-) 地域に産業がない (-) 	<ul style="list-style-type: none"> 企業を誘致する 	<ul style="list-style-type: none"> 企業団地をつくる（行政）
通信	<ul style="list-style-type: none"> 光回線はつながる (+) 携帯電話の電波が届かない (-) 	<ul style="list-style-type: none"> 通信費を安くする 5G化する 	—————

まとめ

- ①自然が豊かで、ネット環境も整備されている。
- ②地元にお店がないため、車がないと生活が困難である。また、バス路線もなく買物弱者が出現してしまう。
- ③地域に産業がなく、人口も減少しているため、移住者を募集してほしい。その手段として、空き家の活用や交通手段を増やしてほしい。
- ④企業を誘致したり、移住者への助成金交付や新たな住宅制度を考えてほしい。
- ⑤せっかく、浜松いなさICが近くにあるので、新たな産業を構築してほしい。

引佐：小中PTA、NPOひずるしい鎮玉ほか

若年層 8人

2023(令和5)年8月20日(日) 13:30~14:30

【ワークショップ】

場所：田沢多目的集会所

(テーマ) 鎮玉地区をもっと住みやすくしよう

(方法) ①参加者を3グループに分ける。

②鎮玉地区の「住みやすいところ」「住みにくいところ」を付箋に記入する。

③「住みにくいところ」を「住みやすいところ」にするために「どうしたらよいか」を付箋に記入する。

④それを解決するために「自分たちができること」「行政ができること」を付箋に記入する。

⑤各グループで発表する。

●Aグループ（4人）

項目	住みやすい(+）・住みにくい(-)	どうしたらよいか	解決策
生活	<ul style="list-style-type: none"> • 冬季に水道管が凍る (-) • 車がないと地域バスやタクシーでは不便 (-) 	<ul style="list-style-type: none"> • 近くにガソリンスタンドをつくる 	_____
環境	<ul style="list-style-type: none"> • 自然が豊か (+) • 仕事、買物などすべて他地域に行く (-) • 避難地に行くのに川沿いから崩れそうなところを通るため危険 (-) 	<ul style="list-style-type: none"> • 国道沿いを美しく整備 • 空き家の活用 • 買い物など他地域に行かず、地元の店を利用する 	<ul style="list-style-type: none"> • 空き家の調査（行政・民間）
交通	<ul style="list-style-type: none"> • 路線バスの便数が少ないなど交通が課題 (-) • 車がないと生活できない (-) • 学校が半日休になった時は帰りの足がない (-) 	<ul style="list-style-type: none"> • 生活時間に合わせた交通手段が必要 • 地域を回るバスの充実（ドライバーや法律の壁がある） 	<ul style="list-style-type: none"> • 当地区に移住しやすい環境を整える（空き家の調査を含め）（行政・民間） • 天竜や京都で実施している地域交通の仕組みをやったらどうか（民間）
教育	<ul style="list-style-type: none"> • 交通機関の便数が少なく高校に通いにくい(選択肢が限られる) (-) • 学習・進学塾が遠い (-) • 高校への通学は送り迎えが必要 (-) 	_____	<ul style="list-style-type: none"> • 当地区と他地区の違いは各種の機関・施設が遠いことにある • このため、高校生の通学費補助金など金銭的な措置が必要(行政)
雇用	<ul style="list-style-type: none"> • 高速道路の入口が近い 	<ul style="list-style-type: none"> • 若者が働きやすい環境づくり（企業集め） • 農業 ⇒ 生産 ⇒ 加工 ⇒ 販売と地元で賄えるように • 中山間地域で何か商売したい人の誘致などのエリアをつくる 	_____
情報	<ul style="list-style-type: none"> • 地元間の交流がある (+) • 飲食店が少ない (-) 	<ul style="list-style-type: none"> • 地元の行事や人の紹介など情報を集約する 	<ul style="list-style-type: none"> • 小中学校拠点に地元の商品の紹介（継続的に）（行政・民間）
通信	<ul style="list-style-type: none"> • A社の電波がない (-)（引佐小中学校周辺） • 光回線がつながったが速度が遅く感じる (-) 	_____	_____
<p>まとめ</p> <p>①雇用を含めて外に魅力があるため人口が少なくなる。</p> <p>②人を呼ぶためには住むところが必要。</p> <p>③空き家はあるが簡単に引き渡すことができない。</p> <p>④ただ空き家の調査をするだけでなく、人と人をつなげることも含めてほしい。</p> <p>⑤ここに町をつくるような環境整備が必要になる。</p>			

●Bグループ（4人）

項目	住みやすい(+）・住みにくい(-)	どうしたらよいか	解決策
生活	<ul style="list-style-type: none"> • テレワークなら快適 (+) • 地元の食が豊か (+) • 生活音が気にならない (+) • 老後への不安 (-) • デリバリーサービスが使えない (-) • 買い物不便 (-) 	<ul style="list-style-type: none"> • 配送ステーションの整備・雇用（運送会社の協力） • 中山間地限定の住民税の軽減をしたらどうか 	<ul style="list-style-type: none"> • 配送ステーションをつくる（行政） • 住民税を下げてもらう（行政）

●Bグループ（4人）

項目	住みやすい(+）・住みにくい(-)	どうしたらよいか	解決策
環境	<ul style="list-style-type: none"> • 自然が豊かで空気が澄んでいる (+) • 珍しい生物が見られる (+) • 地域が静かで安心して生活 (+) できる • ハザード区域のため新築が (-) 建てにくい地域 • 鳥獣被害が多い (-) • 山林の整備ができてないと (-) ころがある 	<ul style="list-style-type: none"> • ハザード区域内新築リフォームへの助成 • 猟師を増やす • 鳥獣対策の予算を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> • ハザード区域での新築、リフォーム、転入への補填 (行政) • 狩猟に興味を持ってる人向けのイベント等の開催 (行政・民間)
交通	<ul style="list-style-type: none"> • 田舎だが、都市部へ出やすい (+) • 渋滞がない (+) • 道路状況が良くない (-) • 交通基盤が弱い (-) • バスがいない、ガソリンスタンドがない (-) • 通学時の送迎等親の負担が (-) 大きい 	<ul style="list-style-type: none"> • 相乗りなどの共助 • 自動運転のバスの導入 • ガソリンスタンドがほしい • 通学交通費の補助 • ハイヤーの送迎 	<ul style="list-style-type: none"> • 規制の緩和 (ライドシェア) (行政) • いなさみどりバスの利用 (行政) • 電気自動車への切替 (民間) • 通学通院への交通費補助 (行政)
教育	<ul style="list-style-type: none"> • 自然の遊び場が豊富 (+) • こどもが少人数のため細やかな教育を受けられる (+) • 個々を大切に接してくれる (+) • 学校の選択肢が少ない (-) • 児童数が少ない (-) • 保育園がない (-) 	<ul style="list-style-type: none"> • オンライン授業の一般化 • 遠隔地の学校との合同授業 • 幼稚園を認定こども園に変える 	<ul style="list-style-type: none"> • 教職員を増やす (行政) • 0才からこどもを預けられる認定こども園などをつくる (行政)
雇用	<ul style="list-style-type: none"> • 地域に住民同士のつながり (+) がある • 人間関係が濃い (+) • 働く場所が少ない、または (-) 遠い 	<ul style="list-style-type: none"> • 企業誘致 • テレワーク企業の優遇 • 利益率の高い事業を地域でつくる • 新しいアイデアで空いた土地の有効活用 • 新しい産業を生み出す 	<ul style="list-style-type: none"> • 企業進出のハードルを下げる (行政) • 起業を支援する施策を創設 (行政) • 農業資産の活用 (行政・民間)
情報	<ul style="list-style-type: none"> • 情報・サービスの格差 (-) • 情報伝達が煩雑 (回覧・TEL) (-) 	<ul style="list-style-type: none"> • 1家に1台デジタルデバイスを設置 • 回覧等情報伝達ルールの統一 	_____
通信	<ul style="list-style-type: none"> • 不便を感じない (+) • 部分的に携帯電話キャリア (-) の相性がある • 通信速度が安定しない (-) 	<ul style="list-style-type: none"> • インターネットインフラの整備 	_____

まとめ

- ①地域全体が魅力的な地域、外の人にとって住みやすい。
- ②魅力的な事業がある。
- ③何か一つテーマを持った地域にすることが解決策になる。

その他の意見

- 働く世代にはこどもを預ける施設（保育園）がある地域を選んでしまう。預け先でこどものコミュニティができてしまい、小学校が決まってしまう。ここに住みながら地域から出てしまう。この10年間で0～16歳の人口が40%減っている。若年層の人口流出を止めるには、保育園機能を持った施設を設置する必要がある。
- 中山間地に住む人には都市部に比べて目に見えない負担がある。
- 住んでいた地域に戻りたいが、戻るためのメリットがほしい。

〇日々の生活の現状や、今後の生活についての意見

【空き家について】

- ・ 空き家の草が伸びて困っている。以前は地域で草刈りをしてきたが、地域の人が減り、対応ができていない。
- ・ 空き家が多く、所有者もほとんどが地域外に居住しており、状況を確認しに来ない。所有者がしっかり管理してほしい。

【移動販売について】

- ・ 移動販売車が毎週1回指定された時間に来ってくれるが、そうでない地域もある。申し込みが必要と思われる。
- ・ 移動販売が薬も持って来てくれるため助かっている。

【災害について】

- ・ ここ数年災害による道路の迂回が多く、迅速な道路復旧対応をお願いしたい。
- ・ 生活道として使える道路が1、2本しかないため、迂回路や道路の事前対策整備をしてほしい。
- ・ 国道や迂回路となる道の整備をしてほしい。
- ・ 国道152号のトンネルも夜間通行止めとなる、夜間も通してほしい。
- ・ 長期にわたる国道等の通行止め時の対応を考えてほしい。

【医療・福祉について】

- ・ 近所に人がいないことから、一人暮らし高齢者世帯の安否をすぐに確認できるシステムができるといい。
- ・ 就職先や学校がないため、若い世代の人が実家に戻ることや、移住することは厳しい。社会福祉協議会や包括支援センター、民生委員、公共の福祉サービスがあるが、80代の人が増えたりしている。家族の支援があっても、大変だと思う。5年後が心配である。
- ・ 龍山には専門医がない。地域外の医療機関の整形外科を受診しており、息子が送迎してくれているものの、今後継続して受診、リハビリも難しくなってくるため、龍山診療所にてリハビリの対応をしてほしい。
- ・ 一人暮らしの高齢者世帯が増えているが、お互い助け合って生活している。

【交通について】

- ・ 家族の支援を受けられる家庭やそうでない家庭もある。買い物など外出が厳しい世帯もあるため、バスの運行本数を増やすなど対策を検討してほしい。
- ・ 龍山ふれあいバスは事前申し込みが必要。停留所まで歩くのが大変。タクシーならすぐに家まで来てくれて楽だが、お金がかかってしまう。
- ・ 人口減少や高齢化により飲料水供給施設の管理が難しい状況となっている。
- ・ 同報無線が河川の音で聞こえにくい。白倉地区の個別受信機も音がこもって聞き取りにくいので、テストするなど確認してほしい。
- ・ 三遠南信自動車道ができたが、龍山は取り残されてしまった気がする。

【防災について】

- ・ 以前、避難所が5階建ての龍山総合センターという施設で安心できたが、現在は龍山保健センターとなっており、行くまでの道が心配。高さのある避難所があればいい。

【その他生活に関すること】

- ・自治会の役員は行政経験者が適任だと思う。
- ・NPO法人も人手不足で活性化できていない。
- ・浜松山里いきいき応援隊員が地域サロンに来てくれて助かっている。
- ・政令市になり龍山独自の敬老会等他地域と合同開催することにより行事が減らされた。区の再編でこれ以上、龍山の良さを減らされないか心配。
- ・住民の意見が反映された行政サポートと言える事業等あるのか？
- ・静岡文化芸術大学の教授が「人口減少は止めることができないが、祭りを無くさないことが大切」と話があった。祭りの活性化につながる予算をつけてほしい。100人以上の人が集まるなど人口減少対策にも一役担う。継続していくことが地域の活性化へつながる。
- ・以前は、家賃が無料であることが魅力で龍山地域に居住していた人がいた。地域も喜んでいたが、学校がないため子育てが難しく転居してしまった。子育て世代には大変な環境であると思う。
- ・地域にこどもの声がしないことが寂しい。

龍山：瀬尻自治会

【座談会】

自治会 16人
2023(令和5)年12月6日(水) 16:00~17:00
場所：龍山森林文化会館

【防災、道路、水道について】

- ・災害時の迂回路が危険であるため市道・林道等を迂回路として整備してほしい。
- ・道路に枝葉が被り、道路中央を通らなるとすれ違いできない道が多くなった。
- ・国道の落石等の位置も分かっているので自治会や市から山林所有者に周知してほしい。なるべく費用を掛けず整備できるようにしてほしい。
- ・市道、林道等で横断側溝等設置の要望をしても断られている。生活道路なので整備をお願いしたい。
- ・集落の道は、林道等でつながっているが国道も含め修繕に時間を要している。森林環境譲与税が令和4年の1億円から4億円になるのに林道の維持管理費の予算が減っている。
- ・森林環境譲与税が増えた分、一般財源を減らしていないか。イベントに5,000万円使っているが災害対策に重点的に予算を充ててもらわないと林道、水道が困る。
- ・森林環境譲与税は面積割りであるため、森林があるところに予算を使ってほしい。
- ・水道を整備してもらったが住民も少なくなり管理が大変になった。経費の半分負担や水質検査の代行は助かるが、地元負担は倍になった。
- ・大雨など断水すると支援を受けて地元が早朝から深夜までかかって水源等修理する。管理しないとまともな生活ができないので、市直営の上水道にしてほしい。
- ・水道業者が天竜区からいなくなると遠方からの業者しかなく、不便になる。

【農業、森林について】

- ・農地を放置する家が多くなっている。農業委員会が天竜区になく目が行き届かないので鳥獣被害が多くなる。
- ・シカ、サルの鳥獣被害が多いので良い駆除方法などがあればと思う。
- ・高齢者への農業支援制度の条件(期間5年)が厳しすぎるので条件を緩和してほしい。
- ・国は大規模農家を重視しているが、お茶の単価等も低く資材価格が高騰しているので小規模農家を重視してほしい。
- ・磐田市の農協がお茶の農閑期の作物栽培を検討しているとのことなので、磐田市と同様な施策など協議いただき農家を支援してほしい。

- ・ 1,000円徴収する森林環境譲与税の分配方法が変わり、市には全国第2位の金額が入るので使い方の内訳を示してほしい。

【子育てについて】

- ・ 竜川幼稚園がなくなったら龍山で子育てできない。子育て環境の整備をしてほしい。

【その他生活について】

- ・ 地域の年齢構成は70歳代が多く、その下の人口がほとんどいない。10年後は市民協働ができない人口構造になると思うので10年先を見据えた計画を考えてほしい。
- ・ 集中の政策から分散の政策を考えないと龍山は消滅すると思う。
- ・ 1月に区が再編され行政が簡素化されてサービスが減る。5年先は人口が減り市民協働の社会とはならない。1月から副市長が天竜区に常駐するが新しい3区でどのような政策をとるかを聞きたい。
- ・ 天竜区は人口減少するが他の区も同じだと思う。その面で天竜区は先進地域だと思うが、その先進地域に電源立地交付金、森林環境譲与税等がどう使われているかわからない。充当してもらえればすぐ使える。過疎計画、振興計画等の中に入れてもらえたらありがたい。
- ・ 中部電力が共聴のアンテナを整備してくれたがテレビ電波の受信状態が悪い。障害なく受信できるような体制にしてほしい。
- ・ 光回線が家庭に入って来てデジタル化の世界になっている。ネットで発注し、ドローンで配達し動ける人が集配所に取りに行く等方法があると思う。NPO法人もあるので事業化できればと思う。
- ・ 地域づくりに森林環境譲与税を充当して、対応していけば天竜区は先進地事例となるのではないか。

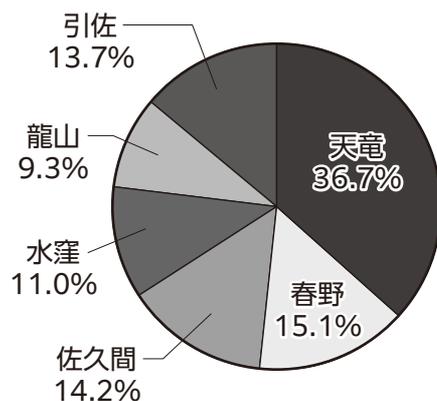
Ⅱ 「中山間地域」にお住まいの方を対象とした 浜松市中山間地域住民アンケート調査結果

- 目的……………中山間地域振興計画の策定にあたり、中山間地域の抱える課題や住民ニーズの把握を目的とする。
- 調査期間……………2024(令和6)年1月31日～2月29日
- 調査対象地域……………中山間地域である天竜区の全域及び浜名区引佐町の北部(旧伊平村及び旧鎮玉村)
- 対象者数……………630人
※調査対象地域内に在住の18歳以上(2024(令和6)年1月24日現在)の男女から無作為抽出
- 回答数……………365人
- 回答率……………57.9%
- 集計上の留意点
 - (1) 比率は全てパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのためパーセントの合計が100.0%にならないことがある。
 - (2) 「全体」を基数とし、回答割合はこれを100.0%として算出した。
 - (3) 複数回答が可能な質問でも、基数となる実数は「全体」であるため、各項目の比率は通常100.0%を超える。

1 回答者について

問1

あなたのお住まいの地域について、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

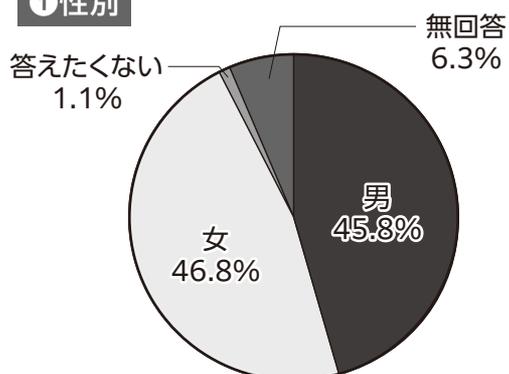


	回答数	割合
天竜地域	134	36.7%
春野地域	55	15.1%
佐久間地域	52	14.2%
水窪地域	40	11.0%
龍山地域	34	9.3%
引佐地域	50	13.7%
無回答	0	0.0%
全体	365	100.0%

問2

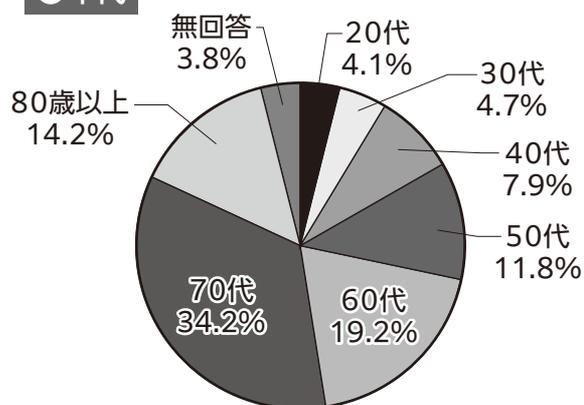
あなたの性別・年代について、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

①性別



	回答数	割合
男	167	45.8%
女	171	46.8%
答えたくない	4	1.1%
その他	0	0.0%
無回答	23	6.3%
全体	365	100.0%

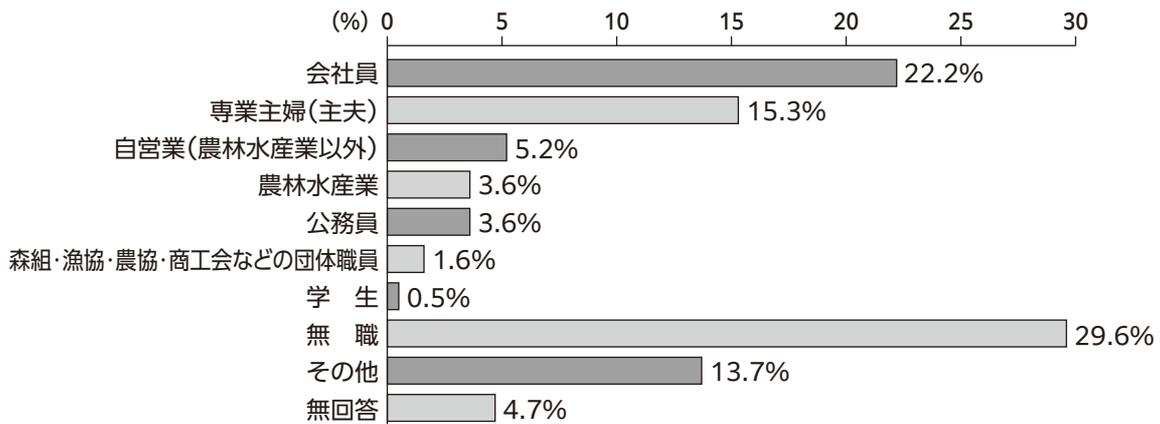
②年代



	回答数	割合
10代	0	0.0%
20代	15	4.1%
30代	17	4.7%
40代	29	7.9%
50代	43	11.8%
60代	70	19.2%
70代	125	34.2%
80歳以上	52	14.2%
無回答	14	3.8%
全体	365	100.0%

問3

あなたの職業について、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

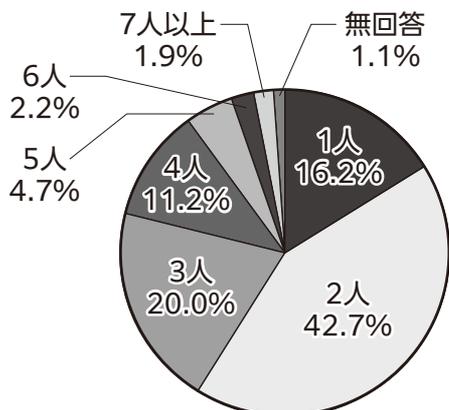


	回答数	割合
会社員	81	22.2%
専業主婦(主夫)	56	15.3%
自営業(農林水産業以外)	19	5.2%
農林水産業	13	3.6%
公務員	13	3.6%
森組・漁協・農協・商工会などの団体職員	6	1.6%
学生	2	0.5%
NPO法人職員	0	0.0%
無職	108	29.6%
その他	50	13.7%
無回答	17	4.7%
全体	365	100.0%

2 世帯の状況について

問4

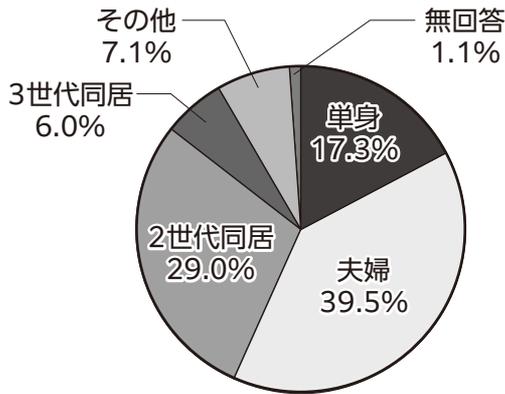
あなたの世帯の人数について、お答えください。
(あなたを含めた人数を記入してください)



	回答数	割合
1人	59	16.2%
2人	156	42.7%
3人	73	20.0%
4人	41	11.2%
5人	17	4.7%
6人	8	2.2%
7人以上	7	1.9%
無回答	4	1.1%
全体	365	100.0%

問5

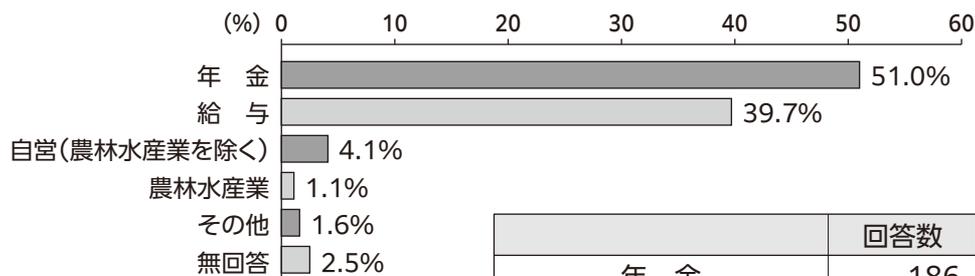
あなたの世帯の構成について、お答えください。
(1つ選んで○をつけてください)



	回答数	割合
単身	63	17.3%
夫婦	144	39.5%
2世代同居	106	29.0%
3世代同居	22	6.0%
その他	26	7.1%
無回答	4	1.1%
全体	365	100.0%

問6

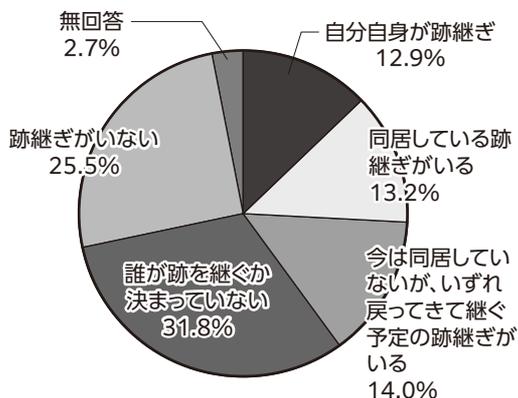
あなたの世帯における収入について、お答えください。
(最も多く収入を得ているもの1つ選んで○をつけてください)



	回答数	割合
年金	186	51.0%
給与	145	39.7%
自営(農林水産業を除く)	15	4.1%
農林水産業	4	1.1%
その他	6	1.6%
無回答	9	2.5%
全体	365	100.0%

問7

あなたの家の跡継ぎについて、お答えください。
(1つ選んで○をつけてください)

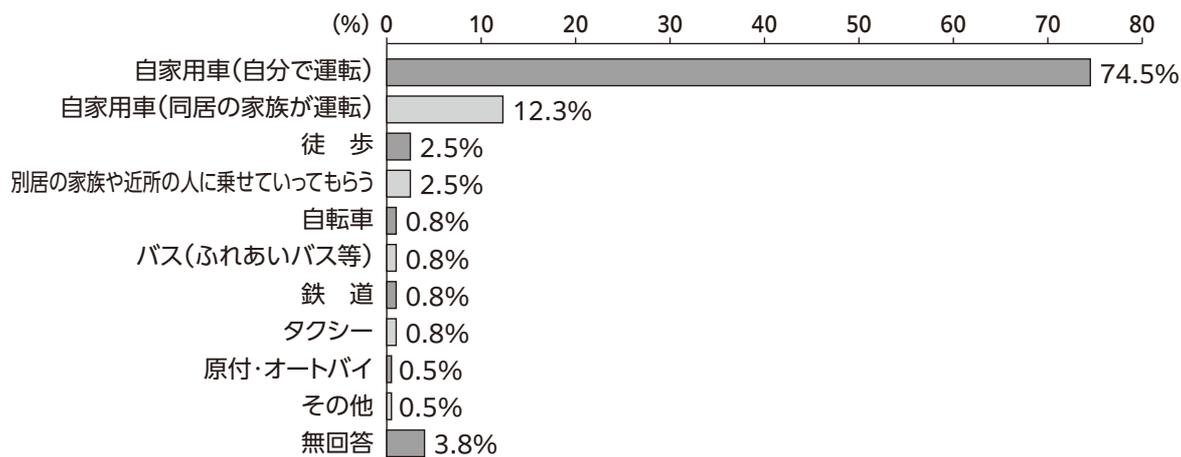


	回答数	割合
自分自身が跡継ぎ	47	12.9%
同居している跡継ぎがいる	48	13.2%
今は同居していないが、いずれ戻ってきて継ぐ予定の跡継ぎがいる	51	14.0%
誰が跡を継ぐか決まっていない	116	31.8%
跡継ぎがない	93	25.5%
無回答	10	2.7%
全体	365	100.0%

3 日常生活の状況について

問8

買い物や通院の際に最も利用する交通手段について、お答えください。
(1つ選んで○をつけてください)

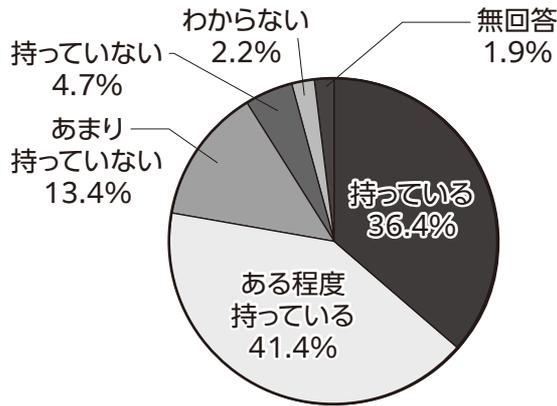


	回答数	割合
自家用車(自分で運転)	272	74.5%
自家用車(同居の家族が運転)	45	12.3%
徒歩	9	2.5%
別居の家族や近所の人に乘せていってもらう	9	2.5%
自転車	3	0.8%
バス(ふれあいバス等)	3	0.8%
鉄道	3	0.8%
タクシー	3	0.8%
原付・オートバイ	2	0.5%
その他	2	0.5%
無回答	14	3.8%
全体	365	100.0%

4 お住まいの地域・生活について

問9

あなたは、暮らしている地域に対する「愛着」や「誇り」をお持ちですか。
(1つ選んで○をつけてください)

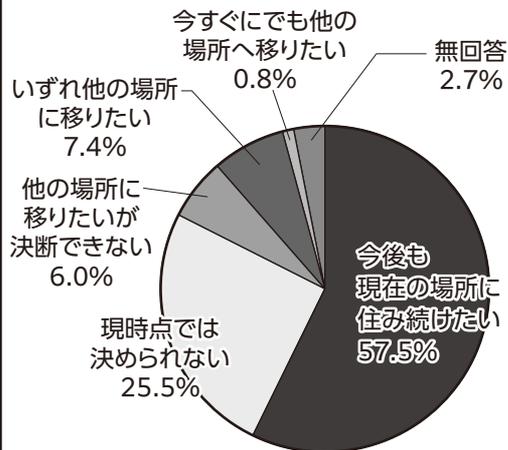


	回答数	割合
持っている	133	36.4%
ある程度持っている	151	41.4%
あまり持っていない	49	13.4%
持っていない	17	4.7%
わからない	8	2.2%
無回答	7	1.9%
全体	365	100.0%

※問10は、69ページ以降に自由記述の設問としてまとめて記載

問11

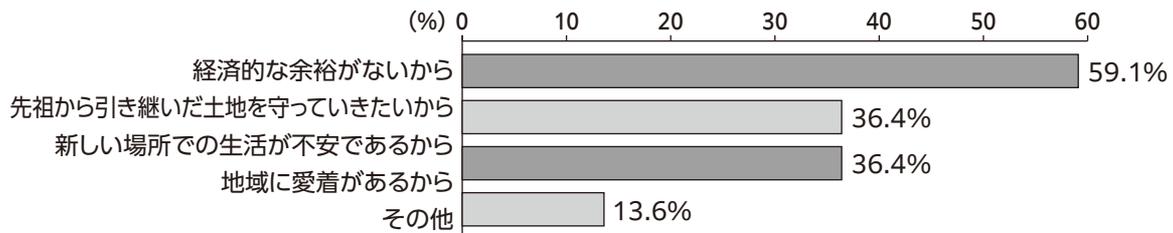
これからの生活について、お答えください。
(1つ選んで○をつけてください)



	回答数	割合
今後も現在の場所に住みたい	210	57.5%
現時点では決められない	93	25.5%
他の場所に移りたいが決断できない	22	6.0%
いずれ他の場所に移りたい	27	7.4%
今すぐにでも他の場所へ移りたい	3	0.8%
無回答	10	2.7%
全体	365	100.0%

問12

問11で「他の場所に移りたいが決断できない」とお答えの方にお聞きします。その理由は何ですか。（2つまで選んで○をつけてください）



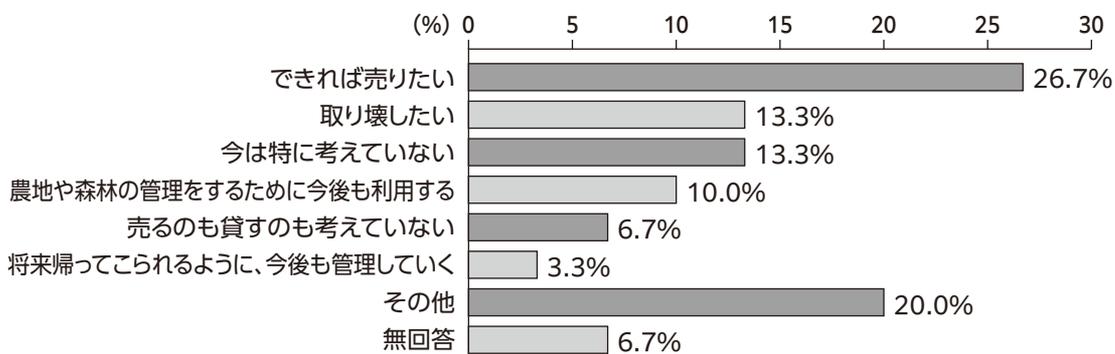
【全回答人数 22人】

	回答数	割合
経済的な余裕がないから	13	59.1%
先祖から引き継いだ土地を守っていきたいから	8	36.4%
新しい場所での生活が不安であるから	8	36.4%
地域に愛着があるから	3	13.6%
その他	3	13.6%
無回答	0	0.0%

※問13は、72ページ以降に自由記述の設問としてまとめて記載

問14

問11で「いずれ他の場所に移りたい」「今すぐにでも他の場所へ移りたい」とお答えの方にお聞きします。移転する場合、現在の家屋や土地の扱いはどのように考えていますか。（1つ選んで○をつけてください）

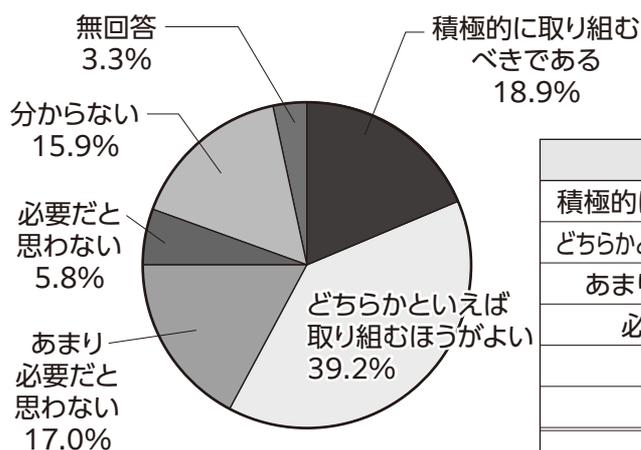


	回答数	割合
できれば売りたい	8	26.7%
取り壊したい	4	13.3%
今は特に考えていない	4	13.3%
農地や森林の管理をするために今後も利用する	3	10.0%
売るのも貸すのも考えていない	2	6.7%
将来帰ってこられるように、今後も管理していく	1	3.3%
売る気はないが、借りたい人がいれば貸しても良い	0	0.0%
その他	6	20.0%
無回答	2	6.7%
全体	30	100.0%

5 都市との交流について

問15

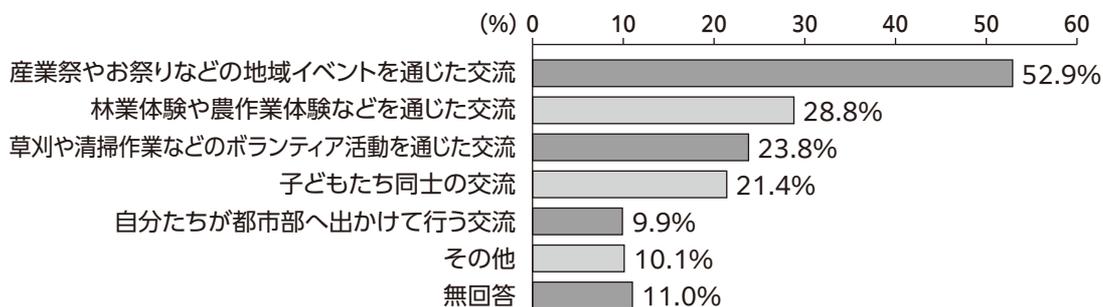
あなたは都市部の人たちとの交流についてどのようにお考えですか。
(1つ選んで○をつけてください)



	回答数	割合
積極的に取り組むべきである	69	18.9%
どちらかといえば取り組むほうがよい	143	39.2%
あまり必要だと思わない	62	17.0%
必要だと思わない	21	5.8%
分からない	58	15.9%
無回答	12	3.3%
全体	365	100.0%

問16

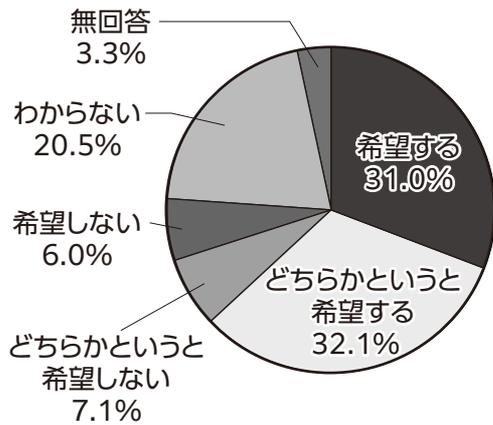
都市部の人たちと交流するとしたら、どのような方法が好ましいと思いますか。
(最も好ましいと思う方法を2つ選んで○をつけてください)



【全回答人数 365人】

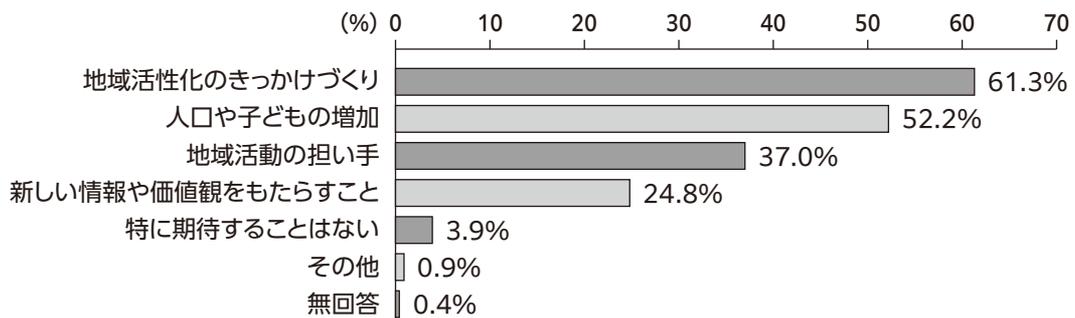
	回答数	割合
産業祭やお祭りなどの地域イベントを通じた交流	193	52.9%
林業体験や農作業体験などを通じた交流	105	28.8%
草刈や清掃作業などのボランティア活動を通じた交流	87	23.8%
子どもたち同士の交流	78	21.4%
自分たちが都市部へ出かけて行う交流	36	9.9%
その他	37	10.1%
無回答	40	11.0%

問17 あなたの住んでいる地域や周辺に移住者が来ることを希望しますか？
（1つ選んで○をつけてください）



	回答数	割合
希望する	113	31.0%
どちらかという希望する	117	32.1%
どちらかという希望しない	26	7.1%
希望しない	22	6.0%
わからない	75	20.5%
無回答	12	3.3%
全体	365	100.0%

問18 問17で「希望する」「どちらかという希望する」とお答えの方にお聞きします。移住者にどのようなことを期待しますか。
（最も期待する項目を2つ選んで○をつけてください）

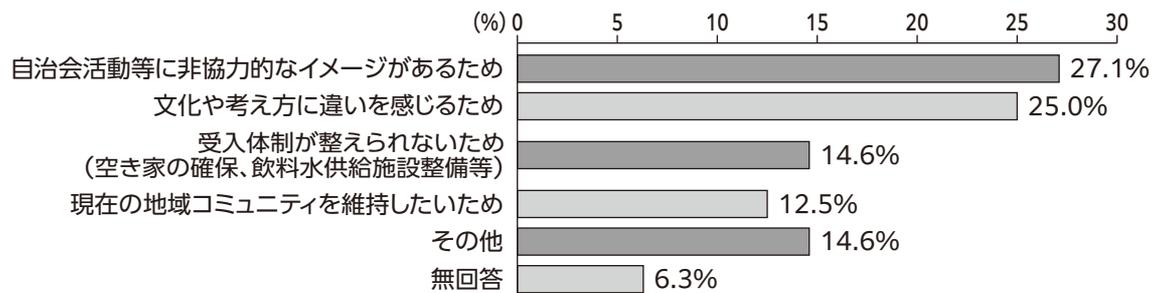


【全回答人数 230人】

	回答数	割合
地域活性化のきっかけづくり	141	61.3%
人口や子どもの増加	120	52.2%
地域活動の担い手	85	37.0%
新しい情報や価値観をもたらすこと	57	24.8%
特に期待することはない	9	3.9%
その他	2	0.9%
無回答	1	0.4%

問19

問17で「どちらかという并希望しない」「希望しない」とお答えの方にお聞きします。その理由は何ですか。（1つ選んで○をつけてください）

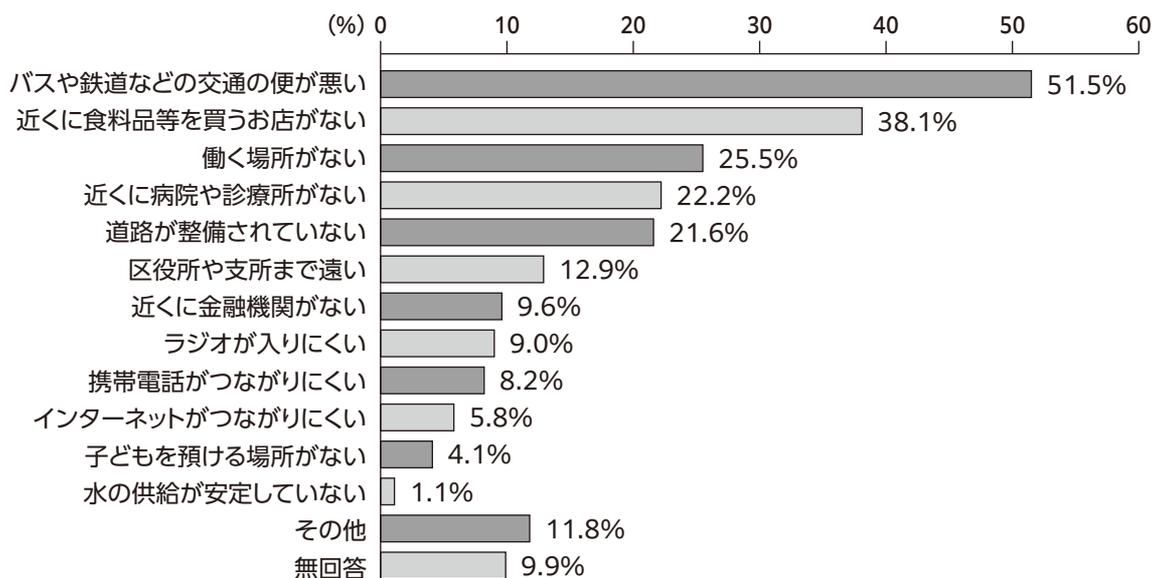


	回答数	割合
自治会活動等に非協力的なイメージがあるため	13	27.1%
文化や考え方に違いを感じるため	12	25.0%
受入体制が整えられないため(空き家の確保、飲料水供給施設整備等)	7	14.6%
現在の地域コミュニティを維持したいため	6	12.5%
その他	7	14.6%
無回答	3	6.3%
全 体	48	100.0%

6 生活上の課題や対策について

問20

現在の日常生活において不便に思うことは何ですか？
(3つまで選んで○をつけてください)

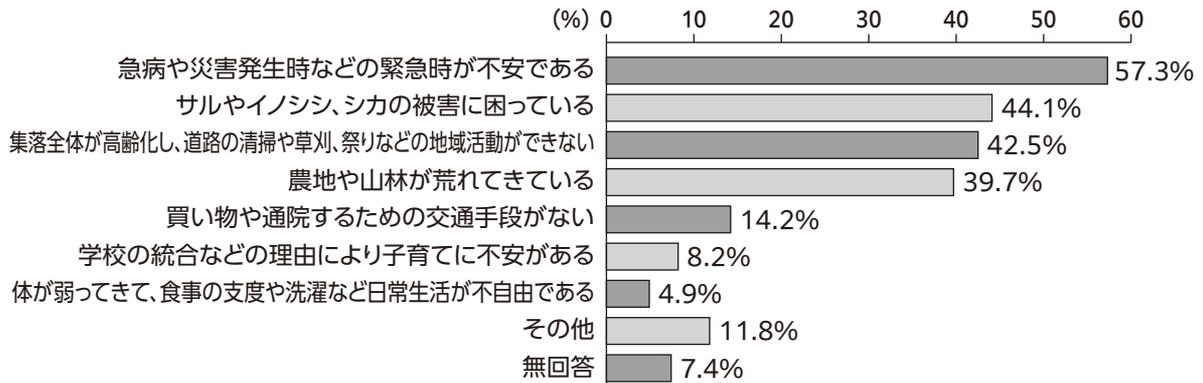


【全回答人数 365人】

	回答数	割合
バスや鉄道などの交通の便が悪い	188	51.5%
近くに食料品等を買うお店がない	139	38.1%
働く場所がない	93	25.5%
近くに病院や診療所がない	81	22.2%
道路が整備されていない	79	21.6%
区役所や支所まで遠い	47	12.9%
近くに金融機関がない	35	9.6%
ラジオが入りにくい	33	9.0%
携帯電話がつながりにくい	30	8.2%
インターネットがつながりにくい	21	5.8%
子どもを預ける場所がない	15	4.1%
水の供給が安定していない	4	1.1%
その他	43	11.8%
無回答	36	9.9%

問21

現在の生活で心配なことや困っていることは何ですか。
(3つまで選んで○をつけてください)

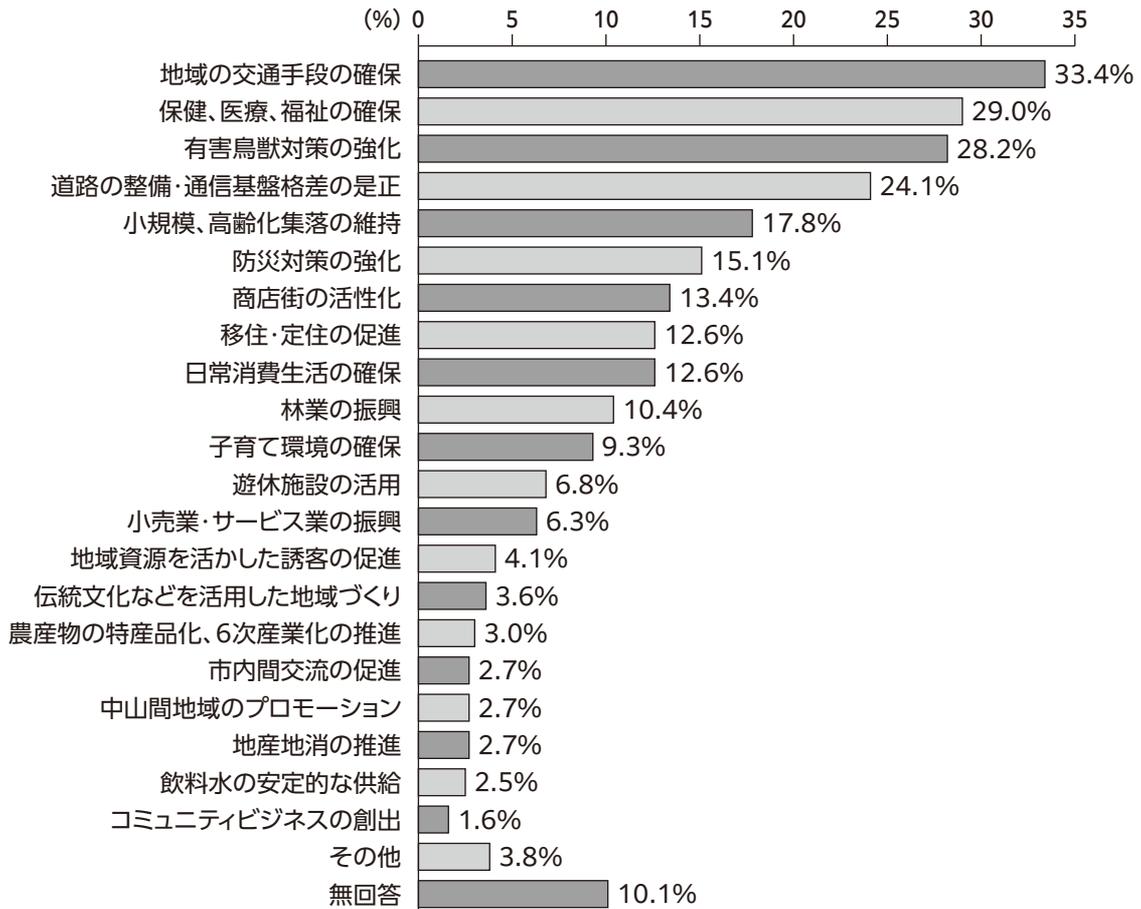


【全回答人数 365人】

	回答数	割合
急病や災害発生時などの緊急時が不安である	209	57.3%
サルやイノシシ、シカの被害に困っている	161	44.1%
集落全体が高齢化し、道路の清掃や草刈、祭りなどの地域活動ができない	155	42.5%
農地や山林が荒れてきている	145	39.7%
買い物や通院するための交通手段がない	52	14.2%
学校の統合などの理由により子育てに不安がある	30	8.2%
体が弱ってきて、食事の支度や洗濯など日常生活が不自由である	18	4.9%
その他	43	11.8%
無回答	27	7.4%

問22

今後の中山間地域への施策として、最も望むことは何ですか。
(3つまで選んで○をつけてください)



【全回答人数 365人】

	回答数	割合
地域の交通手段の確保	122	33.4%
保健、医療、福祉の確保	106	29.0%
有害鳥獣対策の強化	103	28.2%
道路の整備・通信基盤格差の是正	88	24.1%
小規模、高齢化集落の維持	65	17.8%
防災対策の強化	55	15.1%
商店街の活性化	49	13.4%
移住・定住の促進	46	12.6%
日常消費生活の確保	46	12.6%
林業の振興	38	10.4%
子育て環境の確保	34	9.3%
遊休施設の活用	25	6.8%

	回答数	割合
小売業・サービス業の振興	23	6.3%
地域資源を活かした誘客の促進	15	4.1%
伝統文化などを活用した地域づくり	13	3.6%
農産物の特産品化、6次産業化の推進	11	3.0%
市内間交流の促進	10	2.7%
中山間地域のプロモーション	10	2.7%
地産地消の推進	10	2.7%
飲料水の安定的な供給	9	2.5%
コミュニティビジネスの創出	6	1.6%
その他	14	3.8%
無回答	37	10.1%

問10 あなたが望む中山間地域の将来像はどのようなイメージですか。（自由記述）

【天竜地区】

- ・トンネルをつくって中心地に簡単に行けるようにしたい。
- ・自転車ですぐに走行できる広域道路網。
- ・天竜川と天竜美林、春夏秋冬楽しめる町。年齢を重ねるとまずは交通面、どこにも行けなくなるかな。
- ・年をとって車の運転が出来なくなっても生活に困らないような地域。
- ・車がなくても暮らせるまち。
- ・自然豊かで快適であるが、自家用車（軽自動車）頼みである。
- ・生活、交通、買い物等心配なく安心して暮らせるよう、若者が住み続けられること。
- ・生活に必要なものが近くで手に入る地域。
- ・地域の特性をいかしたまちづくり。自然と調和したアトラクション？サウナ村とかどうでしょうか。
- ・人と人のつながりを大切に、お互い助け合いながら地域に暮らしていくことです。
- ・住民同士が協力し、助け合いながら暮らせるまち。
- ・協力し合って、地域で安心して暮らしていける。
- ・魅力あふれる地域、生活の安全・安心を確保した地域。
- ・四季折々の自然に囲まれ、必要な農作物が収穫できる。
- ・自家用の農地を保ち、野菜くらいは自家生産としたい。
- ・安全安心なまち。
- ・子ども・老人にやさしく安全安心に暮らせるまち。
- ・子育てしやすいまち、子育て支援があるまち、危険だと指摘された場所などがすぐに改善されるまち。
- ・高齢者が安心して暮らせる環境づくり、通院や買い物の交通手段が充実している。
- ・年を取っても、いきいきと暮らせる町。
- ・老年になっても、生きがいを持って、地域に居場所があるといいと思う。
- ・一人暮らしの高齢者でも困ることなく、安心して暮らせる町。
- ・人口は少なくとも公共交通機関や身近な医療が確保され、安心して住める田舎地域。
- ・安心安全はもちろんですが交通手段も心配のない地域でいられるようになると良いです。
- ・自然の中で最低限の公共交通機関を残しつつ住み続けられるまち。
- ・交通の便が確保されているまち。
- ・バスの便がないと困る時がある。
- ・高齢者が多くなりますのでお医者さんやお買物ができるお店が近くにあり安心して過ごせる場所となることです。
- ・子どもたちが生活しやすいまち（学校などが近くにある）。
- ・自然災害が発生した場合、ライフラインの復旧や各所からの支援に時間がかかる。
- ・災害が起きた時、孤立しない安全で快適に暮らしていきたい。
- ・災害時安心して暮らせる地域。
- ・公共交通機関に隣接した商業施設の新設。
- ・都市へのアクセスも比較的良く、自然に囲まれて広々とゆったり暮らせる素晴らしい場所。
- ・子どもから老人まで健康で、安全な地域。
- ・豊かな自然に心を癒される場所になってほしいが、多分農地に植林して集落は消滅。山林になり遠い先祖が山林を切り開く前の状態に戻るイメージ。
- ・小さい子どもが減る（みんな他の地域に出ていく）というイメージが強い。
- ・自分で車の運転が出来ないと住みづらいまち。
- ・川の増水等は考えられないが山崩れ等、心配がある。
- ・自営業をしている人の高齢化などでお店が減っていく。

【春野地区】

- ・住民による支え合い、助け合いと公的支援のシステムが整っているまち。
- ・市内間交流が盛んでグローバルで多様性のある人々がいきいきと暮らせる町。
- ・助け合い安心して暮らせる町。
- ・山林が整備されていて、害獣被害が少ないまち。
- ・荒廃しすぎた山林、その中でも自然を愛して生活する人々。人間らしい生活ができるまち。
- ・山里暮らしが好きです。ここ10年で猪が出て3年前からシカも出て、野菜も花木も荒されて楽しかった山里暮らしが奪われました。以前のような山里に生きていきたい。
- ・安全安心に暮らせるまち。
- ・安心、安全に子育てができるまち。
- ・仕事を続けながら、安心して暮らせるまち。
- ・高齢化は進み、人口は減少していくが、住民が助け合い、自分達でできることはしていく。
- ・病気をした時、病院が遠いので不安。
- ・山間地なのでこの先が不安。特に医者がいなくなるのでは…。
- ・医療や生活に安心できるまち。
- ・集落の高齢化が進んでいて、今後不安が大きい。安心して生活できるようにしてほしい。
- ・車を運転できなくなっからの病院などの交通手段。
- ・働ける場所がある、若者が多くいるまち。
- ・ずっと住み続けられるまち 交通手段が良くて商店や医療機関が充実しているまち。
- ・老人には医療、買物の不安がなく（交通の足、医師）若い世代には仕事がある。
- ・若者たちが増えて、みんなが助け合って暮らせるまち。
- ・過疎化が進み全てにおいて不便となり住みづらいまち。
- ・日常生活に困る（買物・通院）。御近所付き合いが大変。災害時の対応が後回しになる。
- ・過疎化がますます進む。
- ・自治会が少なくなっていく。
- ・高齢者が多く企業は少なく店も近くにないし不便な町。病院も近くにないし地震がきたら崩れそうで安全安心とも言えない。

【佐久間地区】

- ・電車もバスも使え、どの年齢の人でも不自由なく暮らせる町。
- ・佐久間地区が合併前は浦川町ですこぶる元気があったが、現在は店もみんな無くなりさみしい。何とか若者の手で元気をとり戻してほしい。
- ・高齢者が多く、空き家が多い。商店街もなくなり生活、買い物がしづらくなりました。週3回移動販売車が来てくれ有り難く思っています。
- ・食品が手軽に手に入る等。
- ・買い物が出来ない。
- ・病院があり、食品を買い物できる店があり、道路が安全・便利に整備されていることで自立して生活できるので、それを実行してくれる市政が機能し続けること。
- ・若い方たちが減少し、自分たちも高齢化してきているので、地域への参加も難しくなると不安が大きくなると思う。
- ・安全・安心が守られるまち。より不便にならないまち。
- ・子育てをする若者たちが安心して暮らせるまち。
- ・高齢者が住み慣れたこの土地で隣近所の助け合い精神で高齢者を支えて、行政などとの（ふれあいセンター）つながりのあるまち。
- ・鉄道が現状を維持運行し、何か地場産業があるむら。

- ・災害のない町。
- ・こどもの声が聞こえるまち。
- ・ずっと住み続けたいけど、年を取った時、跡継ぎが働く場所がないので、いずれはこの村を出て行くか、あるいは死ぬまで住んでいくかの2つに1つの選択しかない。
- ・人口・世帯減少により地域として成り立っていけるのか不安。耕作放棄地が増加する一方、生活するのに必要な商店、施設、事業所が身近になくなり暮らしが不安になってくる。
- ・過疎化が進み人口減少が続く中、将来自分たちも運転出来なくなる日も遠くなく不安があります。
- ・すでに限界集落の状況にあり、コミュニティが成立しなくなる。

【水窪地区】

- ・助け合って安心して暮らせる町。
- ・人の交流が盛んになって山間地の良さが共有できるようになってくる町。
- ・自治会の合併。
- ・安全安心に暮らせるまち。
- ・心穏やかに住み続けるまち。在宅介護、医療の支援が充実したまちづくりの推進をお願いしたい。
- ・働く場所があって若者がいて都市へ出るのに都合がよくて活気のあるまち。
- ・限界集落のため希望を持ってない。
- ・過疎化していて希望が持てず不安。
- ・高齢者ばかりで空き家が増える。

【龍山地区】

- ・地域住民と仲良く、協力して町を守っていくこと。
- ・現在は、手入れのされない山の急斜面の土地に暮らしているが、こどもの頃のように雑木林も多く、手入れがされた明るい森林なら、私自身は山の生活は好きです。それと、年をとっても交通の便に困らない生活ならここで暮らしたい。
- ・住み続けたいが台風などで道路が通れなくなるのでこれからは心配です（車道）。
- ・安全安心に暮らせるまち。
- ・高齢者が買物、病院等に困らない町。
- ・医療、福祉の充実した安心して暮らせる町。
- ・こどもの声が聞ける町。
- ・中高年齢の方が会社勤め等退職した受け皿を考えてほしい。高齢者は田舎暮らしがよくなり、一度は古里を離れてもまた戻って、古里の生活に戻りたい人もおり、早く退職してからも古里でできる仕事（事業所、農業）を準備してあげるなど。人口が増える町になってほしい。
- ・子育てしやすい、若者たちが住み続けられる。

【引佐地区】

- ・他方から山地域の良さを知ってもらい移り住むようになること。
- ・住民とのつながりが強いまち。
- ・現在よりの人々の交流が盛んな町。
- ・野生動物が暮らせる所。
- ・サル・シカ・イノシシの鳥獣被害が無く野菜・果物が安心してできるまち。
- ・遠鉄バスもなくなり、自家用車がないと何も出来ない、ということになってしまったので、公的交通手段も買物も何の不自由もなく生活できるような便利で、なおかつ、自然もそれなりにあるまち。
- ・公共交通手段が有り市街と移動できる地域である。

- ・近くに病院（診療所等）、食品店があること。若者は町へ移り、高齢者が多い。
- ・子ども達がたくさんいる町が一番だと思う。
- ・子どもがのびのびすごせる。
- ・自治会の役は約50年前と同じ。
- ・今、60~70代が主流で、自治会長、区長、副区長、体育部長、環境美化部長、祭り総代、寺世話人などと多過ぎます。自治会再編も必要です。役決めの時は、言い合いになる。

問13

問11で「いずれ他の場所に移りたい」「今すぐにでも他の場所へ移りたい」とお答えの方にお聞きします。移転を希望する理由を教えてください。

【天竜地区】

- ・運転できなくなったら生活できない。
- ・車の運転ができなくなったり、歩行困難になったら、自力で生活ができなくなるから。
- ・車を運転しなくなると不便だから。
- ・街へのアクセスが良くない。公共交通機関が少ないので、いずれ高齢者になったとき、自分で外出しづらくなるのが少し不安。夜、街灯が少ない。今の場所に居住するメリットがあまり見つけられない。

【春野地区】

- ・高齢になった時、医療が不安。
- ・車がいつまでも運転できないので不便。
- ・今は車の運転ができるので不便ではないですが、この先返納する時が来ると思うので交通の便の良い場所に移る方が安心かと思う。

【佐久間地区】

- ・店、金融機関が近しくなく現在は自分や夫の運転で出掛けることができますが、運転ができなくなった時のことを考えます。いずれ子どもたちの近くにいた方が都合が良くなると思っています。
- ・人が減っている。隣近所の家は取り壊しをした家が増えてきている。空き家も多い。
- ・老後の生活が成り立たないと感じている。（交通の問題）

【水窪地区】

- ・移りたいと言うより、移らざるをえない。自分で運転できなければ生活の手段がないから。

【龍山地区】

- ・水道水が届かなくなった時一番困るから今、自分たちで管理していますが、管理できなくなった時に困るのでその時は他の場所に移ります。

【引佐地区】

- ・子どもの進学を考えると、今、移動に労力がかかっている。

7 その他、中山間地域振興に対するご意見

その他、中山間地域振興に対するご意見があれば、教えてください。（自由記述）

【天竜地区】

- ・飛龍大橋から奥につながる道を早く通れるようにしてほしいです。
- ・障害のある人にも住みやすくしてほしいです。
- ・中山間地域を切り捨ててはいけません。都市部の生活環境とまではいかななくても山、川、森の魅力をいかした生活体験を都市部のみなさんに、と願う。
- ・空き家を活用した移住促進。
- ・①移住を希望する人に、空き家を紹介するのが良いと思う。②夏、川に遊びに来るのは、やめてほしい。都会人の遊び場ではない。③火事、救急を連絡する時、スマートフォンで情報が伝達できると良いと思う。
- ・現実には、奥に住んでいる人の若者たちは南に出て、家を建てたりしています。それは仕方がないことと思います。二俣に住む私としては、二俣の空き家や、空き地に奥から出てきた人に住んで（購入して）いただけたらいいと思います。ただ、ほとんどの人達が浜北くらいまで出て行ってしまい、二俣もさみしくなっています。人口が増えないと、学校も合併で少なくなってしまう。
- ・中山間地域にある空き家を探しているが、空き家はたくさんあるが貸してくれる人、また手放してくれる人がとても少ない。
- ・統合後の地域の声として（学校に勤務する関係で、佐久間、水窪地区にも通勤したので）協働センターの職員が、大幅に入れ替ったりして、そのことをきっかけにして地元に住んでいた職員が転勤を機に転居してしまい、それをきっかけに人口減少が急激に起きている。天竜区内の道路が、損壊してもなかなか補修されない。統合前に比べても大幅に遅れることが多い。正直、統合しなければよかったという声が多い。今回の区の再編でも天竜区は特別区としているが、「じゃま者扱い」という見方が多いです。このアンケートも大切だとは思いますが、これによって何が変わるかと考えると殆んど期待できないと感じてしまう。
- ・中山間地域の定義がよく分かりません。
- ・浜松の半分の面積は天竜区です。対処療法的なバラまき施策ではなく、中山間地域の魅力を発信していければと思います。または、そういった民間団体へ予算を出してやってもらうなどが良いかなと思います。
- ・環境問題を考えるならもっと林業を大事にした方がよい。水が大切です。きれいな水は、しっかり手がいって山です。
- ・ゴールドンウィーク、夏休みなど川遊びや自然を求めて他地区から多くの車が入ってきますが、地元生活者は不便が生ずるのみであり、お互いにウィンウィンになるような方法であればいつも考えてしまいます。
- ・台風などによる国道152号の通行止め。国道152号、水窪方面、佐久間方面、道が狭いため危険。
- ・近年の災害等により住み続けるのに不安（土砂くずれ等）。
- ・市所有の遊休施設が多く感じる。地域での利活用にまとまった出物をつくってほしい。産業や定住人口を根付かせる最後のチャンス。市所有施設は無駄にせず早急に解放してほしい。また、旅館や空き家などの利活用も、ある程度強権的に進めてもよいのではないかと。介入・あっせんなど、都市部から産業を誘致し、商店街の活性化を行ってほしい。
- ・私は現在光明ふれあいセンターにて多くのサークル活動に参加しておりますが、当センターが令和6年度1年かけて改装工事を行うので使用できなくなります。会議室・和室等でできる活動は二俣ふれあいセンターを利用させていただけるかと思うのですが卓球が困っております。天竜体育館の完成はいつ頃になるのでしょうか。

- ・こどもを育てやすい環境と支援。
- ・クローバー通りの商店街は祭りの時などはとてもにぎやかですが、普段の姿はとても閑散としている印象を受けます。若者のお店（カフェなど）が出来ている一方、やっているのか分からないようなお店も見かけます。静岡市から移住してきた身としては、もっと商店街に利用しやすいお店が増えたらいいのになあと思います。こどもを育てるようになって思ったこと。自分が住んでいる二俣には少ないかもしれませんが、交通量が多いわりに歩道が狭く、ベビーカーでは通りにくい場所がありました。妊娠中やベビーカーでの散歩で少し不便に感じたので、そういった道が少しずつでも減っていくと良いなあと思います。
- ・人生100年時代。高齢化していく中、元気に日々過ごしていけるような地域であれば、積極的にいろいろな催しにも参加したり、交流したりしたいと思います。健康不安・孤独不安・経済不安がなく安心して住める地域がよいですね。高齢者ひとり一人が元気で過ごせることが大切だと思います。
- ・地域性（自然）をいかした遊休施設をつくり、魅力をアピールし集客をしてほしい。それには交通手段が確保されていないといけない。遠州鉄道が最低でも二俣までつながっているとありがたい。また、天浜線の乗り継ぎがスムーズでなかったりするので天浜線の時刻表の改善や本数を増やすなどしてほしい。
- ・バスを増やし、高齢者にタクシー券を配布してほしい。とにかく、交通手段の確保をすること。これでもかなり時間、お金を消費させられている。高齢者が免許返納したくてもできない。免許を返納しないと、事故を起こす可能性が高まり、返納すると、活動範囲が狭まり、結果、物忘れが急速に始まる。なんとかしてほしい。
- ・都市部に比べて人口減少や高齢化が進んでいるので生活サービス、交通手段の確保、デジタル化が充実してほしいです。
- ・今後起こるだろうと言われている天変地異に備えて、防災の意識を高めるよう啓発することや行政においても陸の孤島とならないように準備をお願いしたいです。
- ・安全な避難所の設置をお願いします。現在の避難所の欠点①川の増水で水につかりやすい所にある。②増水の場合、家からそこまで行くのに危険。希望として避難所がなるべく高所にあつて、避難路が各家から、すぐ高い位置に向う道があり、その高さで避難に向う方向があるとよいと思う。
- ・自然の中で子育てをしたいと思っても、こどもの少なさが気になる。自然の中でこどもを遊ばせる良さを発信してほしい。
- ・有害鳥獣対策に本腰を入れてほしい。このままでは、集落の人口よりシカ・イノシシの数が多くなり生活ができなくなります。
- ・熊等野生動物が民家周辺に出没し始めていて不安を感じています。
- ・中山間地域は、道路の整備や水道などの保守整備に多くの金がかかるので、都市部や外国人旅行者が訪れる魅力ある地域づくりを行い、活性化を図ると良いと思う。
- ・今後、保育園が統合されて1つになってしまうため、こどもの預け先に苦勞する親が増えるのではないかと心配しています。少子化も進んでいる今、子育てしながら働きやすい環境をぜひつくっていただき、こどもたちの数が増え、いきいきとしたまちづくりにつなげていただければ嬉しいです。
- ・高齢者でも働ける場所をつくってほしい。
- ・静岡市など他の市に比べてバスの便が少ない。非常に悪い。静岡鉄道にできていることがなぜ遠州鉄道にできないのか？
- ・遠州鉄道の西鹿島駅から二俣へ行くバスの本数が減った。
- ・若者が定住できるように鉄道等の整備。森林資源の有効活用のための維持管理機能の充実（山間地域のデメリットをメリットに変える努力）。
- ・私が住んでいる地区は交通の便も悪くないし都市部に出て行くのもそんなに時間がかからないので普段は住みやすい。ただ心配なのは、大災害が発生して橋の崩落による地区の孤立である。飛龍大橋から先のバイパスを早く完成させてほしいと願うばかりだ。

【春野地区】

- ・遊休農地を活用した市民農園（滞在型）の開設。
- ・これから益々高齢化が進んでいくと、空き家・耕作放棄地が増えて来ますよね。最近は日常に暇も出来、車で町内を巡ることがあります。そんな時、ずいぶん空き家が目立ち、周りも草まみれな場所があります。あまり、見た目もよくないですし、何か寂しさ虚しさを感じてしまいます。ぜひ、このような箇所が増えないように空き家、土地の有効利用を考えてほしい。
- ・都会へと結ぶ交通道路網の拡充（二俣、阿蔵山地区のバイパスの推進）。
- ・中山間地域の自然を維持しながら、自然をいかした企業の誘致など人口が少しでも増える活動を官民で考える環境が必要ではないかと思う。
- ・縦割り行政ではなく組織の横つながりをもって前例に固執せず、柔軟な対応がほしい。例えば、地域バスに関しては病院に行き来するだけでなく、こどもが友達と遊ぶために乗ることや、観光やウォーキングに疲れたら、気軽に手を上げて、どこでも乗れるという運用に変えとか。その他にも法や規則にしばられてできないことがあります。色々な方面から考えてほしいと思います（使用していない公共の建物の保存と活用など）。
- ・中山間地域の活性化のために関係人口を増やすような取り組みをしてほしい。今の浜松市の地域振興はNPOや民間の人々に任せすぎだと思うので、積極的に何か行ってほしい。正直、地域振興を浜松市が行ってくれたと思ったことは一度もない。地域の人を中心にいつも地域振興を行っている。選挙の時だけ山間地域のために動くといっていて一度も春野に来ないのはどうかと思う。アンケートを取るだけでなく住民が参加できるまちづくりのワークショップを行ってほしい。行政と住民の間に地域振興に対する温度差があることを知ってほしい。春野町で町おこしをしている人はもっとがんばっています！
- ・山のスギ・ヒノキ等を切り広葉樹への植替。
- ・山の木が切れて隣の集落の家が見えるようになれば明るくなって嬉しいです。
- ・ドローンの講習会を利用していない学校のグラウンド、校舎を使うのは良いと思うのですが、検討してほしい。ドローン学校があっても良いと思います。
- ・春野で住みたいと思える若者が増えるような、対応が必要だと思います。個人としては大きなことはできません。このままでは、限界集落が増えてしまいます。行政としての対応が必要ではないでしょうか。
- ・5年後10年後と悪くばかり考えないで、春野町は、今は仕事の関係等で生活も変わってきています。この先、やっぱり春野町、この町が良かった。また、こども達の帰ってきてくれる安心して住める町に成ってほしいです。こんなすばらしい町がどこに行ってもありませんよ…と私は、何10年前から思っています。
- ・全部があてはまることだと思う。特に医者がほしい。人口が増えること（働く場所の確保）。
- ・南海トラフを想定して大都会（東京）の避難所として都市との交流を図る。空き家をどこでも定額で住むことのできるサブスクリプション型の多拠点居住サービスとして活用。民宿の活用。
- ・人口減少、高齢化について、その他1. 減少率を上げないための施策を考えたい。①卒業した学生が住み続けたいと思える町づくり。プロモーション化へ向けて、洗い出し等をしていく人材育成他。②子育てが安心してできる町。保育施設の充実。降園時刻が早いので、共働きに支障。小学生の下校後（毎日実施していない。終了時刻）。2. 高齢化に向けて。①地域・地区での見守り等が大切であり、必要。介護度（級）が付く前の高齢者へ向けた支援体制づくり。3. 課題の洗い出し後（大がかりな体制でなく）コミュニティビジネスへ向けた対応ができるか想定、検討創出をしていきたい（分野も、産業支援、生活支援、教育支援等、分類し、一分野のみに選定する）。
- ・介護施設が足りません。

- ・10年程前から主人が脳梗塞になり、現在寝たきり状態です。今現在は、免許があるのでなんとかなっておりますが（あと3年くらいは免許がありますが）その後体のこともありますし、自分がどのようになるのか判りません。病院は近くに小泉医院、小沢医院がありますが、主人が何度か、脳梗塞を再発しており、日赤病院までの交通手段、自家用車があるうちは、なんとかありますが、免許が失くなった時が不安です（今から考えておかなければならない問題です）。食料品の買物は現在は近くまで移動販売車が一週間に一度来ています。（地元スーパーが閉店されたのでとても不便になりました）。

【佐久間地区】

- ・自宅周囲の農地が荒れている。草で覆われているため対策を希望します。
- ・何年もの間、自宅まで車が入れるよう土木所管課に申請していますが未だに出来ない。道沿いに住宅4戸、農地は耕作放棄している。みんな高齢者なので生活が出来なくなるとし、急な坂道100mぐらいと思います。至急検討してほしい。
- ・生活道路の整備はライフラインの基盤である。路面の補修や落石防護ネットの設置等、自治会から要望が出た案件についてはすみやかに改善されるよう、予算の増額をお願いしたい。
- ・移住する方が増えてくれるのは空き家対策等にもつながり、いいことだとは思いますが、トラブルも発生することが予想される。現にご近所トラブル（対移住者との）が数年前に実際にあったので、不安はある。買い物をする場所がなくなり、移動販売車が増えて助かっている部分もあるが、すぐは買い足しができないので、やはりお店は必要。
- ・市営住宅など廃止になり、住んでみたいと思う人に提供する住宅を整備する予定はあるのか。
- ・地域の住民が様々なことに関心を持ち、生活が向上することを願います。すばらしい自然をいかして、世界中に知られる場所にもなると思います。若い方の力になりたいと思います。
- ・いくつかの企業が撤退し、若者たちは町へ移住してしまった今となっては、この山間部の未来は、あまり期待できないが、空き家を活用して移住者が増えれば、もしかしたら遠い将来山間部の未来が見えて来るかも知れない。その為には都会への通勤が便利になるように道路整備を促進していかねばならないと思っています。
- ・都市部ばかりに手厚く、お金をかけ、文化的、経済的、社会的整備がされている。森林や河川、水、電力などの貢献はあまり顧みられていないと感じる。中山間地で生き、頑張る人々がたくさんいることを、より様々な交流を通して理解を深めていただきたい。文化的施設や学校の撤廃ばかり進めず、住人の福祉、生活環境、文化的環境の充実をより図る方向で知恵を絞り実行していただきたい。この調査をそのために活用願いたい。
- ・地域でイベントがあっても知らないことがある。宣伝方法に工夫や変更が必要なのではないかと思うことがあります。
- ・農協跡地（浦川）への企業誘致（三遠南信自動車道浦川IC直結が有る）ぜひ実現してほしい。人口の増加にもつながると思う。
- ・主要道路が通れなくなると（災害等）迂回路が遠回りでも買い物難民になる。
- ・災害が発生した場合に孤立する可能性は高いですが、比較的安全で豊富な水資源や昔ながらの生活スタイルを持っていることから、発災後の生活水準を維持することは市街より期待できると思う。防災面から道路の整備対策の強化には努めていただきたい。
- ・国道の土砂災害対策。崩落後の早期復旧。
- ・空き家が多いです。空き家にしてしまうと税金がどのくらいかかるとか放火等で火災になったらどのくらいお金がかかるのか等々空き家にしておかないための広告をしていただきたいと思っております（自分も知りたいです）。
- ・車の無い私達にとって電車とふれあいバスは大変必要です この先無くさないでほしい。町と町との交友関係を増やす（レクリエーション等）。

- ・若者もネット環境があれば何もなくても過ごせるし仕事として行うこともできる。年をとった者も今後はスマホやネットが使える必要が多くなる 苦手なのにつながりも悪くても出来るものも出来なくなる。
- ・若者たちが地元に残って安心して子育てができるよう働く場所が確保できるようにとお願い致します。
- ・中山間地域振興の決め手はとにかく働く場の確保が必要かと思う。
- ・幼・壮・老バランスのとれた人口構成になってはじめて地域が維持継承されると思います。それには何をしておいても産業振興が必須の案件と考えます。この他に、今有る物は山林だけですから、林産加工業を起こすことがいいのでは？
- ・立派な介護施設があっても働く人達が少ないからその施設が十分な役割を果たしているのかと不安に思う。施設を利用しようと思っても金銭的なことなどやはり不安に思うことが多い。健康でどこまで生活できるかは分からないけどこの地域で安心して暮らしていけるかはとても心配になる一つだと思う。
- ・3歳以下のこどもを預ける施設がなく、親のどちらかは働くことが出来ず、せつかくの貴重な人材が埋もれている。移住を促しても、そのような環境がないと来ない人もいるはずだし、出産に対してマイナスに働いてしまう。予算を子育て環境の充実にまわしてほしい。行政がそもそも中山間地域振興に力を入れている気がしない。このようなアンケートをとり、のらりくらりやり人口が減っていくのを待っているのだと感じる。でなければ、若者が限界まで減っているこの地域の対策をこんなにもんびりやるはずがないし、何もしないのは時代に合わせず、住みにくくして、田舎から都市部への移住を促していると感じてしまう。令和5年7月の中山間地域振興に関する会議にも出席しましたが、この地域に住んでいない人がそのような仕事をして愛着も実感もないので無理だと思う。学校に関しても、都市部の学校と田舎の学校を同じ条件でとらえられるので、要望が通らない。浜松は広いのでその土地の事情を考え、話してほしい。国道152号の西渡、相月間は日本一悪い国道だと思う。死亡事故があったのに何も対策しないし、道路の改善を要求してもいつできるかわからない三遠南信自動車道を待たせられる。このようなアンケートもとっても結局は理由を探し、要望は却下されるのは目に見えている。アンケートにかかる予算が無駄だし、その予算で一つでも多く要望に聞き入れ、中山間地域の振興を少しでもやってみてほしい。天竜区役所をもっと天竜区の中心に持ってくるぐらいのことをやってほしい。はじっこすぎ。

【水窪地区】

- ・中山間地域振興には、まず、アクセス道路の整備が必要（都市部からの所要時間の短縮、安全な道路（完全2車線化））。
- ・リニア問題早期解決してほしい。三遠南信自動車道トンネルが通れるようになれば長野の方が買い物は近いし東京へ行くにも楽になる。
- ・天竜区は一体というが、地域ごとに条件や課題は違う！まずは、地域ごとに条件が不利であることを認識したうえで、地域ごとの課題に対応する施策の構築が必要だ。都市計画地域のあるインフラや交通条件の良い天竜と山間地の水窪とでは、大きな格差があることは明白であり、これを同じ施策で対応することは、公平さに欠けるのではないだろうか？もっと言えば、集落ごとの課題の洗い出しと施策が必要であり、同条件の集落をカテゴリー別に整理して、カテゴリーごとの施策を検討してみてもどうか？各地域や集落における条件の不利益を示す点数づけをして、様々な中山間地域内で発動する施策の補正に使用してはどうだろうか？
- ・農地や山林が荒れてサル、イノシシ、シカの被害に困っている。急用で行動する場合タクシーの割引券のサービスがあると良い。
- ・中山間地域といっても、病院、銀行、電車、バスもあります。とりあえずの生活に苦はありません。ただ、道路が通行止めとなった場合、流通が止まってしまうのが一番困ります。仕事に通っている人も大勢います。安全な道路の確保をお願いしたいです。
- ・国道152号、雨量規制、事故があつてからの対策（道路）が遅い。令和6年1月1日の能登半島地震がくれば完全孤立。

- ・大雨が降れば道を心配しなくてははいけない。水害は中山間地域ではなく、「山間地」です。天竜辺りと一緒にしないでほしい。
- ・現在は、自分も妻も60代で普段の生活で不便をあまり感じないが、80代とかになった時、車を運転出来なくなり、ボケてくるとか考えるとここに住めなくなるのではと大変不安になります。高齢の一人暮らしになっても安心して生活できるシステムを考えてほしい。
- ・天竜区及び町内の放送について、風水害、なつてはならない火災等、地名や場所が良く分かるよう内容について長々とした言葉では大変なことになりかねない。その点検討するよう強く要望します。
- ・10数年前までは、地域のみんが助け合って活動して、集落がきれいだった、人口が多かったこともありますが、今は公園、道路等、個人の手がつけられない公園とか予算がないとかで草が生い茂っている(年1回の草刈)。公園の整備が行き届いていた頃は、足の悪い人、病後の人のリハビリ、散歩、こども達の自転車遊び、サッカー、ボール投げ、バスケット等楽しんでいた。令和5年夏、サッカーボールを持った少年達がしょんぼり帰って行くのを見ました。水害は平地が少なく、公園はあるのに使うことが出来ない。草木が茂っているの、川遊びすら出来ない。大雨の時の水害の素。
- ・道路を2車線にしてほしい。自分達にとっては生活道路です。この先、老人の町になってしまいます。若者たちの働く場所、工場などできるようになってほしいです。災害が起きた時、どうなるのか。ヘリコプターなどが助けに来てくれるように用意してほしいです。
- ・国道152号、もっと整備してほしい(災害に強い道路)。相月に予定していたトンネル工事、今の場所がダメなら、違う所からトンネルができないか?二俣に今よりも早く着けばこども達も帰ってきて、町中にもぎやかになると思う。道の駅の整備(他から来ても食事する所がない。町内の人が気やすくはいれるような場所)。個別受信機を昔みたいに各家庭につけ災害に対応できるようにしてほしい。また、町内(例えばマラソン大会、運動会など)前の日に放送してほしい。

【龍山地区】

- ・天竜区においても限界集落が増えていくのは必至だと思います。全国的にみても余程魅力のある地域だけしか残れないように思えます。人口の多い少ないではなく助け合える人間関係や集落機能をどうしていけば良いかだと思います。全国的なニュースをみても若者たちが移住しても補助のあるうちはその地域に残っても地域の人達と軋轢が生じやがて、また都会に戻ってしまうケースを耳にします。空き家対策も難しい問題だと思います。真剣に取り組もうとしている人もいることを否定はしない。
- ・秋葉トンネルの大雨が降れば通行止めは大変困ります。横山の橋をもっときれいにしてほしい。サビていきます。
- ・車道が崩れたりして通行出来ない時は迂回路を早く整備してほしい。
- ・東雲名の堤防の道路を舗装してほしいです。国道が通れなくなると、東線の道路を車がいっぱい通るし、釣りの人も多く利用します。
- ・地域の人々の交流を深めるサロンのようなものをずっと続けていただきたい。金融機関を移動販売車のように各集落(小保に)月に一度でいいから来て頂きたいです。龍山ふれあいバス(タクシー)はとてもありがたいです。ずっと続けていただきたいです。
- ・空き家を手放さないで放置している方々に、手放すか、貸し出しすると、「こんないいことがある」等、人が住めなくなる前に、浜松市で手放したくなるような案を出してほしい。
- ・天竜区なんて小さな区で何ができるのでしょうか。希望が持てません。だんだん都合が悪くなっています。
- ・個人的な話で申し訳ないが、とにかく休みは静かにしていきたい。自分の趣味に時間を取りたい。交流だとか何かをやるうとするとか、ストレスがたまるだけ。今の仕事に就いてなければ、また違った考え方になると思うが、現状は無理だ。

【引佐地区】

- ・ 昼も夜も関係なく回覧板や葬式のお知らせが回ってくるので、家に誰かいないとではならず、留守を開けられない。人が少ないので、寺や神社、自治会の役員がすぐに回って来て大変です。働いているのでなかなか務まりません。以前は地区で納涼祭をしていて楽しかったけど、補助金だかが出なくなったとかでやらなくなった。
- ・ 自治会は現在、伊平1～5区、東・西黒田、兎荷と8地域に分かれています。伊平4～5区は、道路が整備されたりして住人が他より多いです。他の地域は50～90才が8～9割です。誰かが再編等を考えて行動しないと、この地域は10年後には、道路の草刈り、清掃、祭り等は出来なくなると考えられます。
- ・ 家の前が令和5年に災害に遭い、浜松市第25号引佐川西本道線道路災害復旧工事が、決まっているようですが今もって手つかずです。畑にも亀裂が入り段差が付いています。大工事の様子、金額まで記入されています。地すべり地区になっているので、毎日が心配です。1日も早く工事が始まることを願っています。
- ・ 交通手段の充実（オンデマンド式では不便）。人が集まる施設の誘致など。
- ・ 災害発生時のために（渋川は孤立する確率が高いので）集まる場所の整備を今から考えてほしい。例えば、近くにある施設（てんてんゴー）。
- ・ イノシシ、シカの駆除は猟友会の人たちである程度行なわれているが、駆除された死骸のほとんどは、埋設処理されていると聞く。「ジビエ」としての価値をいかすために、食肉処理から加工、販売先の掘り起こしまで、一連のモデルを官民協力して構築したらどうか。食肉処理、加工施設の設置補助や必要な法的資格取得についてなど一連のマニュアルも用意してほしい。わずかながら、雇用も生まれるかも知れません。
- ・ 令和5年6月2日の豪雨で裏山の土砂崩れにより地域の施設に避難させてもらいました。それまで、災害時は垂直避難のことしか頭になかったのであわててしまい物を持っての避難ではありませんでした。施設（渋川改善センター）は避難所指定にはなっていないため、会合などで使用する座布団はありましたが、他の物はなく、せめてタオルケット・毛布があってくれたらと思いました。雨の中、家から持ち出すこともできず、今後の災害のことを考えると、突発的に避難が必要な時があるのではと思います。
- ・ 数年後には、地域の小学校への入学者が居なくなることも予測される。危機感があります。問22の施策もいくつか望みます。若者たちに移住の場を提供できるよう地域でも空き家の整備・確保に努める必要を感じます。子育て世代に手厚い支援をもっと充実できると良いと思います。
- ・ 高齢化して免許を返納すると交通手段が確保するのが難しくなり移動が困難になるため、公共の手段の確保が必要。このままでは地域確保が難しくなっていく。
- ・ 自動車の運転が出来なくなった時にバス、タクシーなどの交通手段がないことが一番困ります。
- ・ つつじ線、なおとら線を拡充してほしい。⇒引佐北部小中学校の児童生徒数を増やしたい。
- ・ ゴミ最終処理場にしないこと。

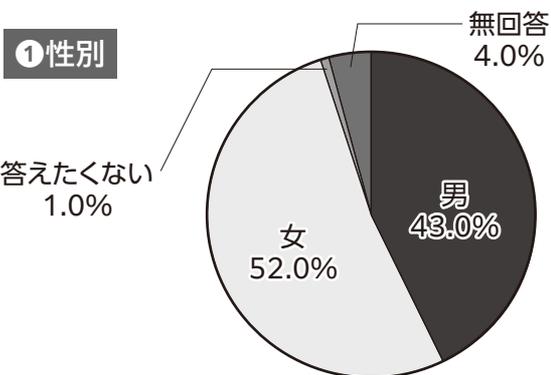
※問10、問13、その他における自由記述内容については、ご回答いただいたアンケートに基づいて掲載させていただきます。

Ⅲ 「都市部」にお住まいの方を対象とした 浜松市中山間地域アンケート調査結果

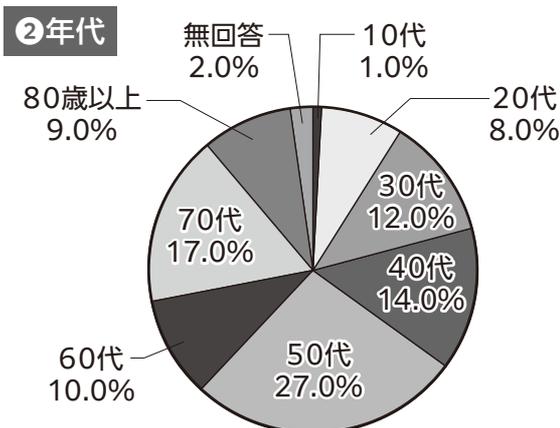
- 目的……………中山間地域振興計画の策定にあたり、中山間地域への、都市部住民の意見、考え方の把握を目的とする。
- 調査期間……………2024(令和6)年1月31日～2月29日
- 調査対象地域……………中央区、浜名区（旧伊平村及び旧鎮玉村を除く）住民
- 対象者数……………200人
※調査対象地域内に在住の18歳以上(2024(令和6)年1月24日現在)の男女から無作為抽出
- 回答数……………100人
- 回答率……………50.0%
- 集計上の留意点
 - (1) 比率は全てパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのためパーセントの合計が100.0%にならないことがある。
 - (2) 「全体」を基数とし、回答割合はこれを100.0%として算出した。
 - (3) 複数回答が可能な質問でも、基数となる実数は「全体」であるため、各項目の比率は通常100.0%を超える。

1 回答者について

問2 あなたの性別・年代について、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。



	回答数	割合
男	43	43.0%
女	52	52.0%
答えたくない	1	1.0%
その他	0	0.0%
無回答	4	4.0%
全体	100	100.0%

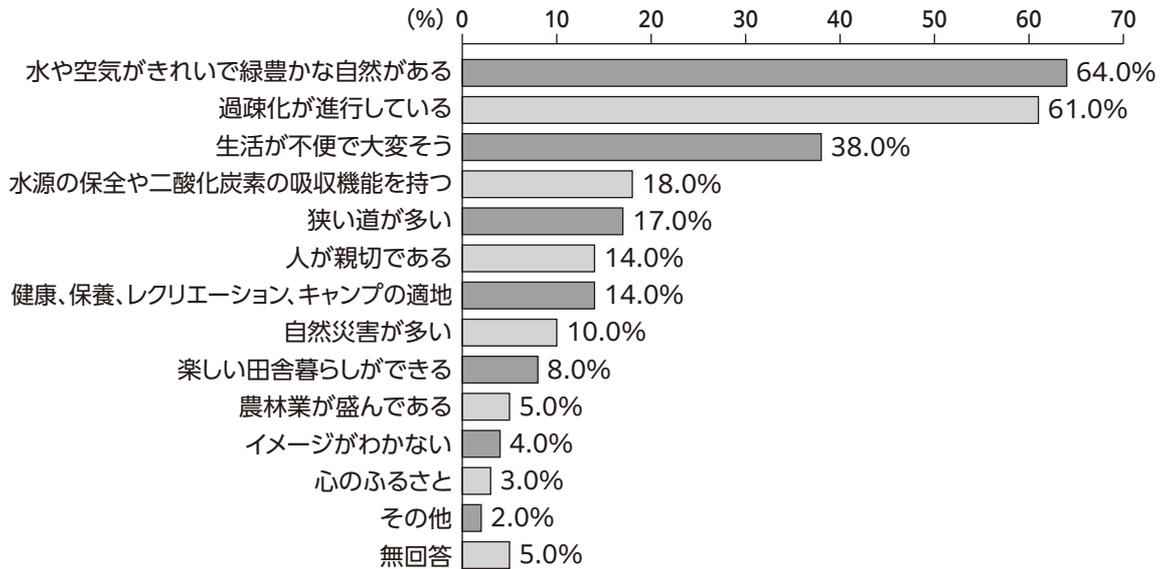


	回答数	割合
10代	1	1.0%
20代	8	8.0%
30代	12	12.0%
40代	14	14.0%
50代	27	27.0%
60代	10	10.0%
70代	17	17.0%
80歳以上	9	9.0%
無回答	2	2.0%
全体	100	100.0%

2 中山間地域に対するイメージについて

問2

中山間地域に対してどのようなイメージをお持ちですか？
(3つまで選んで○をつけてください)

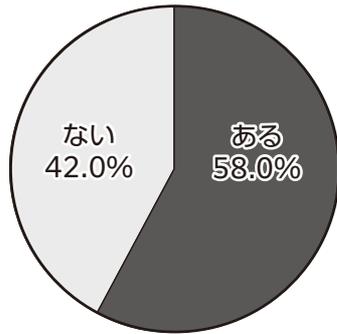


【全回答人数 100人】

	回答数	割合
水や空気がきれいで緑豊かな自然がある	64	64.0%
過疎化が進行している	61	61.0%
生活が不便で大変そう	38	38.0%
水源の保全や二酸化炭素の吸収機能を持つ	18	18.0%
狭い道が多い	17	17.0%
人が親切である	14	14.0%
健康、保養、レクリエーション、キャンプの適地	14	14.0%
自然災害が多い	10	10.0%
楽しい田舎暮らしができる	8	8.0%
農林業が盛んである	5	5.0%
イメージがわからない	4	4.0%
心のふるさと	3	3.0%
その他	2	2.0%
無回答	5	5.0%

問3

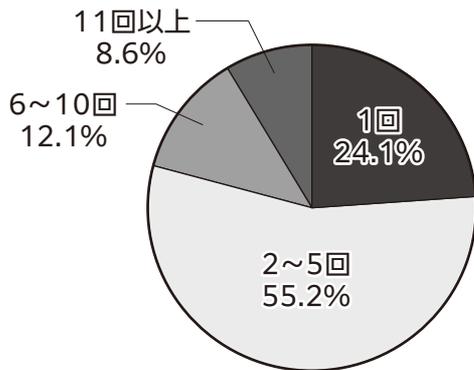
過去1年間に浜松市内の中山間地域を訪れたことがありますか？
(1つ選んで○をつけてください)



	回答数	割合
ある	58	58.0%
ない	42	42.0%
無回答	0	0.0%
全体	100	100.0%

問4

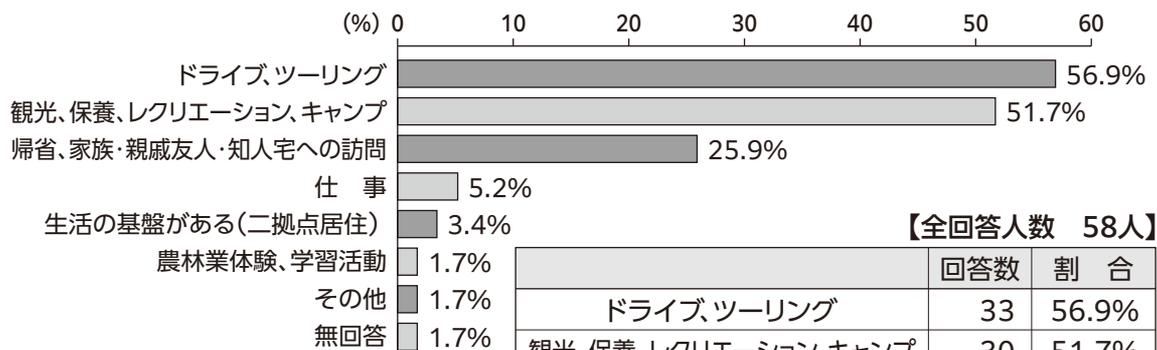
問3で「ある」と答えた方に伺います。1年間でどの程度訪れましたか？
(1つ選んで○をつけてください)



	回答数	割合
1回	14	24.1%
2~5回	32	55.2%
6~10回	7	12.1%
11回以上	5	8.6%
無回答	0	0.0%
全体	58	100.0%

問5

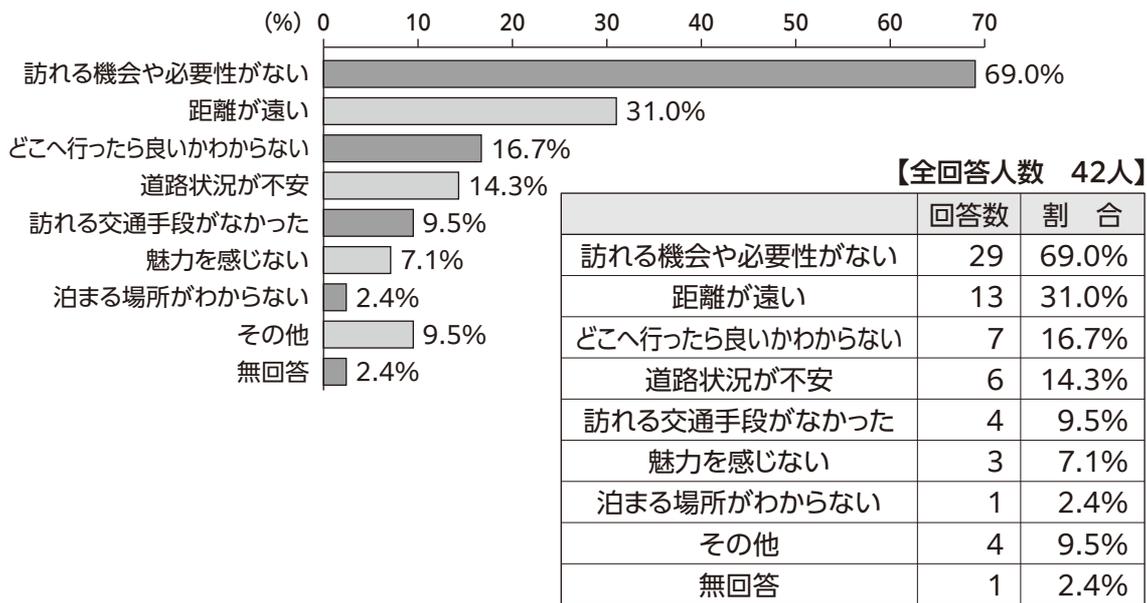
問3で「ある」と答えた方に伺います。訪れた目的は何ですか？
(2つまで選んで○をつけてください)



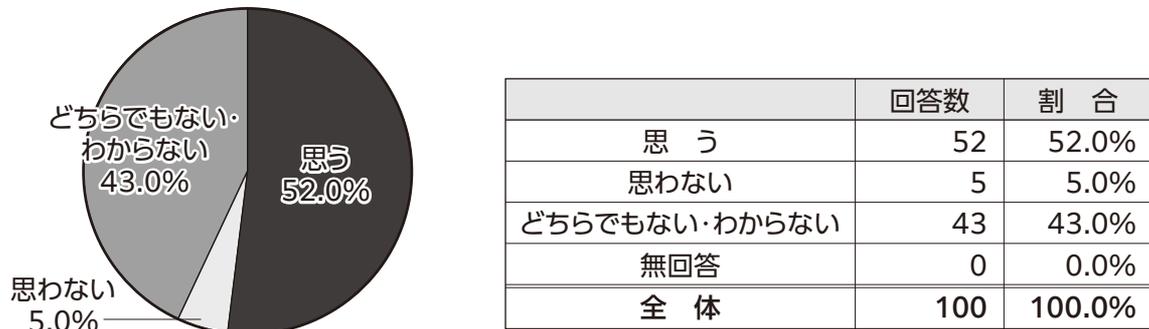
【全回答人数 58人】

	回答数	割合
ドライブ、ツーリング	33	56.9%
観光、保養、レクリエーション、キャンプ	30	51.7%
帰省、家族・親戚友人・知人宅への訪問	15	25.9%
仕事	3	5.2%
生活の基盤がある(二拠点居住)	2	3.4%
農林業体験、学習活動	1	1.7%
その他	1	1.7%
無回答	1	1.7%

問6 問3で「ない」と答えた方に伺います。訪れたことがない理由は何ですか？
(2つまで選んで○をつけてください)

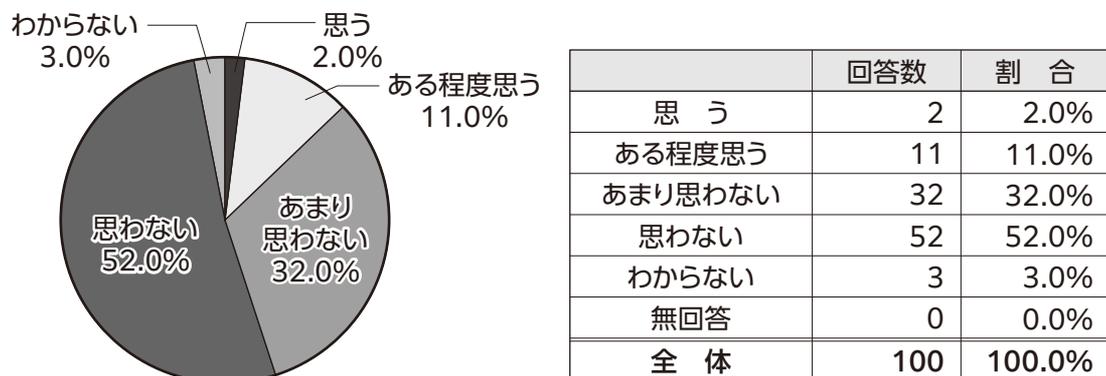


問7 中山間地域は市民にとって魅力的・大切な地域（浜松の宝）だと思いますか？



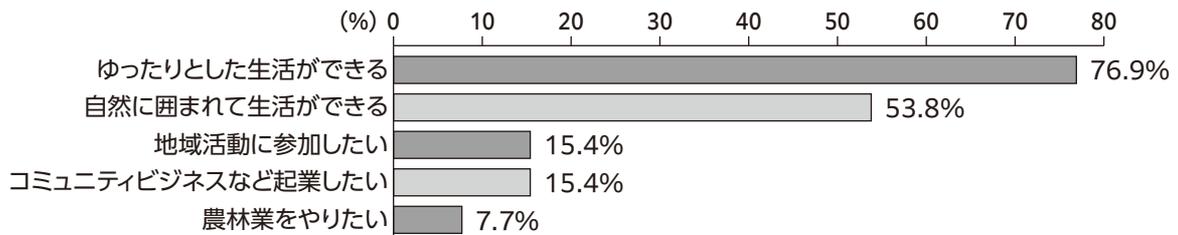
※問8は、88ページ以降に自由記述の設問としてまとめて記載

問9 中山間地域に住みたいと思いますか？



問10

問9で「思う」または「ある程度思う」と答えた方に伺います。
どのような理由ですか？（2つまで選んで○をつけてください）

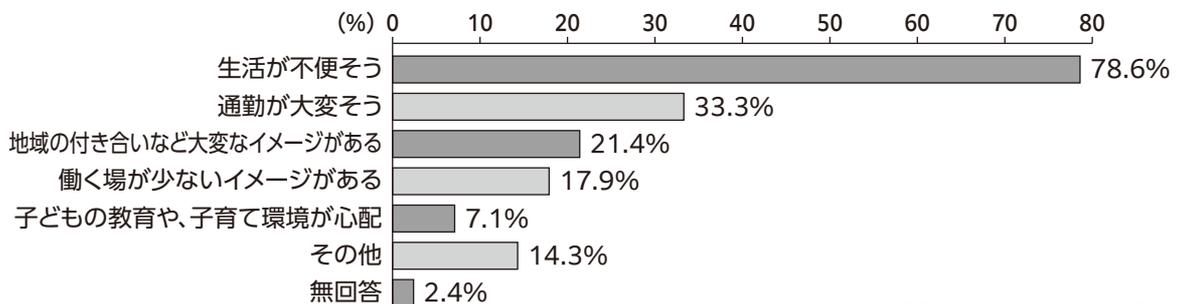


【全回答人数 13人】

	回答数	割合
ゆったりとした生活ができる	10	76.9%
自然に囲まれて生活ができる	7	53.8%
地域活動に参加したい	2	15.4%
コミュニティビジネスなど起業したい	2	15.4%
農林業をやりたい	1	7.7%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%

問11

問9で「あまり思わない」または「思わない」と答えた方に伺います。
どのような理由ですか？（2つまで選んで○をつけてください）

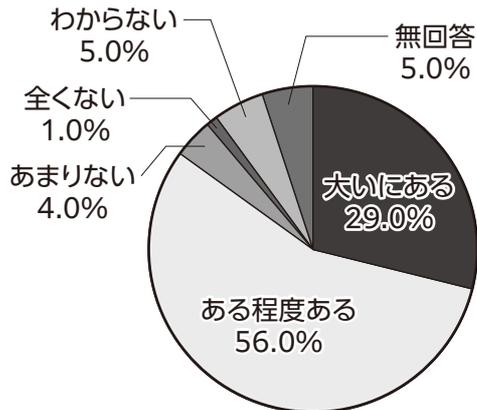


【全回答人数 84人】

	回答数	割合
生活が不便そう	66	78.6%
通勤が大変そう	28	33.3%
地域の付き合いなど大変なイメージがある	18	21.4%
働く場が少ないイメージがある	15	17.9%
子どもの教育や、子育て環境が心配	6	7.1%
その他	12	14.3%
無回答	2	2.4%

問12

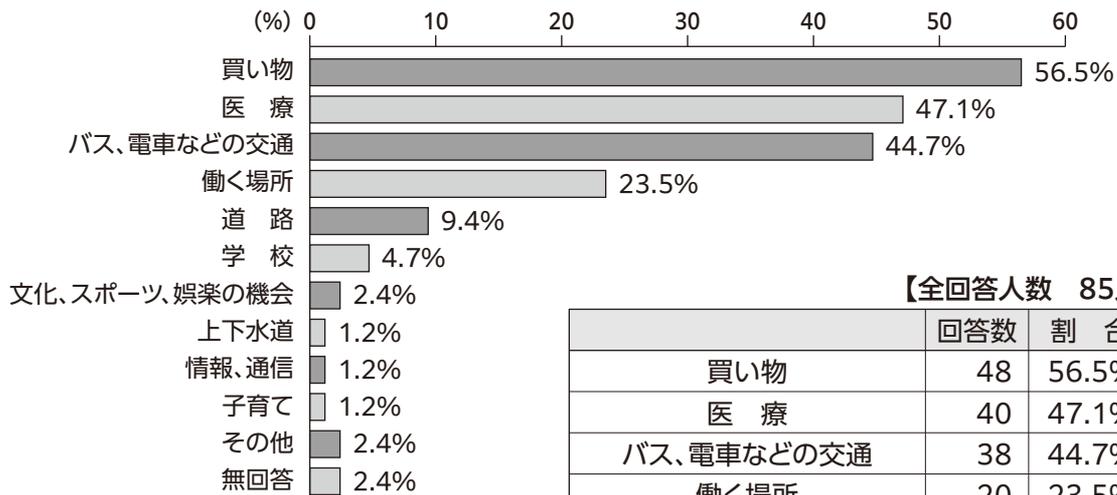
中山間地域は都市部と比べて生活環境に格差があると思いますか？
（1つ選んで○をつけてください）



	回答数	割合
大いにある	29	29.0%
ある程度ある	56	56.0%
あまりない	4	4.0%
全くない	1	1.0%
わからない	5	5.0%
無回答	5	5.0%
全体	100	100.0%

問13

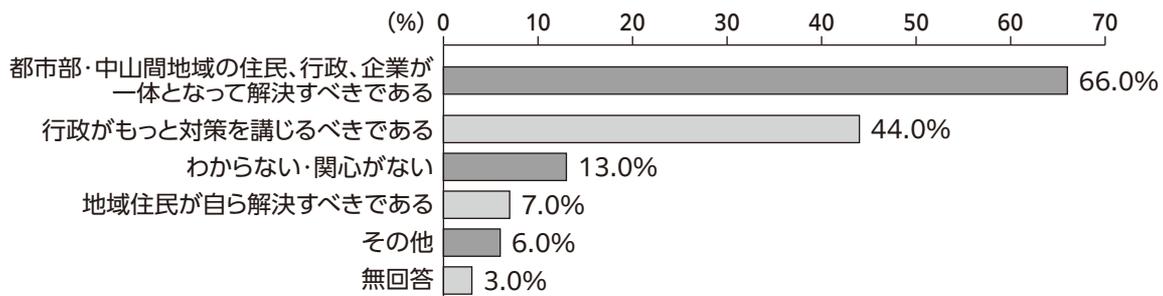
問12で「大いにある」または「ある程度ある」と答えた方に伺います。
どのような格差があると思いますか？（2つまで選んで○をつけてください）



【全回答人数 85人】

	回答数	割合
買い物	48	56.5%
医療	40	47.1%
バス、電車などの交通	38	44.7%
働く場所	20	23.5%
道路	8	9.4%
学校	4	4.7%
文化、スポーツ、娯楽の機会	2	2.4%
上下水道	1	1.2%
情報、通信	1	1.2%
子育て	1	1.2%
その他	2	2.4%
無回答	2	2.4%

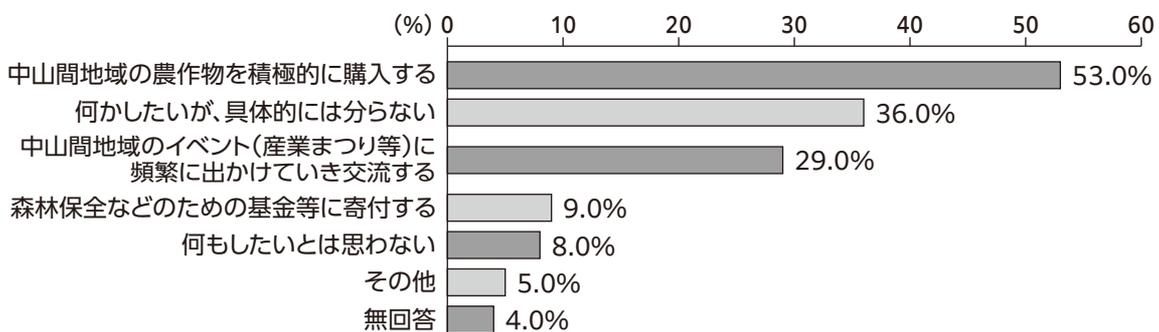
問14 中山間地域は、過疎化、高齢化など様々な課題があります。このことについて、あなたはどのように思いますか？（2つまで選んで○をつけてください）



【全回答人数 100人】

	回答数	割合
都市部・中山間地域の住民、行政、企業が一体となって解決すべきである	66	66.0%
行政がもっと対策を講じるべきである	44	44.0%
わからない・関心がない	13	13.0%
地域住民が自ら解決すべきである	7	7.0%
その他	6	6.0%
無回答	3	3.0%

問15 あなたは中山間地域とどのような関係をつくりたいと思いますか？（2つまで選んで○をつけてください）



【全回答人数 100人】

	回答数	割合
中山間地域の農作物を積極的に購入する	53	53.0%
何かしたいが、具体的には分らない	36	36.0%
中山間地域のイベント(産業まつり等)に頻繁に出かけていき交流する	29	29.0%
森林保全などのための基金等に寄付する	9	9.0%
何もしたいとは思わない	8	8.0%
ボランティアとして支援する	0	0.0%
その他	5	5.0%
無回答	4	4.0%

問8 中山間地域に何があったら訪れたいと思いますか？（自由記述）

- ・道の駅、温泉。
- ・道の駅的なドライブイン（トイレ等有り）。広く農産物の販売。
- ・郷土料理店などがある、宿泊もできる道の駅。
- ・地域の農産物など食堂を含めて「道の駅」が充実している施設があると足が向きます。
- ・道路の整備。中山間地域の風景などをテーマに写真コンテスト。カフェなど、施設を増やす。ペットと過ごせる施設をつくる。里山づくり。
- ・住んでいる方々の便利になる施設。
- ・子ども達も楽しめる、自然をいかした物、宿泊施設等も必要（道の駅を中心とした物）。地産地消も考えて。
- ・中山間地域という場所が分からないため、何があったら訪れたいかについては答えられない。中山間地域という場所の紹介など分かる冊子があればより広まるのではないかと思う。
- ・昔から伝わっていることを教える講座（以前、竹の子を干して、夏に水に戻して煮物に使うとかを九州で知ってそのようなことできるのだなと思った）。
- ・他地域の人も参加できるような、祭り等のイベント。物産店等の開催。
- ・自然に触れるウォーキングイベント。農産物・郷土料理が味わえる道の駅。
- ・こどものイベント。
- ・自然を楽しみ親しまれる行事等。
- ・自然体験教室。
- ・地域の特性をいかしたイベント。
- ・特産品を生み出してアピールしてくれたら行くと思う。
- ・家族が楽しめるイベント。体験イベント。行列ができるぐらいの飲食店（美味しい店）。
- ・中山間地域の魅力を感じることができイベントなど（食べ物など）。
- ・自然に触れるワークショップ。
- ・こどもが遊べるイベント。
- ・こどもを対象にしたイベント。
- ・特産品販売を含めたイベント。
- ・食を中心とした祭り。
- ・うまい名物・ゲームアプリのアイテムがもらえる。
- ・町おこし（例：天竜浜名湖線聖地巡礼など）。
- ・自然に触れることができ、親子で参加できるイベント。
- ・家族や友人と気軽に参加できる体験ワークショップ（バス等で行きやすい所、公共交通機関の便が良いとより行きやすい）。
- ・イベント（物産展等）。
- ・宿泊可能な里山公園（温泉施設→家族同居形式、ログハウス→オーナー制が良い）。
- ・農業体験、棚田等よく知られていますが、それ以外、ソバ、その他健康食材は中山間地でぜひ栽培したい。その際、例えば「ソバ」を平野部で栽培した場合等との比較研究、香り成分がどう変化するか等いろいろ研究することはあると思います。
- ・収穫祭（農林作物等が楽しめる）。自然観察。野外散策。民芸品や道の駅などのような物産販売。少し体験・山菜摘みとお昼食事のセット。
- ・水くみ、野菜の販売。
- ・カフェ・飲食店・大型ドックラン等・グランピング施設・ショッピングモール・アウトレット、山間部ならではの広範囲な土地利用をしてほしい。そうすれば若者やファミリー層も集まりやすいだけでなく雇用も増やせる。
- ・交通手段かな。
- ・キャンプ場、新鮮な野菜、色々あると思うがまず何があるか知らない。発信して知ってもらう必要があると思う。
- ・自然の中にあるホテルや観光スポット。

3 その他、中山間地域振興に関するご意見

その他、中山間地域振興に関するご意見があれば、教えてください。（自由記述）

- ・ 少子化、高齢化の進む中、中山間地振興は大変だろうと考えます。しかし都市部（広い意味）でも同様な言葉類があります（話し合いの機会ほしい?）。中山間地にはまだモノだけでなく、コト、文化等多くのものが眠っています。①より多くの人達が交流する条件をつくるべきだと思います。例えば、外国籍の方々は日本の中山間地に大変興味をもっています。交流の仲間に加えるべきです。②昨今の自然災害から絶対安全なアクセス、道路をつくるべきです。③交流したいと思っている中には中高年者達が多くいます。やはり自家用車でなく「バス」等有料でチャーターしたらと思います（こういう意見をもった人は多くいます）。④平野部にもっと中山間地振興のための施設をつくるべきと考えます。例えば、「道の駅」は防災上勿論、中山間地振興観点から早急に進めるべきです。
- ・ まずはその地域に住んでいらっしゃる方々が、生活し易く不満のないようにすることが大切だと思います。学校が遠い、お店がない、公共交通機関がない（少ない）など人口流出している町や村一つを「住みやすい街」にしてほしい。
- ・ 若者が住み続けられる場所になれるのがなによりだと思います。
- ・ 特産物販売が良い。
- ・ 市の支援が必要（補助金など）。まず滞在できる場所をつくる。若い方、外国の方との交流の場をつくる。
- ・ 中山間地域振興というより、浜松市の全体をみて効率の良い街づくりをした方が良いと思う。特に中山間地域は居住する場所というよりは、自然を楽しむ場所として投資した方が良いと思う。
- ・ 自然をいかした生活（食品自給率）を上げる。地域の交流の場が少ない。春には桜、秋には紅葉などの植樹。
- ・ 中山間地域にあまり馴染みがなく、こういった問題や取り組みがあることも、よく知りませんでした。周りの友人などもあまり意識がなかったのもっと認知してもらうのが大事なのかなと思いました。
- ・ 情報サイト「ぴっぴ」を見て地域のイベントを知ることが多いので子どもが参加できるイベントがあれば中山間地域に行く機会も多くなると思います。浜松市内に住んでいても耳なじみのない地域なのでまずは知ってもらうことが大切だと思います。
- ・ ドライブルートの案内、店の案内、冊子等情報が一目でわかるものがあるといいなと思う。
- ・ 過疎化を無くす。
- ・ 中山間地域と言っても、それぞれ事情は違うし、住んでいる方々の考えも様々だと思います。まずは、住民の方の意見をよく聞くことが大切ではないかと思います。なかなか難しいとは思いますが。
- ・ 第三次計画の中であるそうだが、第一次、第二次もあった?と大きな変化をさほど感じていない（あったことも知らなかった）。過疎地域を発展させたいのであれば大きな変化を伴うもの、または確実に人を引きつける魅力を感じる、需要があるものをつくってほしい。
- ・ 特にシニア層が参加しやすい、催し物の開催。
- ・ 人々に中山間地域に行きたいと思わせるような活動を行政がすべきだと思います。
- ・ 特徴ある地域づくりをしてほしい。天竜杉をいたるところに使う（家、ガードレール、フェンス）など。新東名高速道路周辺などは企業誘致して都市部化してもよい。
- ・ 交通弱者の為にインフラ整備。お店の開店への協力。
- ・ 過疎化を抑制するにはやはり若年層に魅力ある場所になるようにする。その1つとして子育て世代を優遇してあげる対策（その地域の住人なら保育料を軽減されるとか給食費を無料化するとか）をしてはどうか。子どもを含めた若年層がその地域に増えれば活性化されると思う。税金の有効活用をお願いします。
- ・ 仕事を増やし、多くの人々が働ける環境を整える。人が出向くように仕向ける。高齢の方が多く住んでいると思うが、子どもと交流を図るようにする。自然のイベントや体験施設をつくる。多くの人に知ってもらうよう発信する（SNSなど）。

※問8、その他における自由記述内容については、ご回答いただいたアンケートに基づいて掲載させていただきます。



浜松市

HAMAMATSU CITY

●発行●

2025(令和7)年4月

●編集●

浜松市市民部中山間地域振興課

住所:〒431-3392 浜松市天竜区二俣町二俣481

TEL:053-922-0200 FAX:053-922-0049

email: chusankan@city.hamamatsu.shizuoka.jp